

地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査

報告書

令和7(2025)年3月

寝屋川市

目 次

I 調査の概要	1
II 市民アンケートの結果	2
III 福祉関係団体等アンケートの結果	99
IV 調査に用いた調査票	126

I 調査の概要

(1) 調査目的

「第5次寝屋川市地域福祉計画」の策定に向けて、市内在住の18歳以上の市民、地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体等を対象に、地域の現状や福祉に対する意識、取組状況等を伺い、計画策定の基礎資料とするためにアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の対象と実施方法

アンケート調査は、以下の2つの対象（市民、福祉関係団体等）に分けて、令和6年（2024年）9月に実施しました。今回よりインターネットを通じたWEB回答を受け付けました。

調査対象	18歳以上の市民	福祉関係団体等
調査対象	市内在住の18歳以上の市民 （無作為抽出）3,477名	地域福祉に関わる活動・事業に取り組んでいる団体 603団体
調査方法	郵送による配布・回収（催告1回） 及びWEB回答を併用	郵送もしくは直接配布・回収（催告1回） 及びWEB回答を併用
調査期間	令和6（2024）年9月6日～9月30日	
回収状況	有効回答数 1,875件 （うち紙 1,554件、WEB 321件） 有効回答率 53.9%（前回47.7%）	有効回答数 403件 （うち紙 324件、WEB 79件） 有効回答率 66.8%（前回54.9%）

(3) 本資料について

※アンケート調査結果における各設問の母数n（Number of caseの略）は、設問に対する有効回答者数を意味します。

※各選択肢の構成比（％）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100％にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100％を超える場合があります。

※グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は％です。

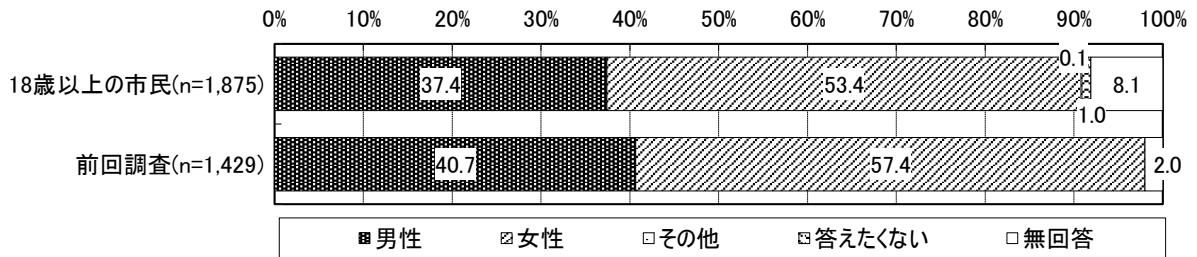
※クロス集計にあたって、年齢は「18～39歳」「40～64歳」「65歳以上」の3区分に、居住地域は各小学校区を6つのコミュニティセンターエリアに再編して集計を行い、特徴的な内容がみられたものを紹介しています。

Ⅱ 市民アンケートの結果

あなたとご家族について

問1 あなたとご家族に関して、①から⑤のそれぞれについてあてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

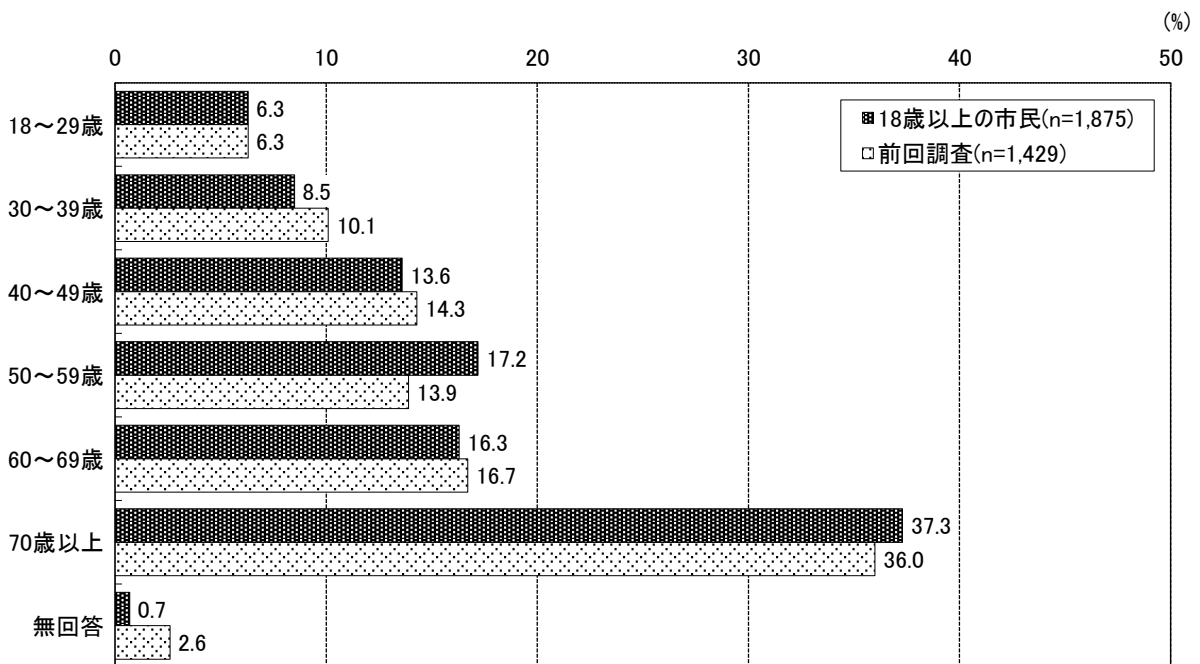
①あなたの性別



※選択肢「答えたくない」は今回調査から設定したものです。

○「女性」が53.4%、「男性」が37.4%となっています。

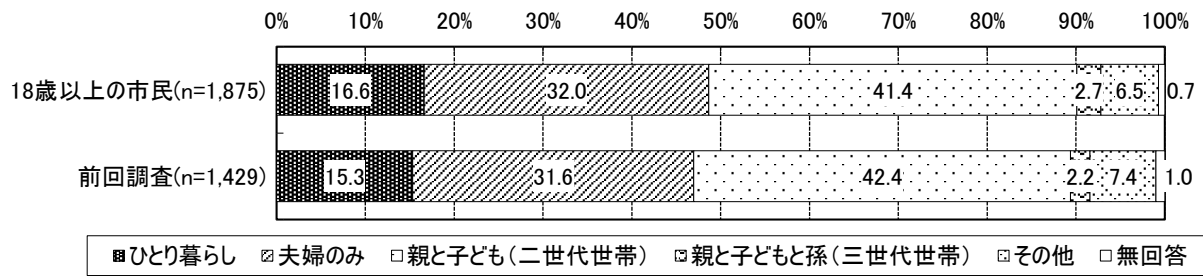
②あなたの年齢



※前回調査結果と比較するため、選択肢をまとめています。

○70歳以上が37.3%と最も多く、次いで50歳代が17.2%、60歳代が16.3%、40歳代が13.6%の順となっています。

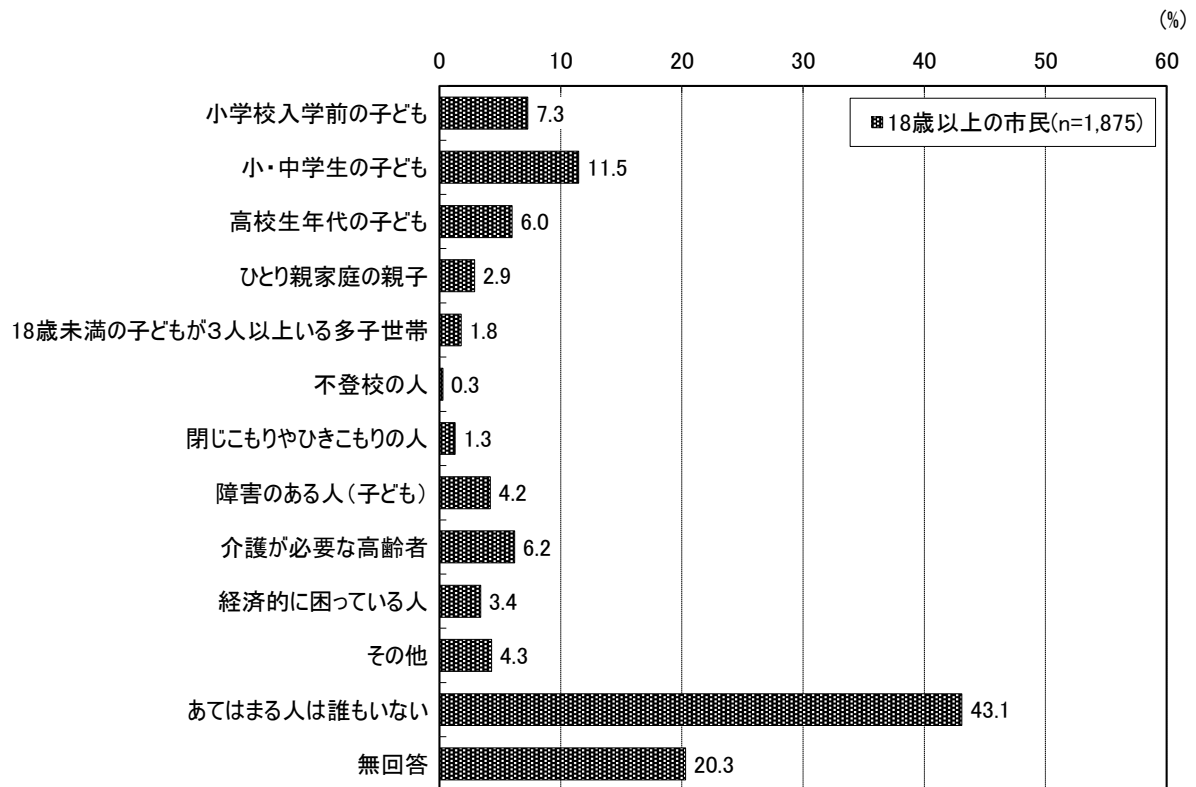
③現在同居されている世帯の構成



○「親と子ども(二世帯世帯)」が41.4%、「夫婦のみ」が32.0%、「ひとり暮らし」が16.6%となっています。

※「その他」の主な内容：夫婦と子ども、夫と子ども、親、兄弟姉妹 など

④同居家族の中におられる方(○はいくつでも、あなたご自身も含みます)

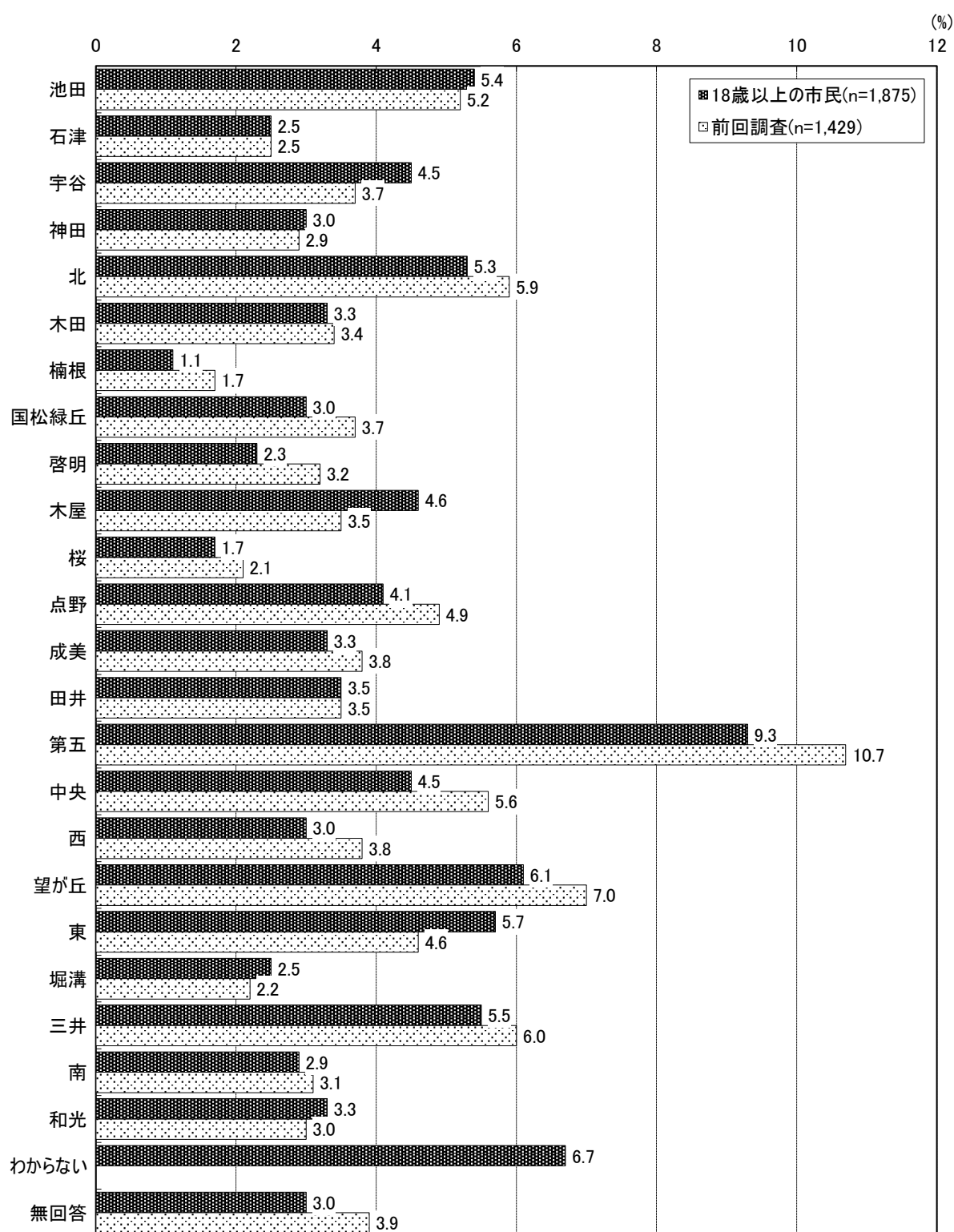


○「あてはまるひとは誰もいない」(43.1%)、無回答(20.3%)を除くと、「小・中学生の子ども」が11.5%、「小学校入学前の子ども」が7.3%、「介護が必要な高齢者」が6.2%、「高校生年代の子ども」が6.0%と、子育て世代の回答者が比較的多くみられます。

※「その他」の主な内容：夫、妻、大学生、社会人、一人暮らし、フリーター など

Ⅱ 市民アンケートの結果

⑤お住まいの地域（小学校区）

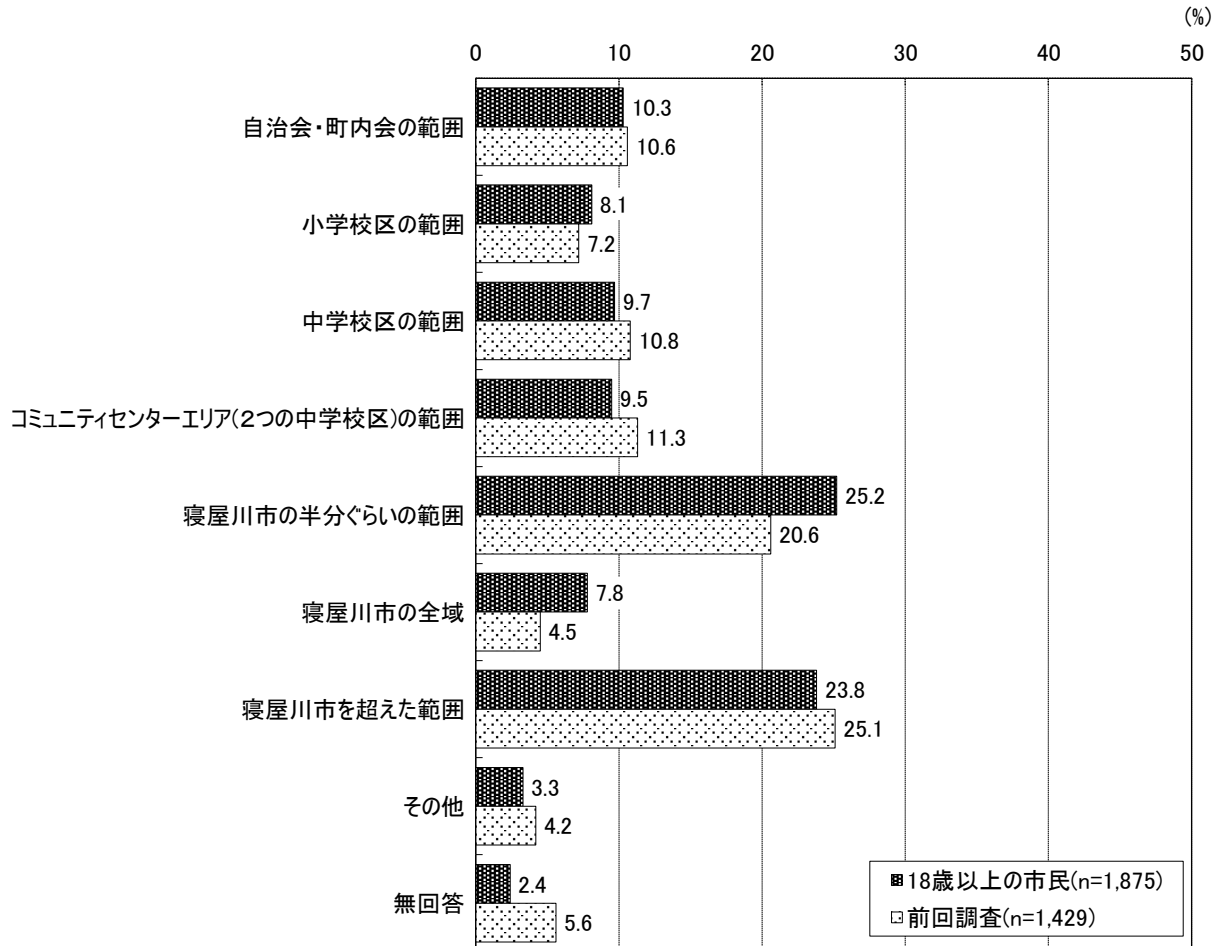


※選択肢「わからない」は今回調査から設定。前回調査：梅が丘4.3%+明和2.7%→望が丘7.0%

○一部の小学校区で増減がありますが、おおむね回答者の構成は前回調査と大きく変わりません。

地域の助け合い・支え合いについて

問2 通勤や通学は除いて、あなたが日常の買物、活動などで行動する範囲は、次のどれに近いですか。(○は1つ)



○「寝屋川市の半分ぐらいの範囲」が25.2%と最も多く、次いで「寝屋川市を超えた範囲」が23.8%、「自治会・町内会の範囲」が10.3%、「中学校区の範囲」が9.7%、「コミュニティセンターエリア(2つの中学校区)の範囲」が9.5%、「小学校区の範囲」が8.1%、「寝屋川市の全域」が7.8%の順となっています。

○年齢別にみると、年齢が若いほど「寝屋川市を超えた範囲」と答える人が多く、65歳以上では「自治会・町内会の範囲」と答える人が多くみられます。

○地域(コミュニティセンターエリア)別にみると、東・西・東北エリアで「寝屋川市の半分ぐらいの範囲」と答える人が多くみられます。

※「その他」の主な内容：寝屋川市駅周辺、香里園駅周辺、大阪市内、自宅の周り、足が悪く外出できない など

Ⅱ 市民アンケートの結果

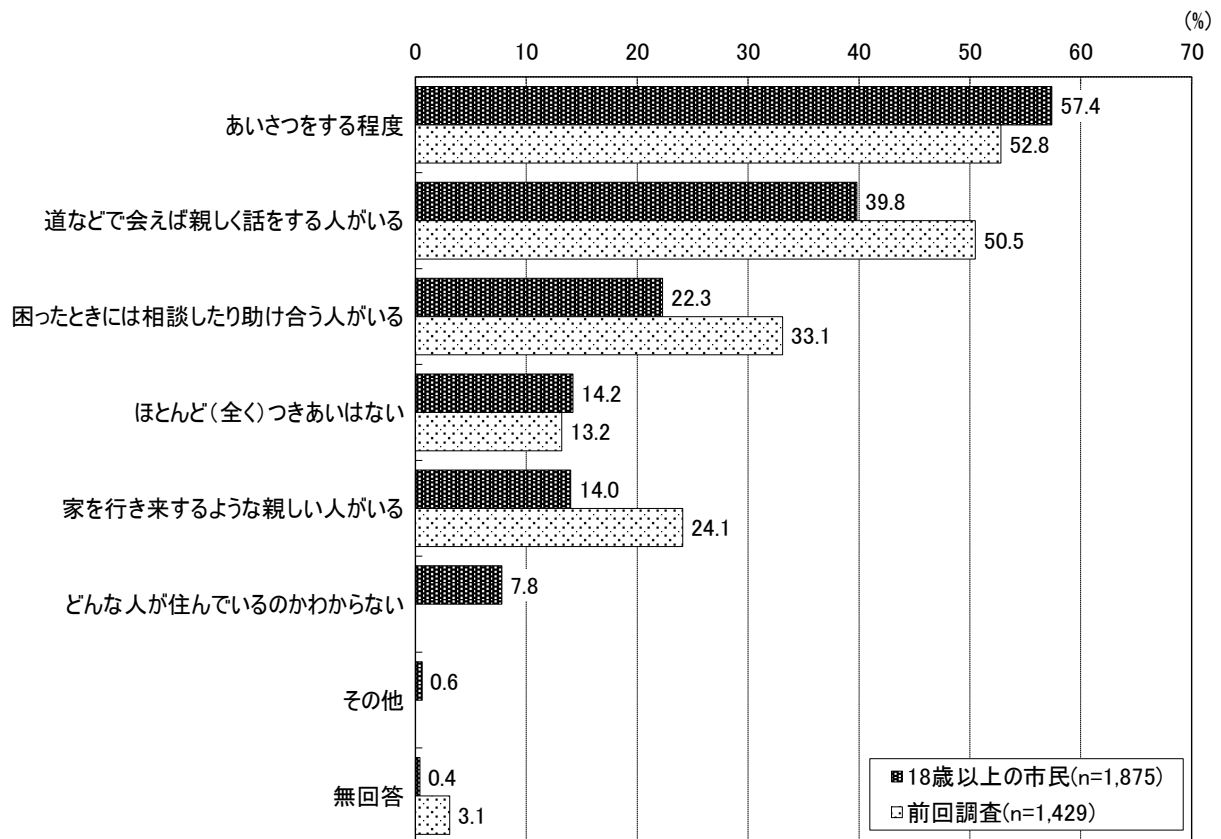
単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
自治会・町内会の範囲	10.3	9.0	10.8	4.0	6.3	16.1
小学校区の範囲	8.1	7.0	9.0	6.1	6.7	10.0
中学校区の範囲	9.7	8.6	11.2	11.6	9.5	9.3
コミュニティセンター エリアの範囲	9.5	7.8	10.7	6.1	10.2	9.9
寝屋川市の半分ぐらい の範囲	25.2	24.7	25.3	24.2	26.5	24.6
寝屋川市の全域	7.8	10.3	5.1	9.0	8.6	6.7
寝屋川市を超えた範囲	23.8	28.1	22.8	35.7	29.6	14.7
その他	3.3	2.7	3.3	2.2	1.7	5.1
無回答	2.4	1.9	1.9	1.1	0.9	3.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
自治会・町内会の範囲	10.3	12.1	8.7	8.1	18.8	4.6	10.6
小学校区の範囲	8.1	10.7	8.7	6.9	9.4	9.8	6.0
中学校区の範囲	9.7	16.4	13.1	7.9	11.7	9.2	7.2
コミュニティセンター エリアの範囲	9.5	18.8	7.7	9.1	6.3	8.2	8.3
寝屋川市の半分ぐらい の範囲	25.2	19.1	19.7	29.9	18.8	30.2	30.2
寝屋川市の全域	7.8	4.7	6.6	8.4	8.1	8.9	9.8
寝屋川市を超えた範囲	23.8	14.4	28.4	23.9	24.7	24.9	20.8
その他	3.3	2.7	4.4	3.3	1.8	3.0	3.8
無回答	2.4	1.0	2.7	2.4	0.4	1.3	3.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問3 近所の人とどの程度の交流がありますか。(〇はいくつでも)



※選択肢「どんな人が住んでいるのかわからない」「その他」は今回調査から設定。

- 「あいさつをする程度」が57.4%と最も多く、次いで「道などで会えば親しく話をする人がある」が39.8%、「困ったときには相談したり助け合う人がある」が22.3%の順となっています。
- 「困ったときには相談したり助け合う人がある」「家を行き来するような親しい人がある」「道などで会えば親しく話をする人がある」と答える人が前回調査より大きく減っています。
- 性別にみると、女性で「道などで会えば親しく話をする人がある」「困ったときには相談したり助け合う人がある」と答える人が男性より多くみられます。
- 年齢別にみると、18～39歳で「あいさつをする程度」「ほとんど(全く)つきあいはない」、65歳以上で「道などで会えば親しく話をする人がある」「困ったときには相談したり助け合う人がある」「家を行き来するような親しい人がある」と答える人がそれぞれ多くみられます。

※「その他」の主な内容：自治会等で交流がある、地域の活動で交流がある、自治会関連のことでは助け合っている、自治会や老人会がないのでさみしい、知らない住人も多い など

Ⅱ 市民アンケートの結果

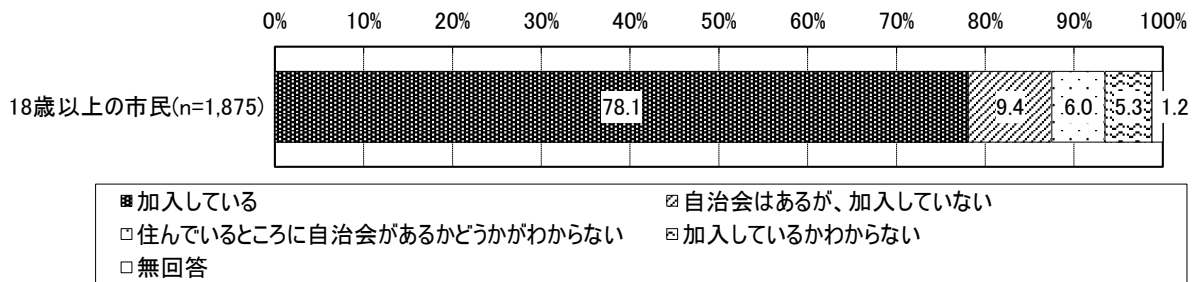
単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
困ったときには相談したり助け合う人がある	22.3	13.3	28.3	9.0	19.7	29.3
家を行き来するような親しい人がある	14.0	8.8	17.0	7.2	9.1	20.7
道などで会えば親しく話をする人がある	39.8	30.2	45.4	19.1	31.9	53.9
あいさつをする程度	57.4	61.6	55.8	63.2	61.4	52.4
ほとんど（全く）つきあいはない	14.2	18.7	12.0	24.5	15.9	9.4
どんな人が住んでいるのかわからない	7.8	8.6	7.1	11.6	7.4	6.9
その他	0.6	0.6	0.7	0.4	0.5	0.8
無回答	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
困ったときには相談したり助け合う人がある	22.3	21.5	23.5	23.4	24.7	23.3	23.4
家を行き来するような親しい人がある	14.0	12.1	16.4	14.1	16.1	17.7	11.7
道などで会えば親しく話をする人がある	39.8	39.3	43.2	42.6	41.3	42.3	43.4
あいさつをする程度	57.4	57.7	54.6	59.1	55.6	60.3	57.7
ほとんど（全く）つきあいはない	14.2	13.8	16.9	12.7	13.5	9.8	14.3
どんな人が住んでいるのかわからない	7.8	8.7	3.3	5.7	5.8	5.2	8.3
その他	0.6	0.7	0.5	0.7	0.0	0.3	1.5
無回答	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問4 あなたのご家庭は、お住まいの自治会に加入していますか。(○は1つ)



○自治会に「加入している」と答える人が78.1%を占めています。

○年齢別にみると、年齢が高くなるほど「加入している」と答える人が多く、65歳以上では86.0%となっています。

○地域別にみると、南・西南・東北エリアで「加入している」と答える人が多くみられます。

単位：%	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
加入している	78.1	76.2	79.3	59.9	76.7	86.0
自治会はあるが、加入していない	9.4	11.7	7.9	11.6	10.6	7.5
住んでいるところに自治会があるかどうか分からない	6.0	5.7	6.4	14.4	6.6	2.7
加入しているかわからない	5.3	5.8	5.3	13.4	5.4	2.5
無回答	1.2	0.6	1.1	0.7	0.8	1.2

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

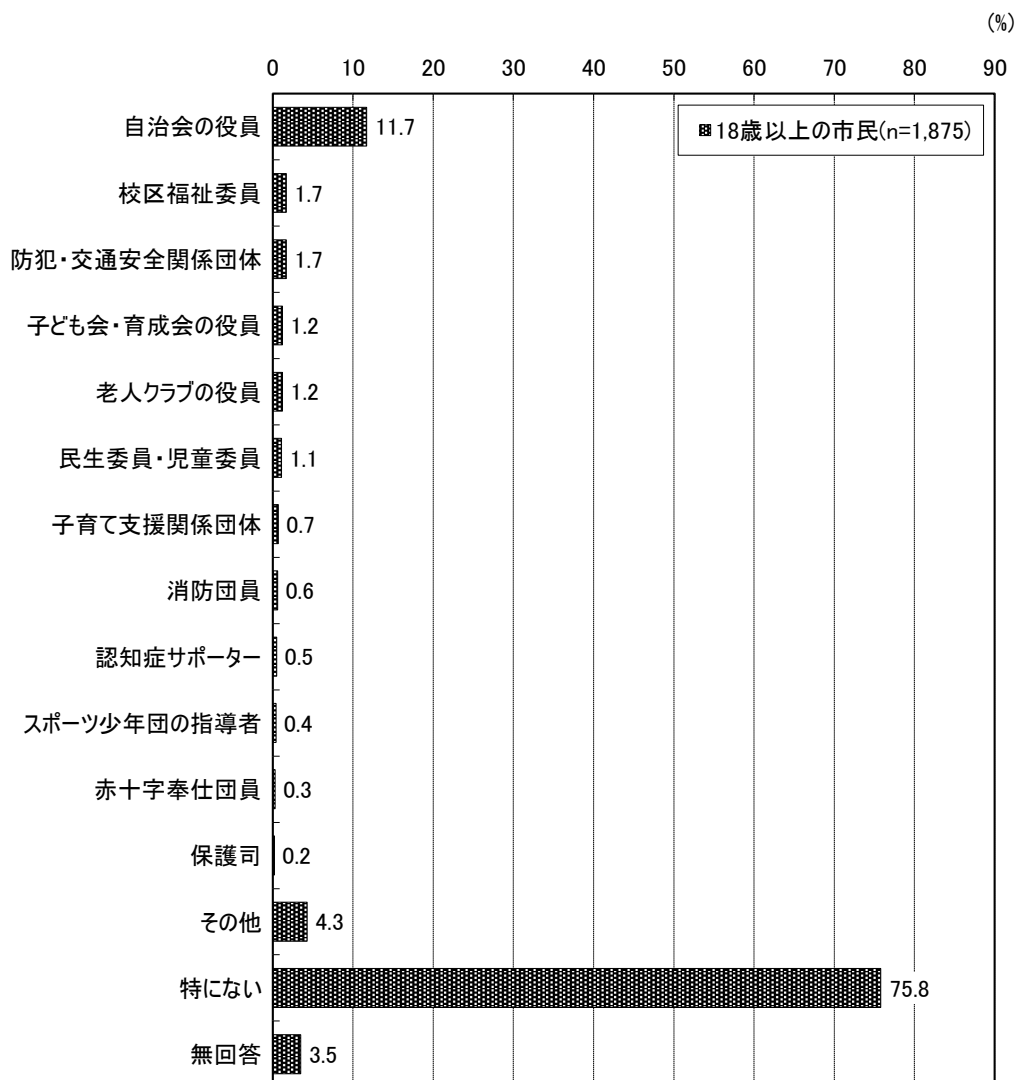
単位：%	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
加入している	78.1	79.2	86.3	84.7	85.7	71.8	81.9
自治会はあるが、加入していない	9.4	8.7	5.5	8.4	7.6	11.5	8.3
住んでいるところに自治会があるかどうか分からない	6.0	5.0	4.9	3.3	2.7	8.9	3.8
加入しているかわからない	5.3	6.4	2.7	3.3	3.1	5.9	5.7
無回答	1.2	0.7	0.5	0.2	0.9	2.0	0.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問5 あなたご自身やご家族は地域で何らかの役割（役職）を務めていますか。

（○はいくつでも）



○「特にない」と無回答を除いて、何らかの役割（役職）を務めている人は20.7%で、内容別には「自治会の役員」が11.7%、残りの役割（役職）については2%未満となっています。

○年齢別にみると、年齢が若くなるほど「特にない」と答える人が多くみられます。

※「その他」の主な内容：管理組合の役員、自治会班長、ごみ当番、小学校地区委員、ボランティア、青少年指導員、過去にあり など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
民生委員・児童委員	1.1	1.4	0.9	0.4	0.8	1.6
自治会の役員	11.7	12.4	11.3	6.9	10.4	14.6
赤十字奉仕団員	0.3	0.3	0.3	0.4	0.0	0.6
校区福祉委員	1.7	1.7	1.9	0.0	0.9	3.0
消防団員	0.6	0.9	0.5	0.4	0.8	0.6
スポーツ少年団の指導者	0.4	0.4	0.5	0.4	0.7	0.2
子育て支援関係団体	0.7	0.6	0.8	0.4	0.7	0.8
子ども会・育成会の役員	1.2	1.4	1.2	0.7	2.5	0.1
防犯・交通安全関係団体	1.7	2.0	1.2	1.1	1.5	2.0
老人クラブの役員	1.2	1.0	1.3	0.7	0.3	2.3
認知症サポーター	0.5	0.7	0.5	0.0	0.5	0.7
保護司	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2
その他	4.3	3.6	4.8	2.2	4.4	4.9
特にない	75.8	77.5	75.4	86.6	79.1	69.7
無回答	3.5	2.1	3.6	2.2	1.2	5.3

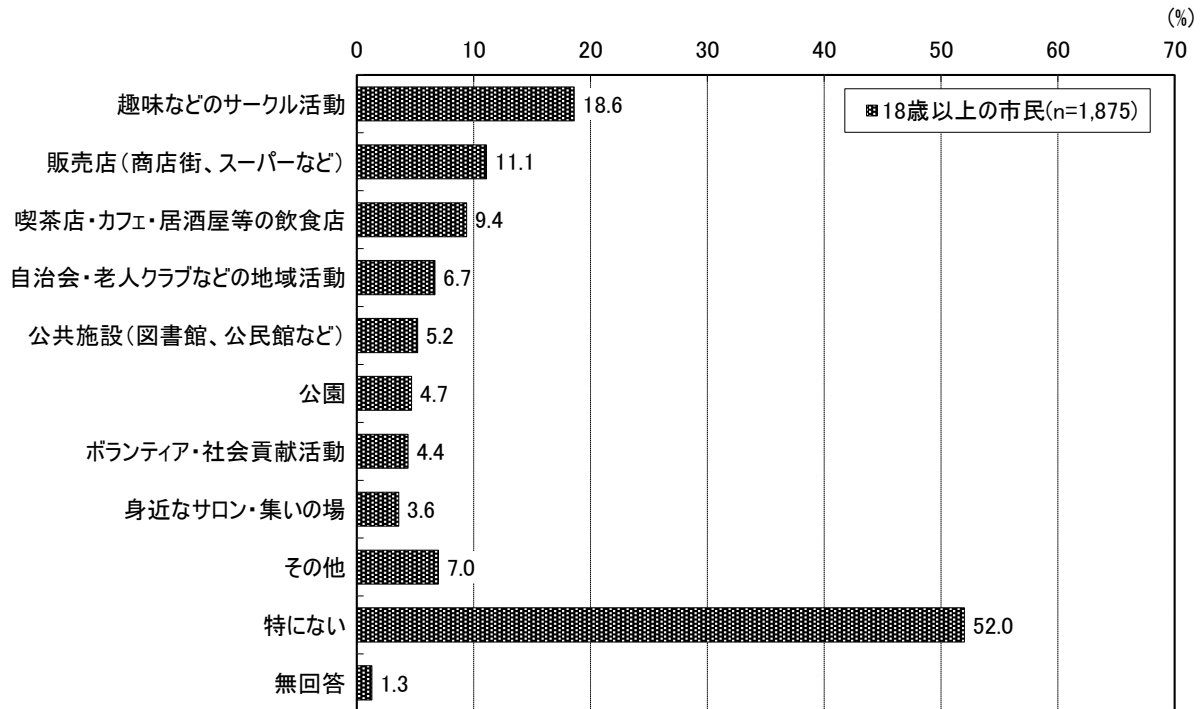
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
民生委員・児童委員	1.1	2.0	0.5	1.0	1.3	0.7	1.1
自治会の役員	11.7	9.4	7.1	14.4	14.3	14.1	14.3
赤十字奉仕団員	0.3	0.3	0.0	0.7	0.9	0.0	0.0
校区福祉委員	1.7	3.4	1.6	1.7	0.9	0.7	3.0
消防団員	0.6	0.0	1.1	0.0	0.9	1.6	0.8
スポーツ少年団の指導者	0.4	0.0	0.0	1.0	0.9	0.3	0.4
子育て支援関係団体	0.7	1.3	0.0	1.2	0.4	0.3	0.8
子ども会・育成会の役員	1.2	1.3	1.1	1.4	0.4	2.0	1.1
防犯・交通安全関係団体	1.7	1.3	3.8	1.4	2.7	0.7	2.3
老人クラブの役員	1.2	1.0	1.1	1.0	1.8	2.3	1.1
認知症サポーター	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	1.0	0.4
保護司	0.2	0.3	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0
その他	4.3	5.0	6.0	3.8	4.5	6.2	3.0
特にない	75.8	76.2	74.3	73.7	74.0	74.1	74.0
無回答	3.5	3.4	5.5	2.6	3.6	2.0	3.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問6 ご自宅、学校、職場以外に、あなたには安心できる、人とのつながりを実感できる場所や活動（居場所）がありますか。（○はいくつでも）



○「特にない」と無回答を除いて、安心できる、人とのつながりを実感できる場所や活動（居場所）があると答えた人は46.7%で、内容別には「趣味などのサークル活動」が18.6%「販売店（商店街、スーパーなど）」が11.1%、「喫茶店・カフェ・居酒屋等の飲食店」が9.4%などとなっています。

○属性別にみると、40～64歳で「特にない」と答える人が64.3%と多く、18～39歳についても56.3%となっています。また、65歳以上や女性で「趣味などのサークル活動」、65歳以上で「自治会・老人クラブなどの地域活動」と答える人が多くみられます。

○地域別には、東北エリアで「趣味などのサークル活動」と答える人が多くみられます。

※「その他」の主な内容：実家、仕事・職場、スポーツクラブ・スポーツジム、デイサービス、子どもの家、友人の家、習い事、保護者間のつながり、SNS、宗教・教会 など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
趣味などのサークル活動	18. 6	13. 3	22. 3	14. 1	14. 5	23. 8
ボランティア・社会貢献活動	4. 4	4. 1	4. 7	2. 9	2. 9	6. 2
自治会・老人クラブなどの地域活動	6. 7	5. 8	6. 3	0. 7	2. 0	13. 0
喫茶店・カフェ・居酒屋等の飲食店	9. 4	9. 4	9. 6	12. 6	7. 5	10. 2
身近なサロン・集いの場	3. 6	1. 9	4. 8	2. 9	1. 7	5. 5
公共施設	5. 2	4. 0	5. 5	4. 7	3. 5	6. 8
公園	4. 7	6. 3	3. 8	6. 5	2. 5	6. 2
販売店	11. 1	9. 3	11. 6	9. 4	7. 9	14. 7
その他	7. 0	6. 6	7. 6	6. 5	6. 3	7. 9
特にない	52. 0	56. 8	49. 5	56. 3	64. 3	39. 9
無回答	1. 3	0. 3	1. 5	0. 4	0. 1	2. 0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

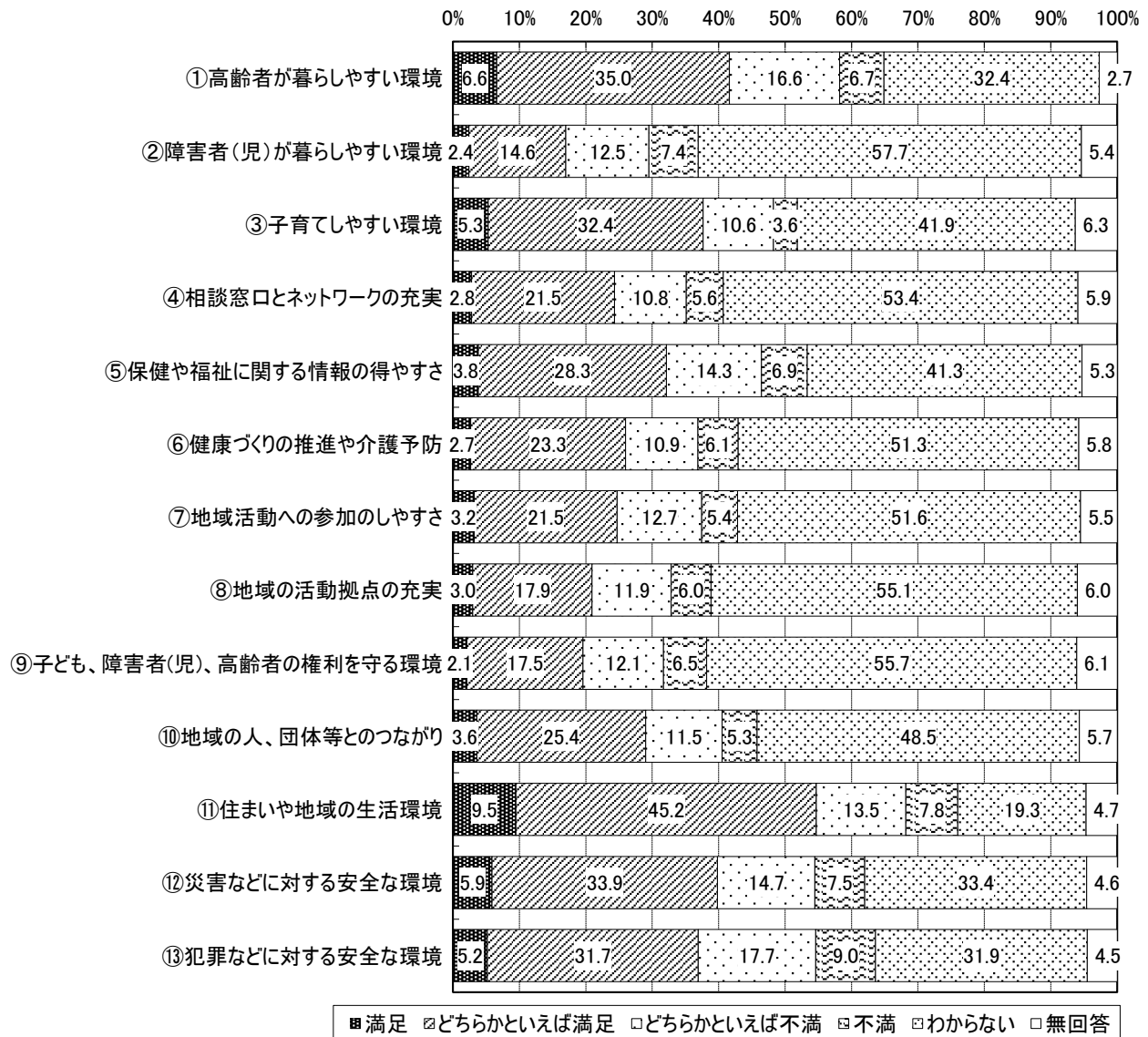
単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
趣味などのサークル活動	18. 6	18. 1	15. 3	23. 7	16. 6	18. 4	19. 6
ボランティア・社会貢献活動	4. 4	3. 0	4. 9	4. 1	4. 5	6. 6	5. 3
自治会・老人クラブなどの地域活動	6. 7	6. 4	11. 5	5. 7	9. 4	5. 2	9. 4
喫茶店・カフェ・居酒屋等の飲食店	9. 4	9. 7	9. 8	9. 6	9. 4	9. 2	10. 6
身近なサロン・集いの場	3. 6	2. 0	3. 8	3. 8	4. 9	3. 6	4. 2
公共施設	5. 2	4. 0	4. 9	6. 2	3. 1	7. 9	4. 9
公園	4. 7	5. 4	5. 5	5. 5	3. 6	6. 2	4. 2
販売店	11. 1	10. 4	13. 7	9. 3	12. 1	12. 5	10. 9
その他	7. 0	8. 1	4. 9	8. 4	7. 6	7. 2	4. 9
特にない	52. 0	51. 7	54. 1	48. 6	54. 7	49. 2	50. 6
無回答	1. 3	0. 7	1. 1	1. 0	0. 0	0. 7	1. 1

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

II 市民アンケートの結果

問7 現在お住いの地域での暮らしに関する環境についてどのように感じていますか。

(①～⑬のそれぞれの項目ごとに○は1つ)



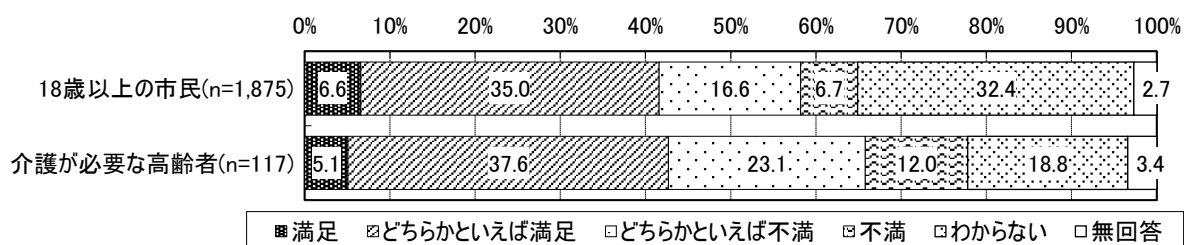
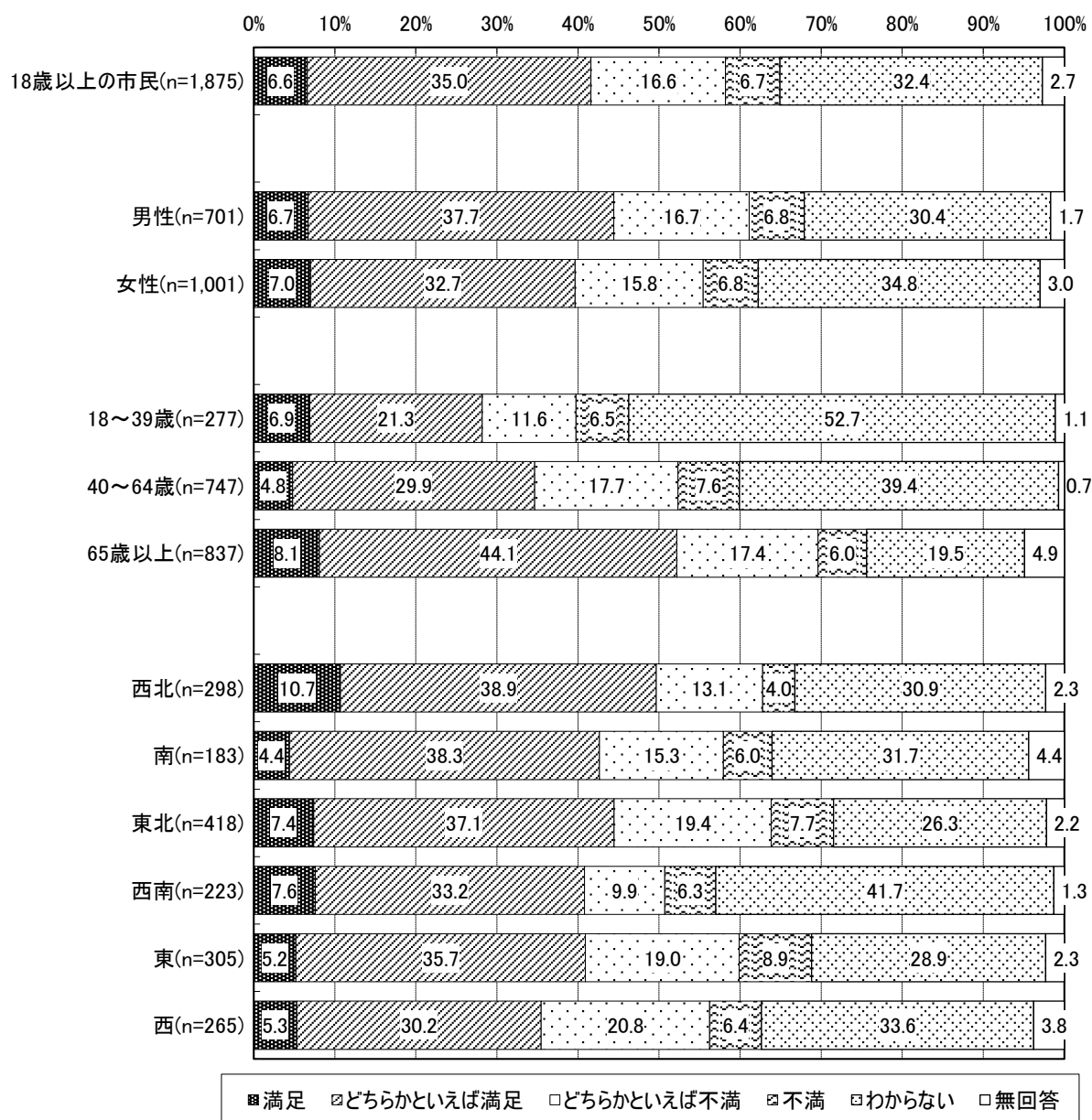
○居住地域での暮らしに関する環境について13項目にわたり、満足か不満かを尋ねたところ、「⑪住まいや地域の生活環境」は「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人が合わせて54.7%となり、半数以上の人々が満足感を示しています。

○これに次いで満足感が高いものは順に「①高齢者が暮らしやすい環境」が41.6%、「⑫災害などに対する安全な環境」が39.8%、「③子育てしやすい環境」が37.7%、「⑬犯罪などに対する安全な環境」が36.9%、「⑤保健や福祉に関する情報の得やすさ」が32.1%、「⑩地域の人、団体等とのつながり」が29.0%などとなっています。

○一方、満足している人の割合が低いものは「②障害者(児)が暮らしやすい環境」が17.0%、「⑨子ども、障害者(児)、高齢者の権利を守る環境」が19.6%、「⑧地域の活動拠点の充実」が20.9%、「④相談窓口とネットワークの充実」が24.3%、「⑦地域活動への参加のしやすさ」が24.7%などとなっていますが、これらは不満に思う人が多いからではなく「わからない」と答えた人が多いことによるものです。

○以下、各項目について属性別にみた結果は次のとおりです。

①高齢者が暮らしやすい環境

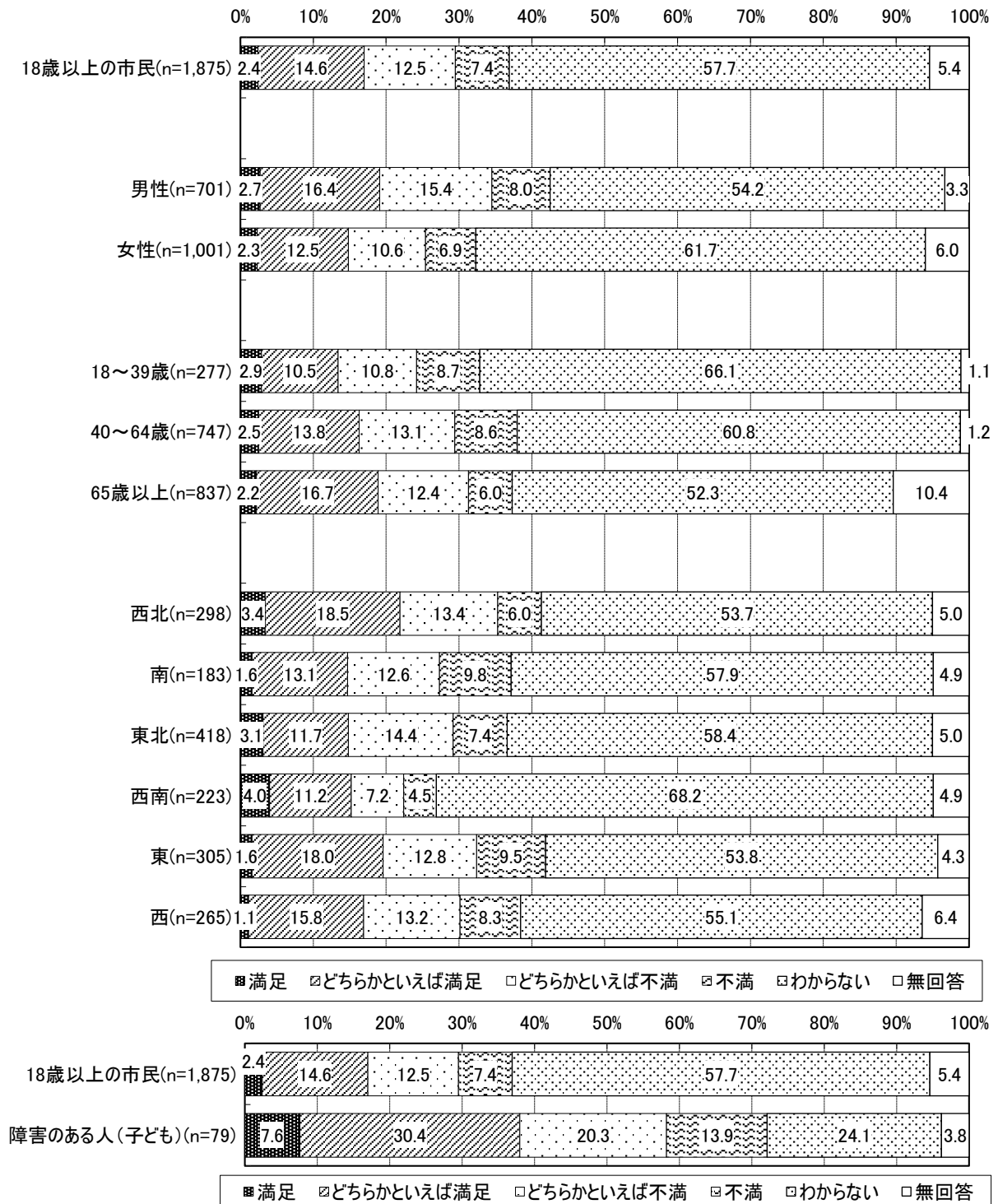


○「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて41.6%で、年齢が高くなるほど多くみられます。また、西北エリアで多く、西エリアで少なくなっています。

○介護が必要な高齢者と一緒に暮らしている人では不満に思う人が35.1%となっています。

II 市民アンケートの結果

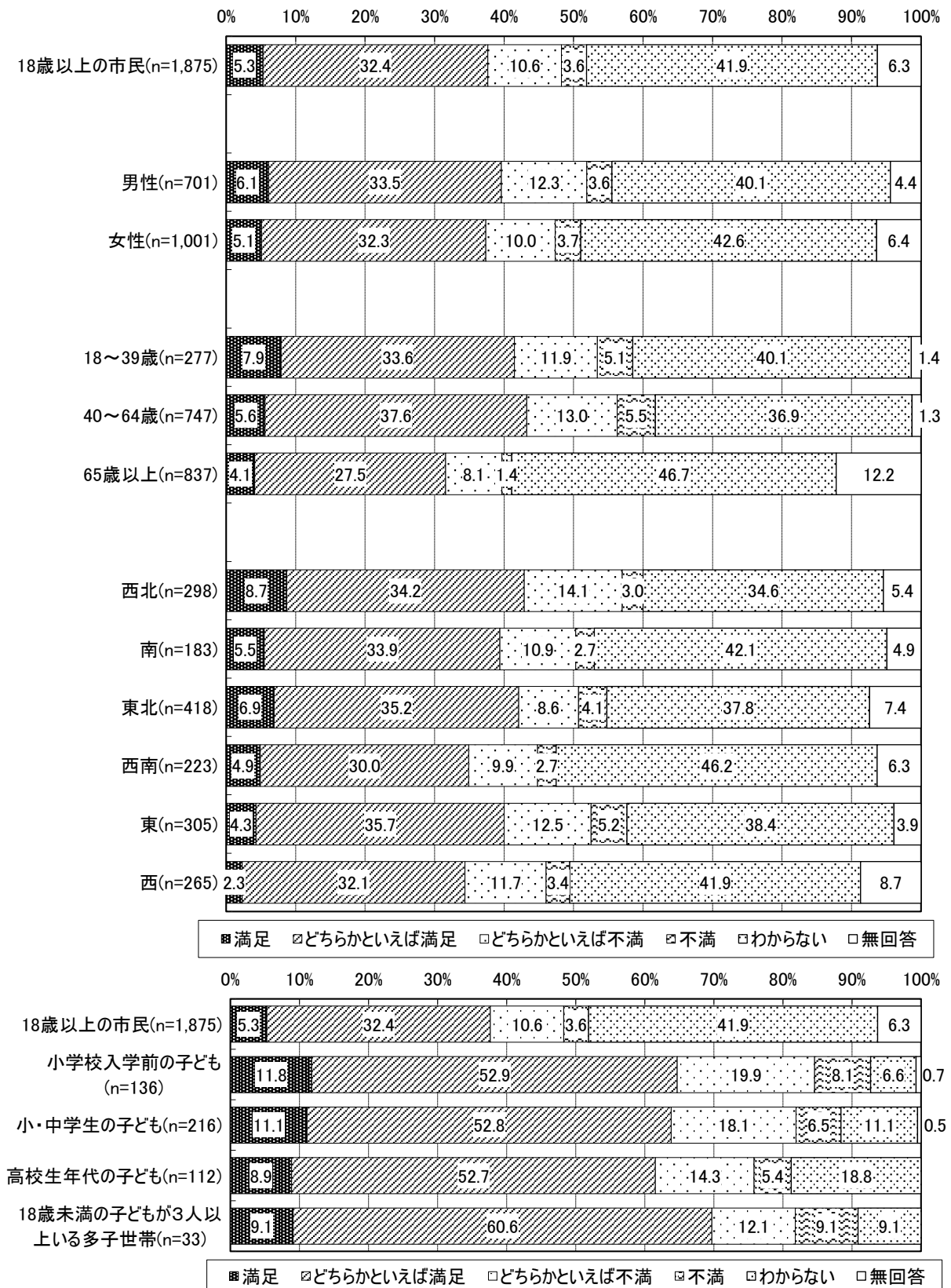
②障害者（児）が暮らしやすい環境



○「わからない」と答える人が57.7%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて17.0%となっています。

○障害のある人（子ども）と一緒に暮らしている人では、「どちらかといえば満足」と答える人が一番多いものの、「どちらかといえば不満」「不満」という人も34.2%みられます。

③子育てしやすい環境

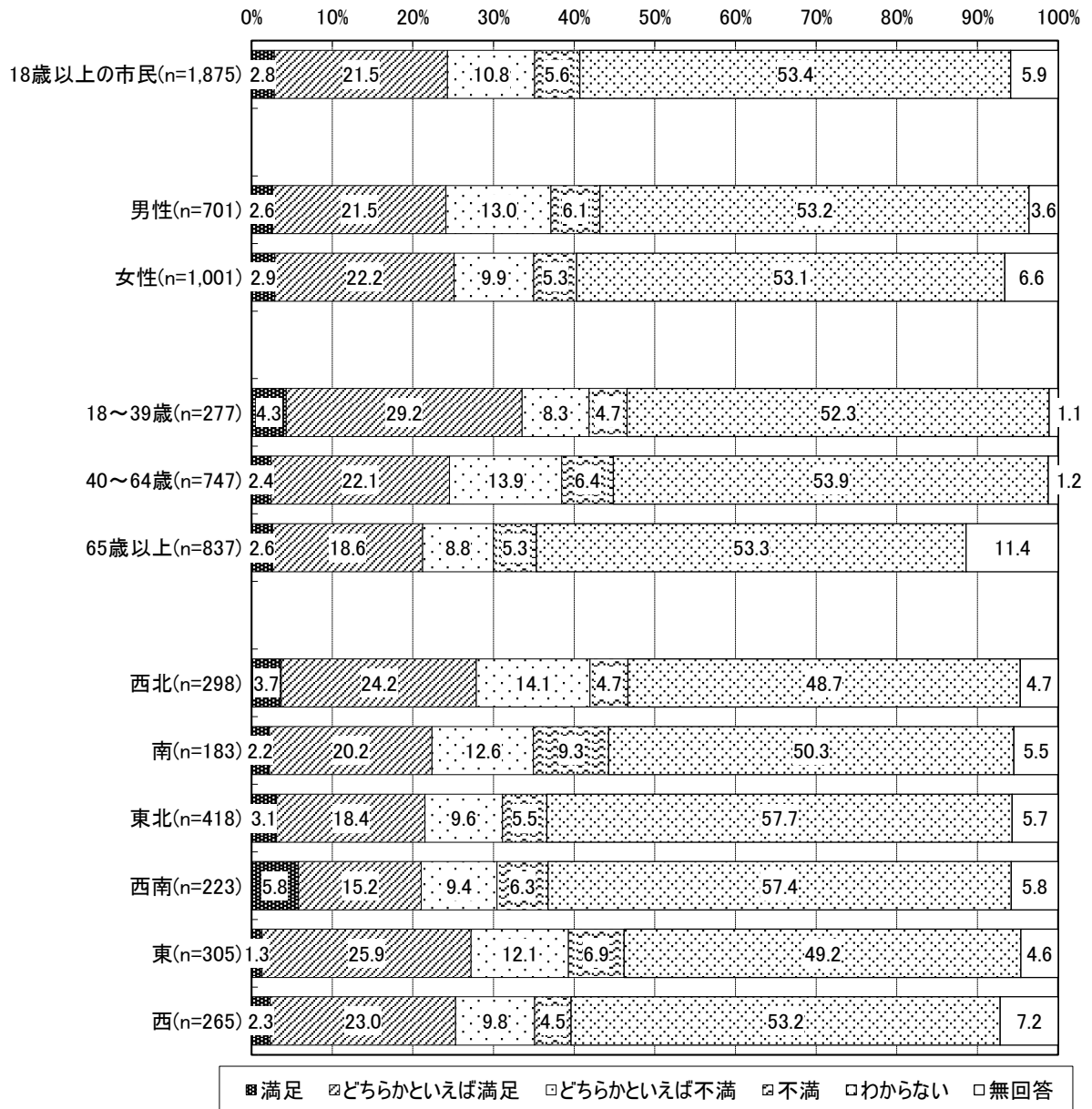


○「わからない」と答える人が41.9%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて37.7%となっています。

○子育て世代については、全体と比べると満足感が高くなっています。

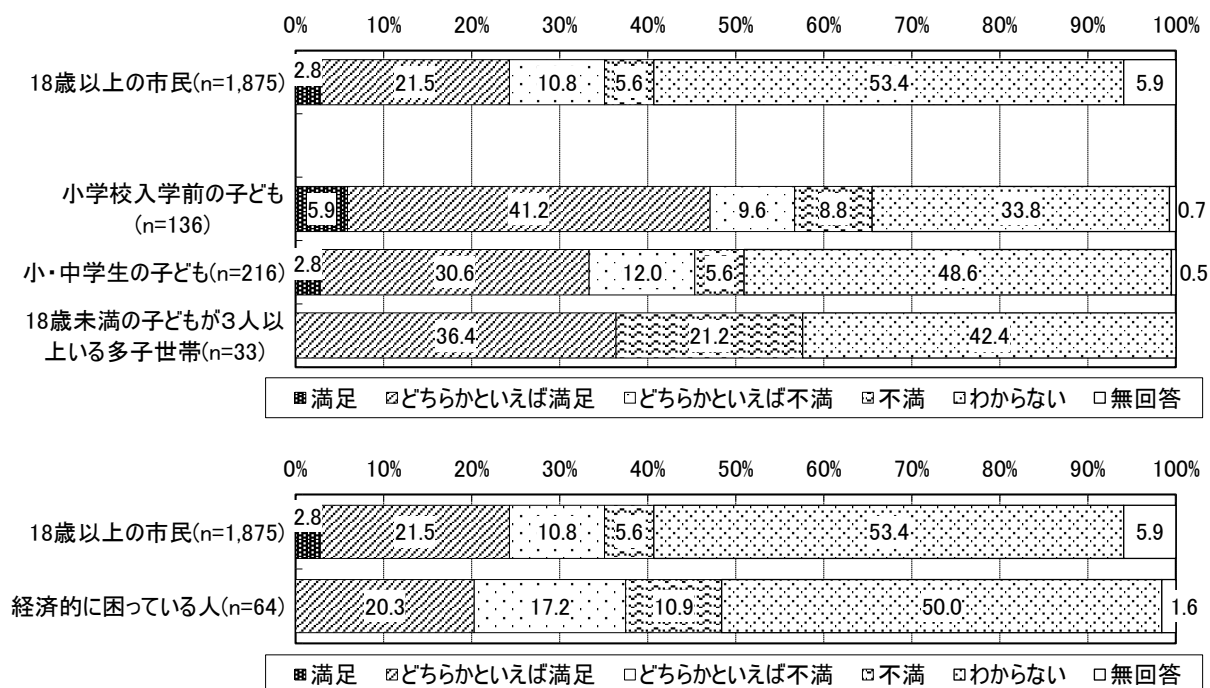
Ⅱ 市民アンケートの結果

④相談窓口とネットワークの充実



○「わからない」と答える人が53.4%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて24.3%で、年齢が高くなるほど少なくなっています。

④相談窓口とネットワークの充実（続き）

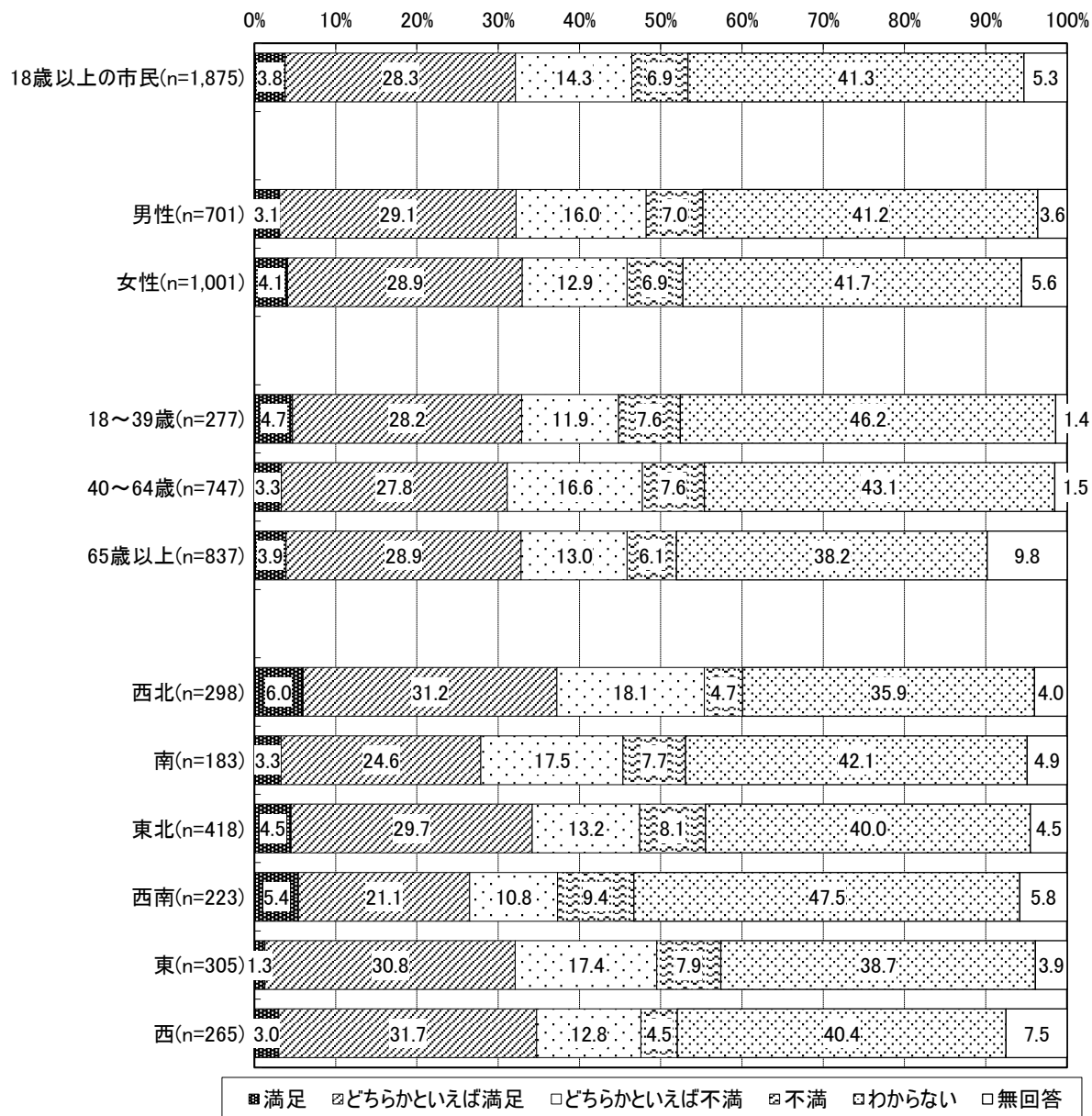


○子育て世代については、全体と比べると満足感が高くなっています。

○経済的に困っている人と一緒に暮らしている人では、どちらかといえばという人も含めて、満足よりも不満の方が上回っています。

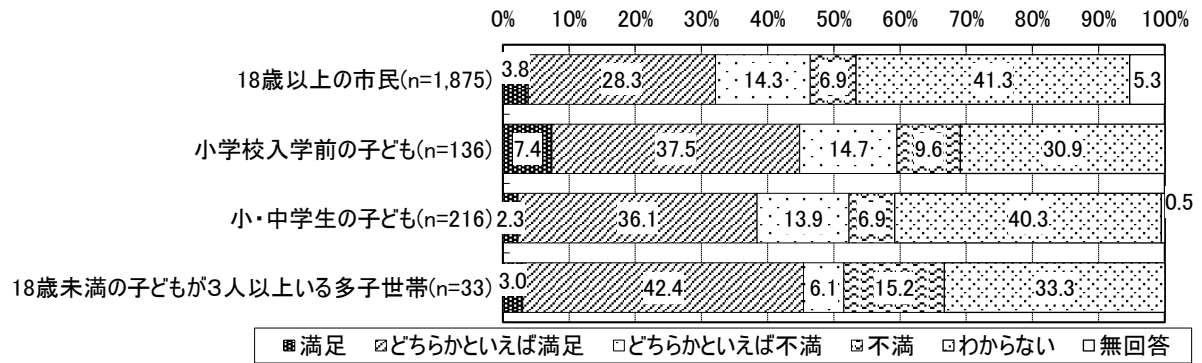
Ⅱ 市民アンケートの結果

⑤保健や福祉に関する情報の得やすさ

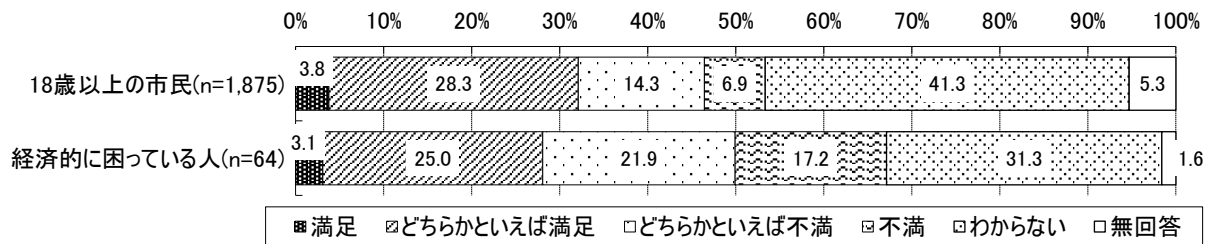


○「わからない」と答える人が41.3%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて32.1%となっています。

⑤保健や福祉に関する情報の得やすさ（続き）



⑤保健や福祉に関する情報の得やすさ



○子育て世代については、全体と比べると満足感が高くなっています。

○経済的に困っている人と一緒に暮らしている人では、どちらかといえばという人も含めて、満足よりも不満の方が上回っています。

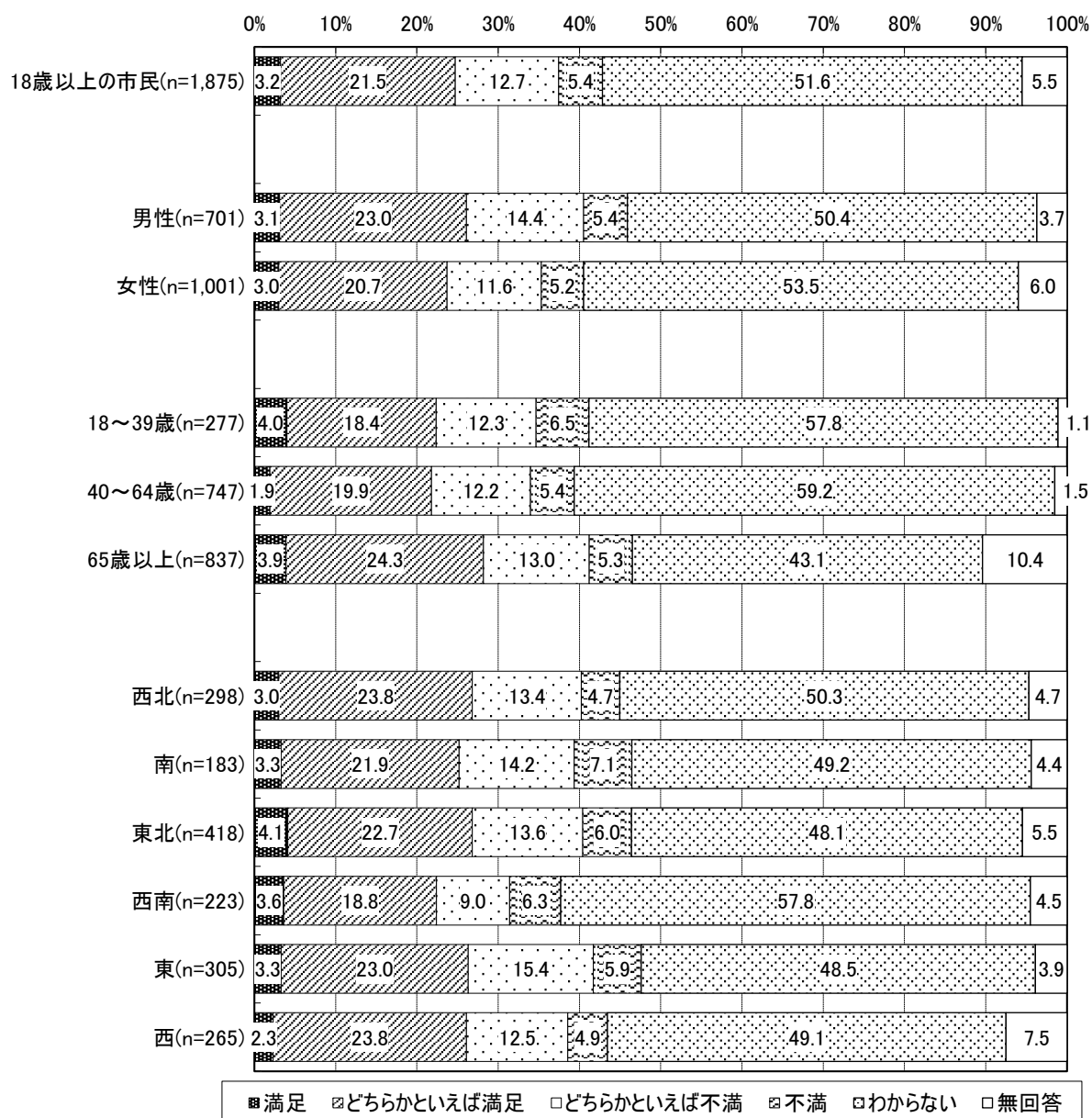
Ⅱ 市民アンケートの結果

⑥健康づくりの推進や介護予防



○「わからない」と答える人が51.3%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて26.0%で、年齢が高くなるほど多くみられます。

⑦地域活動への参加のしやすさ



○「わからない」と答える人が51.6%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて24.7%となっています。

○年齢別にみると、65歳以上については、全体と比べると満足感が高くなっています。

Ⅱ 市民アンケートの結果

⑧地域の活動拠点の充実



○「わからない」と答える人が55.1%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて20.9%となっています。

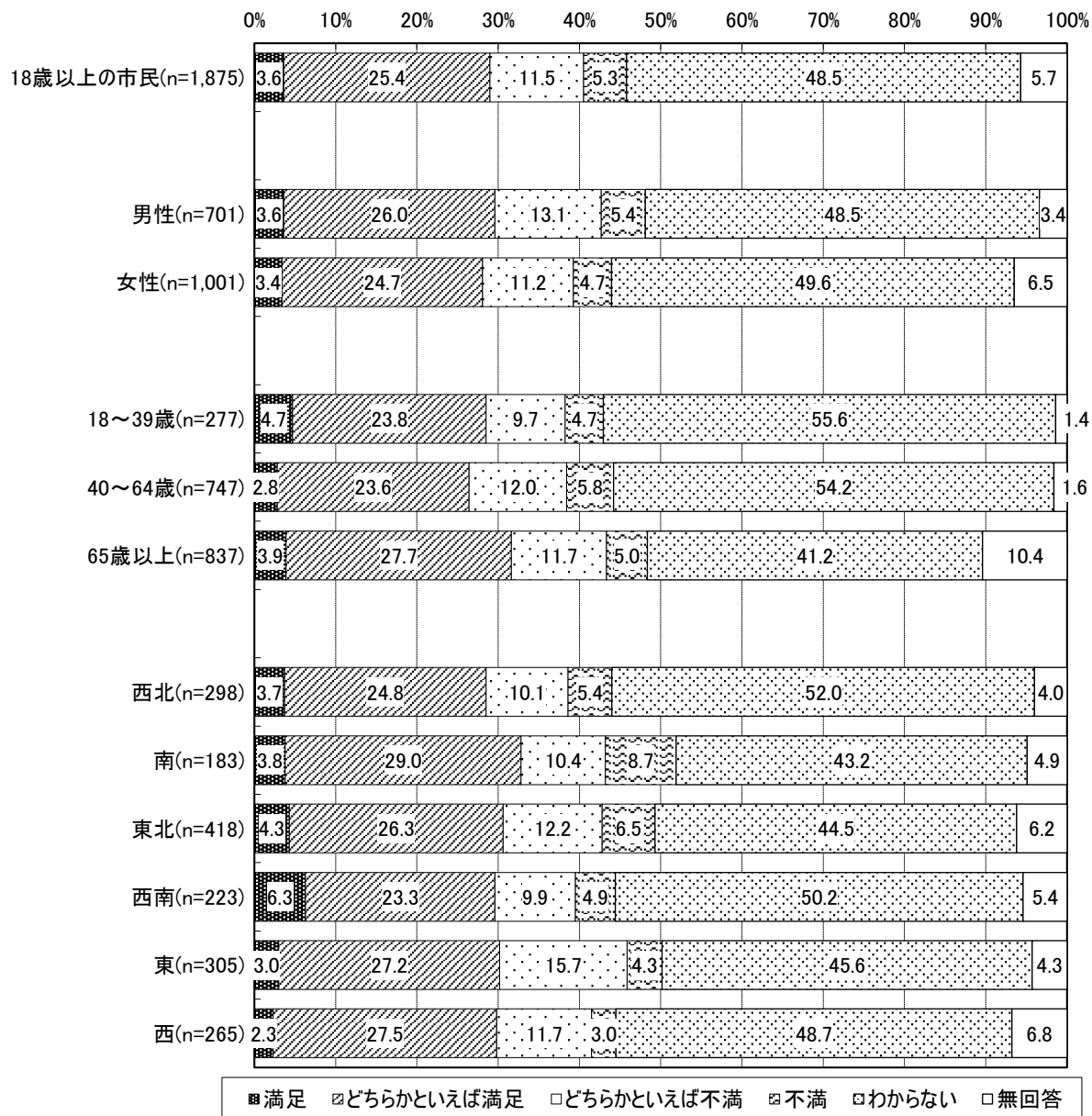
⑨子ども、障害者(児)、高齢者の権利を守る環境



○「わからない」と答える人が55.7%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて19.6%となっています。

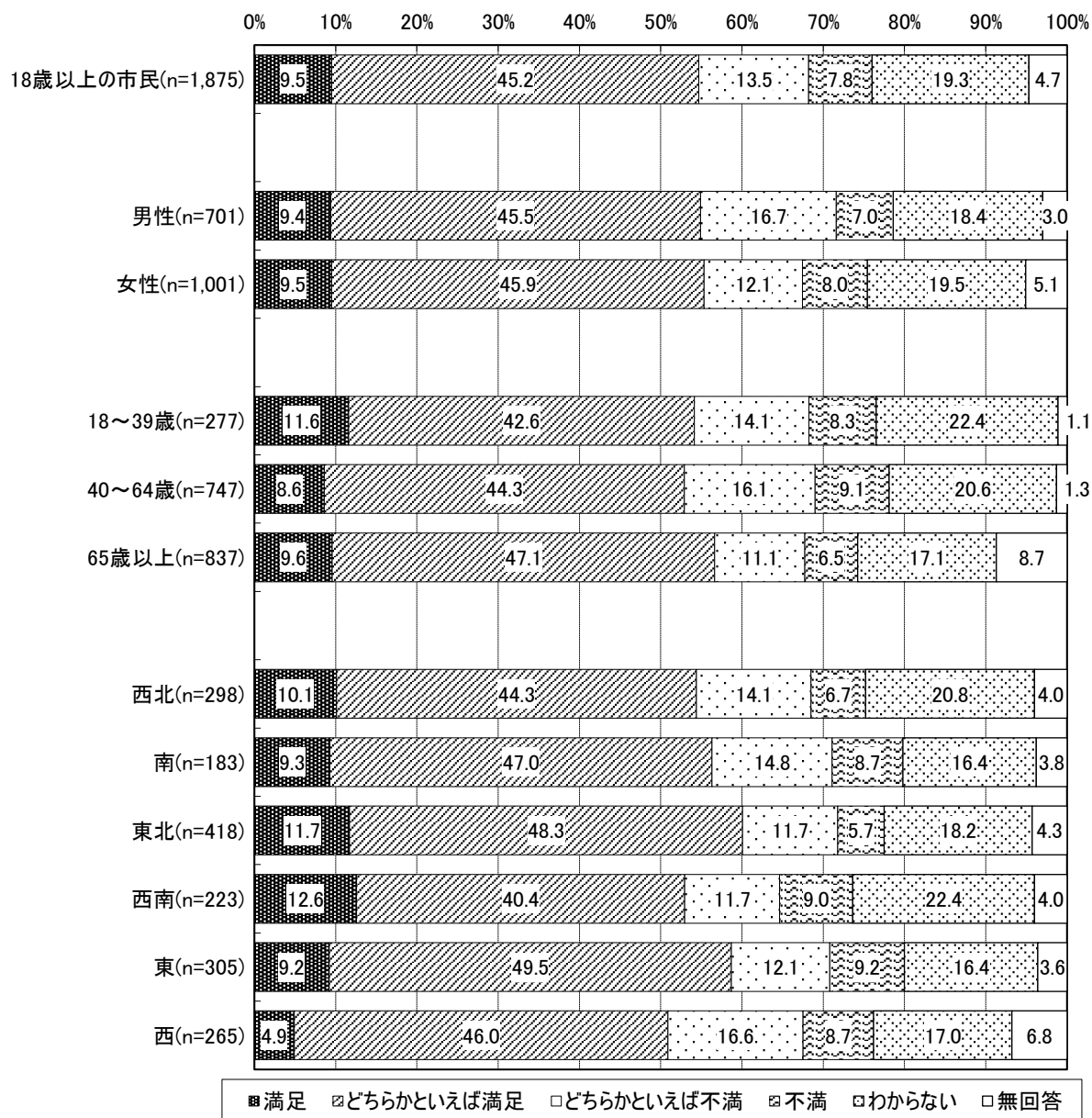
Ⅱ 市民アンケートの結果

⑩地域の人、団体等とのつながり



○「わからない」と答える人が48.5%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて29.0%となっています。

⑪住まいや地域の生活環境

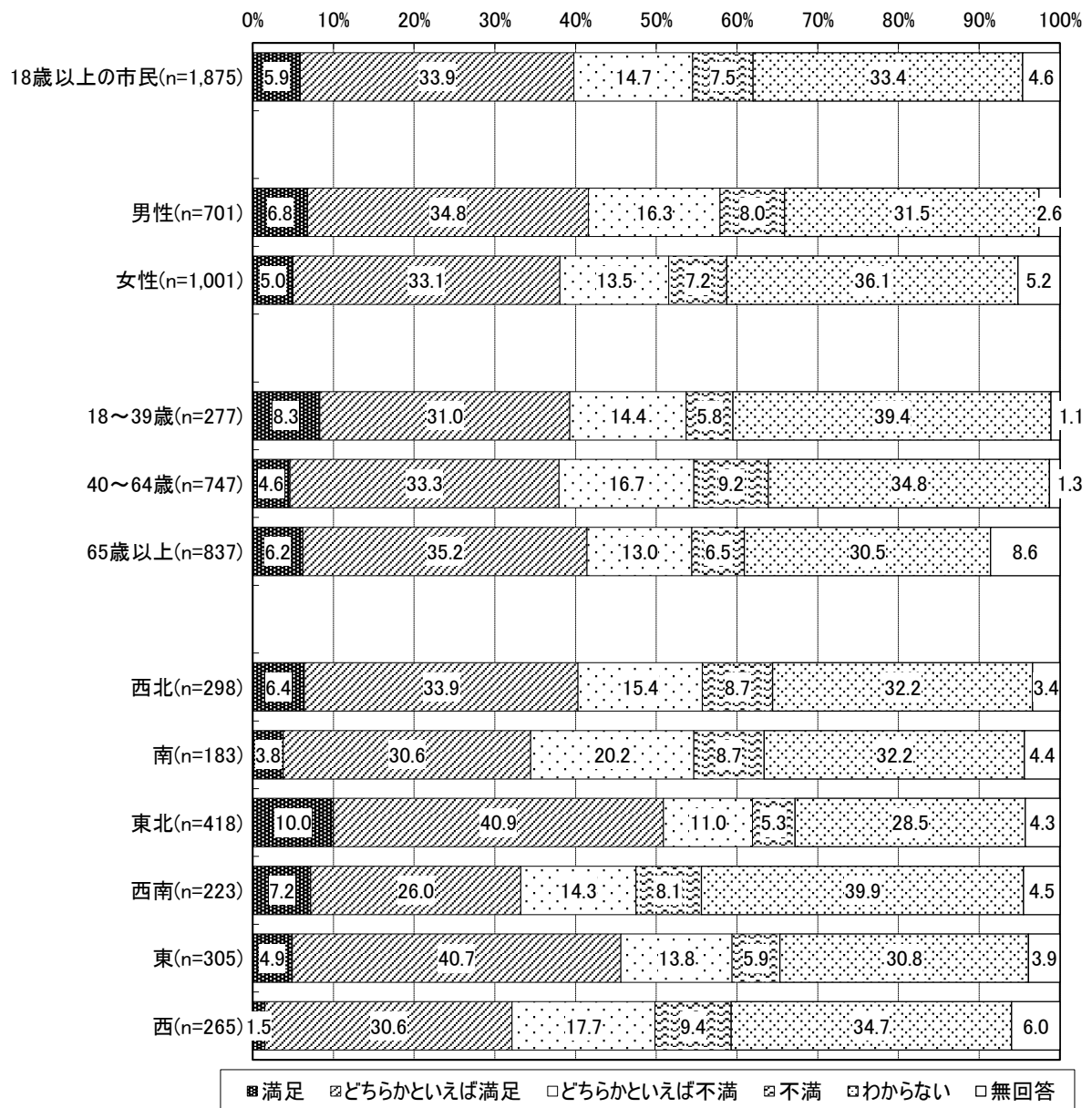


○「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて54.7%となっています。

○地域別にみると、南・東北・東エリアの人については、全体と比べると満足感が高くなっています。

Ⅱ 市民アンケートの結果

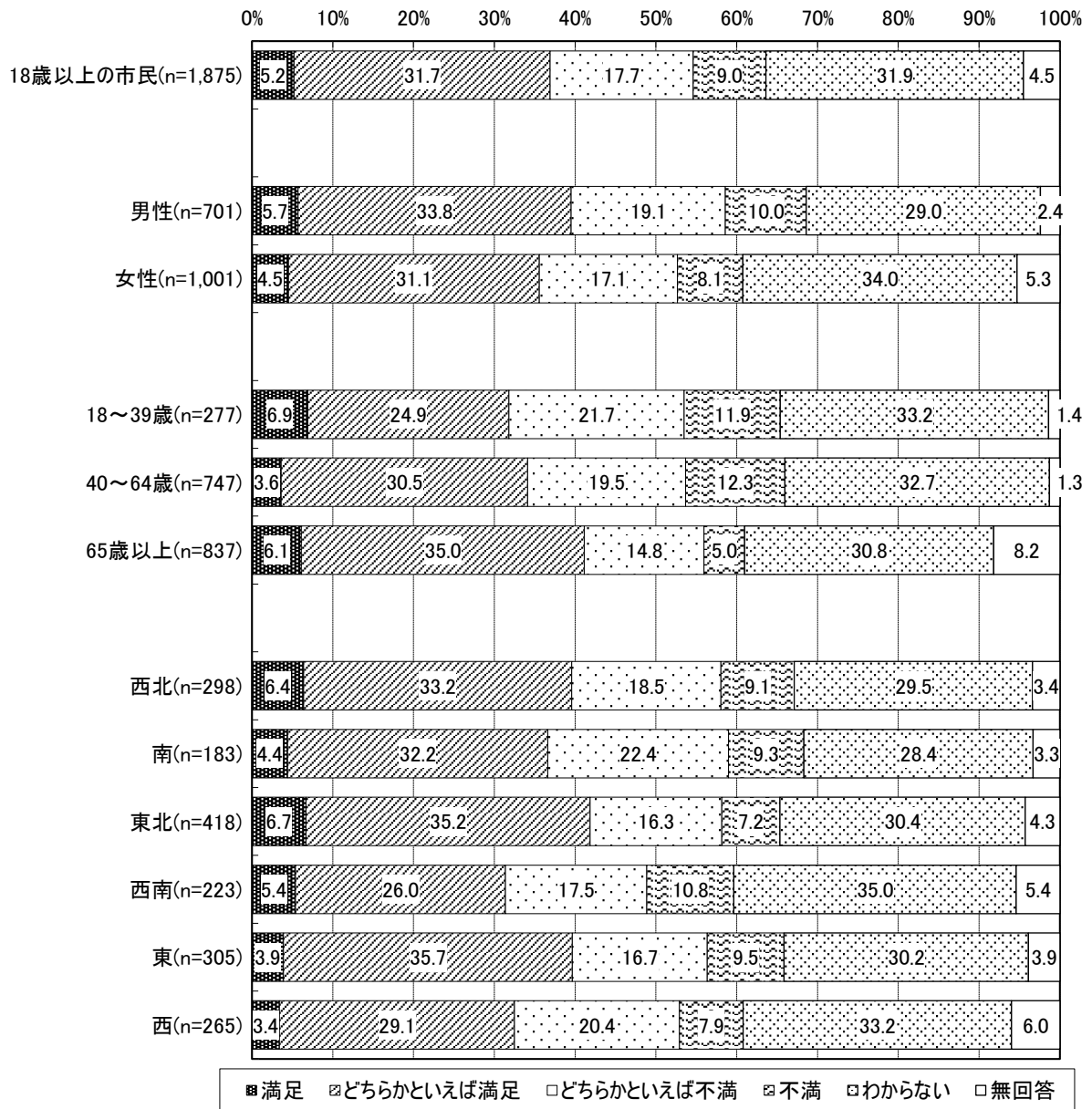
⑫災害などに対する安全な環境



○「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて39.8%となっています。

○地域別にみると、西北・東北・東エリアの人については、全体と比べると満足感が高くなっています。

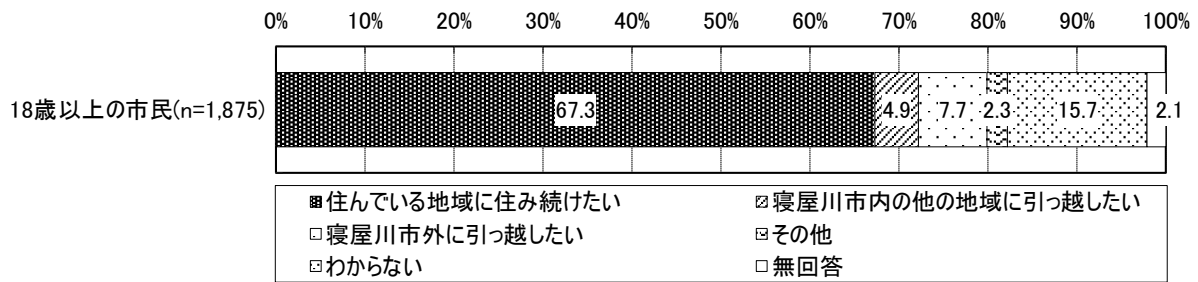
⑬犯罪などに対する安全な環境



- 「満足」「どちらかといえば満足」と答える人は合わせて36.9%で、年齢が高くなるほど多くみられます。
- 地域別にみると、西北・東北・東エリアの人については、全体と比べると満足感が高くなっています。

II 市民アンケートの結果

問8 これからもお住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)



○「住んでいる地域に住み続けたい」が67.3%、「寝屋川市内の他の地域に引っ越したい」が4.9%と、合わせて72.2%の人が寝屋川市内での定住意向を示しています。

○年齢別にみると、「住んでいる地域に住み続けたい」は年齢が高くなるほど、「寝屋川市外に引っ越したい」は年齢が若くなるほど多くみられます。

※「その他」の主な内容：引っ越し予定、住まざるを得ない、お金がないので無理など

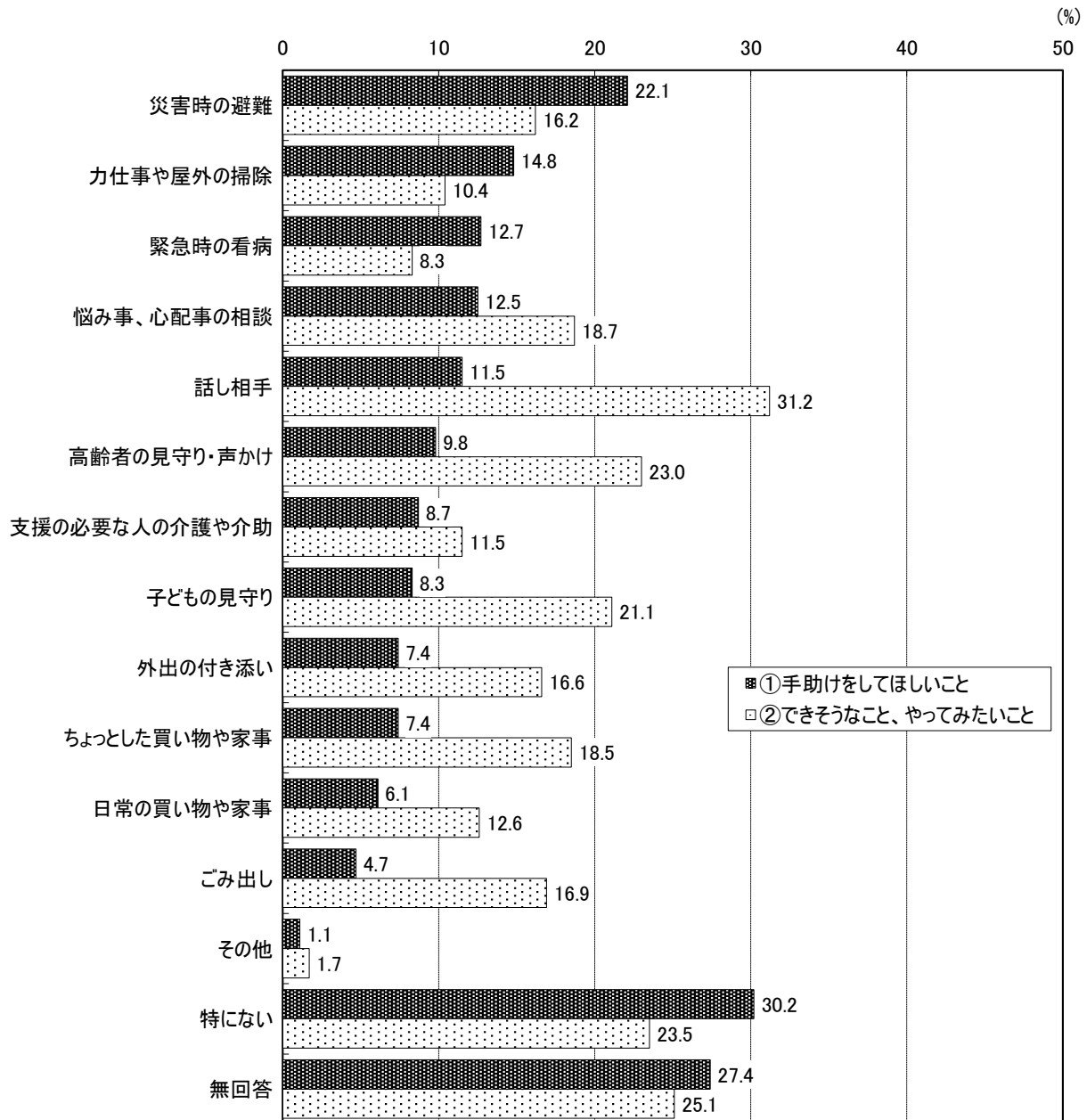
単位：%	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
住んでいる地域に住み続けたい	67.3	69.3	65.6	55.6	60.5	77.2
寝屋川市内の他の地域に引っ越したい	4.9	4.9	5.0	6.5	5.6	3.6
寝屋川市外に引っ越したい	7.7	6.8	8.5	13.7	10.8	3.1
その他	2.3	2.0	2.7	4.3	2.5	1.6
わからない	15.7	15.7	15.5	18.1	19.4	11.6
無回答	2.1	1.3	2.7	1.8	1.1	3.0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
住んでいる地域に住み続けたい	67.3	70.8	67.2	72.5	59.6	71.8	64.5
寝屋川市内の他の地域に引っ越したい	4.9	4.7	4.4	3.6	7.2	3.3	6.4
寝屋川市外に引っ越したい	7.7	7.7	8.2	5.5	11.7	5.2	9.1
その他	2.3	0.7	2.7	1.2	2.7	4.6	1.5
わからない	15.7	14.1	14.8	15.1	17.5	12.8	17.0
無回答	2.1	2.0	2.7	2.2	1.3	2.3	1.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問9 今後、ご近所とのおつきあいのなかで、あなたが「手助けをしてほしい」と思うことがありますか。また逆に、あなたご自身ができそうなこと、やってみたいと思うことがありますか。(①②のそれぞれの項目について○はいくつでも)



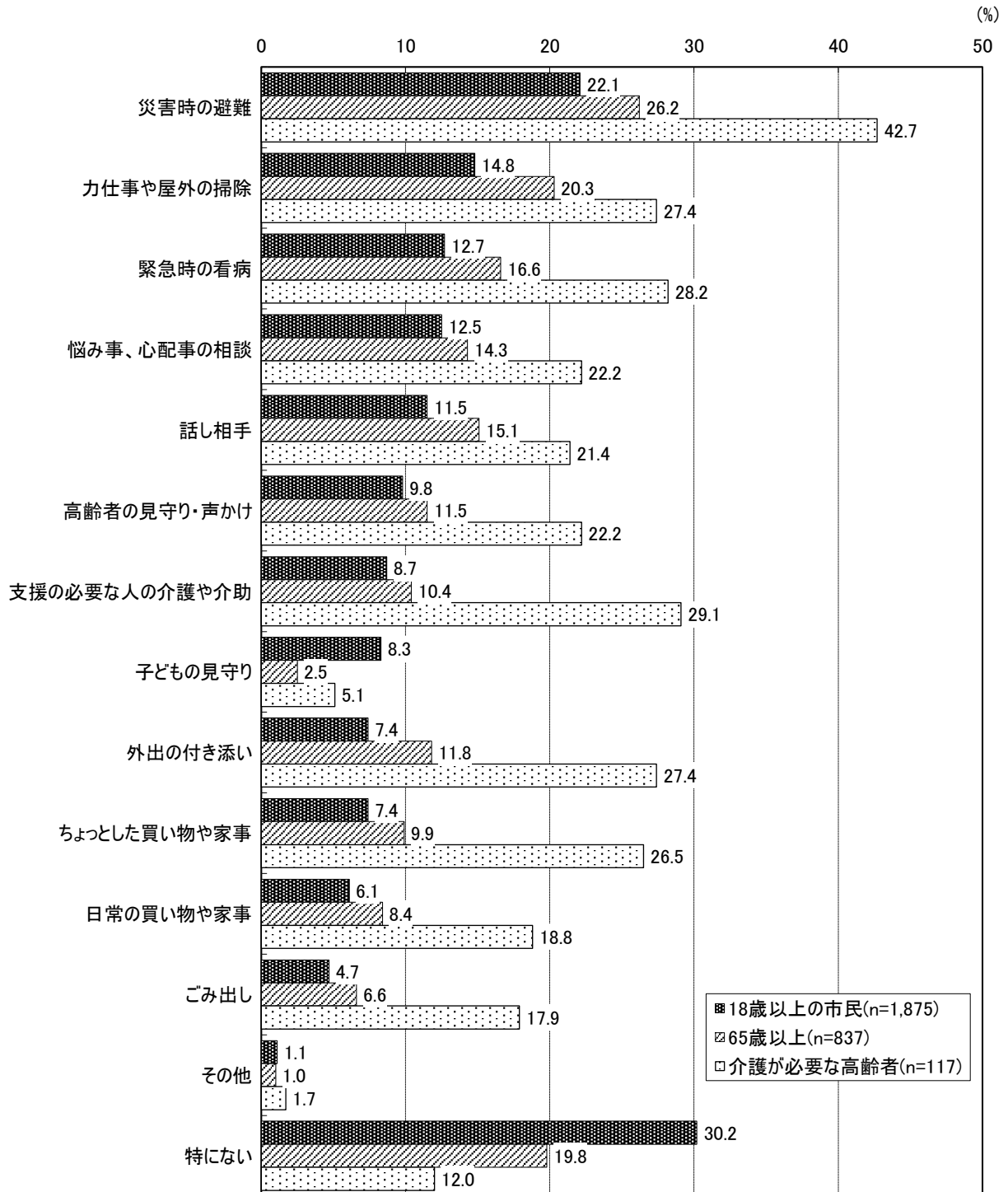
○「特にない」と無回答を除いて、近所づきあいを通じて何らかの手助けをしてほしいと思う人は42.4%、回答者自身ができそうなこと、やってみたいことがあるという人が51.4%となっています。

○手助けをしてほしい内容では、「災害時の避難」が22.1%と最も多く、次いで「力仕事や屋外の掃除」が14.8%、「緊急時の看病」が12.7%、「悩み事、心配事の相談」が12.5%、「話し相手」が11.5%の順となっています。

○できそうなこと、やってみたい内容としては「話し相手」が31.2%と最も多く、次いで「高齢者の見守り・声かけ」が23.0%、「子どもの見守り」が21.1%、「悩み事、心配事の相談」が18.7%、「ちょっとした買い物や家事」が18.5%の順となっています。

Ⅱ 市民アンケートの結果

①近所づきあいの中で「手助けをしてほしい」と思うこと



○属性別にみると、介護が必要な高齢者と一緒に暮らしている人で、「災害時の避難」「力仕事や屋外の掃除」「緊急時の看病」「支援の必要な人の介護や介助」「外出の付き添い」「ちょっとした買い物や家事」など、近所づきあいの中でいろいろ手助けをしてほしいと答えている人が多くみられます。

○18～39歳で「子どもの見守り」が24.2%、65歳以上で「力仕事や屋外の掃除」が20.3%、西エリアで「災害時の避難」が27.2%と多くみられます。

※「その他」の主な内容：外出時のタクシー、家族がやってくれる、地域の見守り など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
話し相手	11.5	10.8	11.1	9.0	8.2	15.1
悩み事、心配事の相談	12.5	12.1	12.0	11.6	11.0	14.3
外出の付き添い	7.4	6.1	8.1	4.3	3.6	11.8
ちょっとした買い物や家事	7.4	5.7	7.7	7.2	4.3	9.9
日常の買い物や家事	6.1	4.9	6.5	6.1	3.6	8.4
子どもの見守り	8.3	7.0	9.7	24.2	8.7	2.5
高齢者の見守り・声かけ	9.8	8.7	9.5	7.2	8.7	11.5
支援の必要な人の介護や介助	8.7	8.8	7.8	5.8	7.9	10.4
力仕事や屋外の掃除	14.8	10.7	16.2	11.2	10.0	20.3
ごみ出し	4.7	4.1	4.6	4.3	2.8	6.6
緊急時の看病	12.7	13.4	11.1	9.7	9.6	16.6
災害時の避難	22.1	18.8	23.1	23.8	17.0	26.2
その他	1.1	1.1	0.6	0.4	1.3	1.0
特にない	30.2	34.0	29.4	35.4	40.0	19.8
無回答	27.4	27.1	26.9	18.1	24.8	32.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

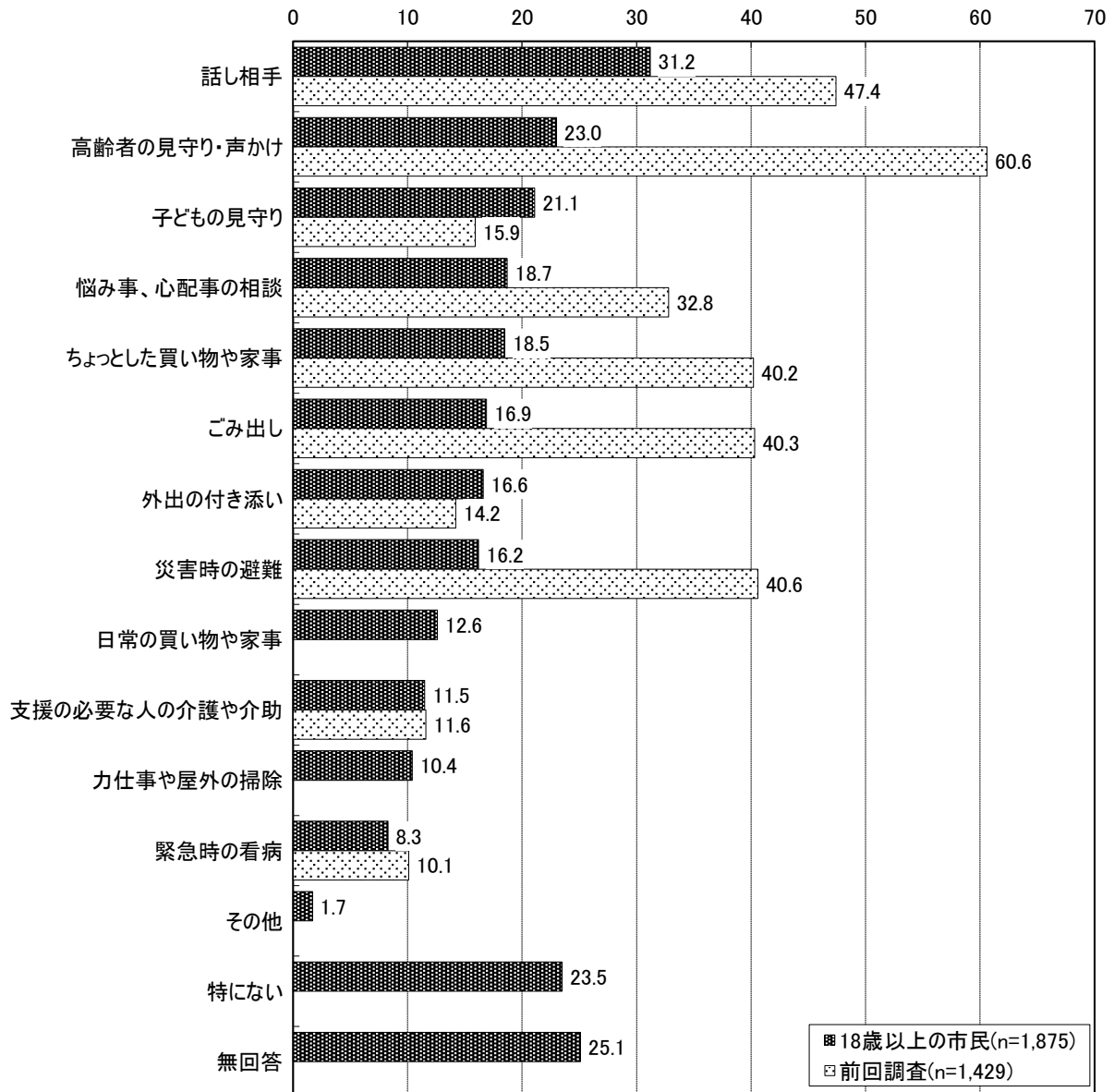
単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
話し相手	11.5	12.4	8.2	13.6	10.3	10.8	12.5
悩み事、心配事の相談	12.5	15.4	10.4	13.4	11.2	11.1	13.6
外出の付き添い	7.4	6.7	6.0	7.2	9.4	7.9	9.4
ちょっとした買い物や家事	7.4	6.0	4.4	8.1	8.5	7.5	9.4
日常の買い物や家事	6.1	5.4	4.9	6.0	9.0	4.9	6.0
子どもの見守り	8.3	9.7	8.7	7.7	10.3	8.5	7.9
高齢者の見守り・声かけ	9.8	8.4	10.9	11.7	9.4	8.2	11.3
支援の必要な人の介護や介助	8.7	8.7	8.2	9.8	10.8	7.9	8.3
力仕事や屋外の掃除	14.8	11.7	16.4	14.8	17.0	17.7	14.0
ごみ出し	4.7	4.7	4.4	5.0	7.2	3.3	4.2
緊急時の看病	12.7	11.7	13.7	12.2	15.7	12.5	14.0
災害時の避難	22.1	22.5	19.1	19.9	24.2	23.0	27.2
その他	1.1	1.0	1.1	1.0	1.3	0.7	1.1
特にない	30.2	32.6	26.8	29.7	28.3	29.2	29.1
無回答	27.4	23.8	33.9	27.5	28.7	27.5	24.2

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

②近所づきあいの中で「できそうなこと」「やってみたいこと」

(%)



※前回調査とは設問方法が異なっているため、比較可能なもののみ掲載しています。

○近所づきあいの中でできそうなこと、やってみたいことについて前回調査結果と比べると、「高齢者の見守り・声かけ」は前回の60.6%から23.0%へ、「話し相手」は前回の47.4%から31.1%へ低下しています。また、「ごみ出し」や「災害時の避難」は40%を超えていたものが、10数%ということで非常に割合が低下しています。

○属性別にみると、男性で「災害時の避難」「力仕事や屋外の掃除」、18～39歳で「子どもの見守り」「悩み事、心配事の相談」「災害時の避難」と答える人が多くみられます。また、地域別にみると、南エリアでできそうなこと、やってみたいことがあるという人が多くみられます。

※「その他」の主な内容：子ども食堂、地域活動への参加と理解、高齢のため何もしない など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
話し相手	31. 2	26. 4	35. 4	32. 5	29. 0	33. 1
悩み事、心配事の相談	18. 7	17. 4	19. 4	26. 0	16. 7	18. 0
外出の付き添い	16. 6	16. 0	16. 6	15. 5	16. 3	17. 0
ちょっとした買い物や家事	18. 5	16. 5	19. 9	18. 4	17. 7	19. 2
日常の買い物や家事	12. 6	12. 6	11. 9	13. 0	11. 2	13. 7
子どもの見守り	21. 1	21. 5	21. 3	30. 0	19. 7	19. 7
高齢者の見守り・声かけ	23. 0	20. 3	25. 5	27. 8	22. 9	21. 6
支援の必要な人の介護や介助	11. 5	11. 7	11. 1	12. 6	11. 2	11. 6
力仕事や屋外の掃除	10. 4	16. 8	6. 5	11. 9	10. 6	9. 9
ごみ出し	16. 9	19. 1	15. 1	15. 2	15. 7	18. 5
緊急時の看病	8. 3	9. 6	7. 2	10. 5	7. 2	8. 5
災害時の避難	16. 2	22. 1	13. 2	21. 7	16. 9	13. 7
その他	1. 7	2. 1	1. 4	1. 8	1. 7	1. 7
特にない	23. 5	28. 7	21. 4	26. 7	31. 9	15. 3
無回答	25. 1	20. 5	25. 7	11. 9	17. 0	36. 2

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

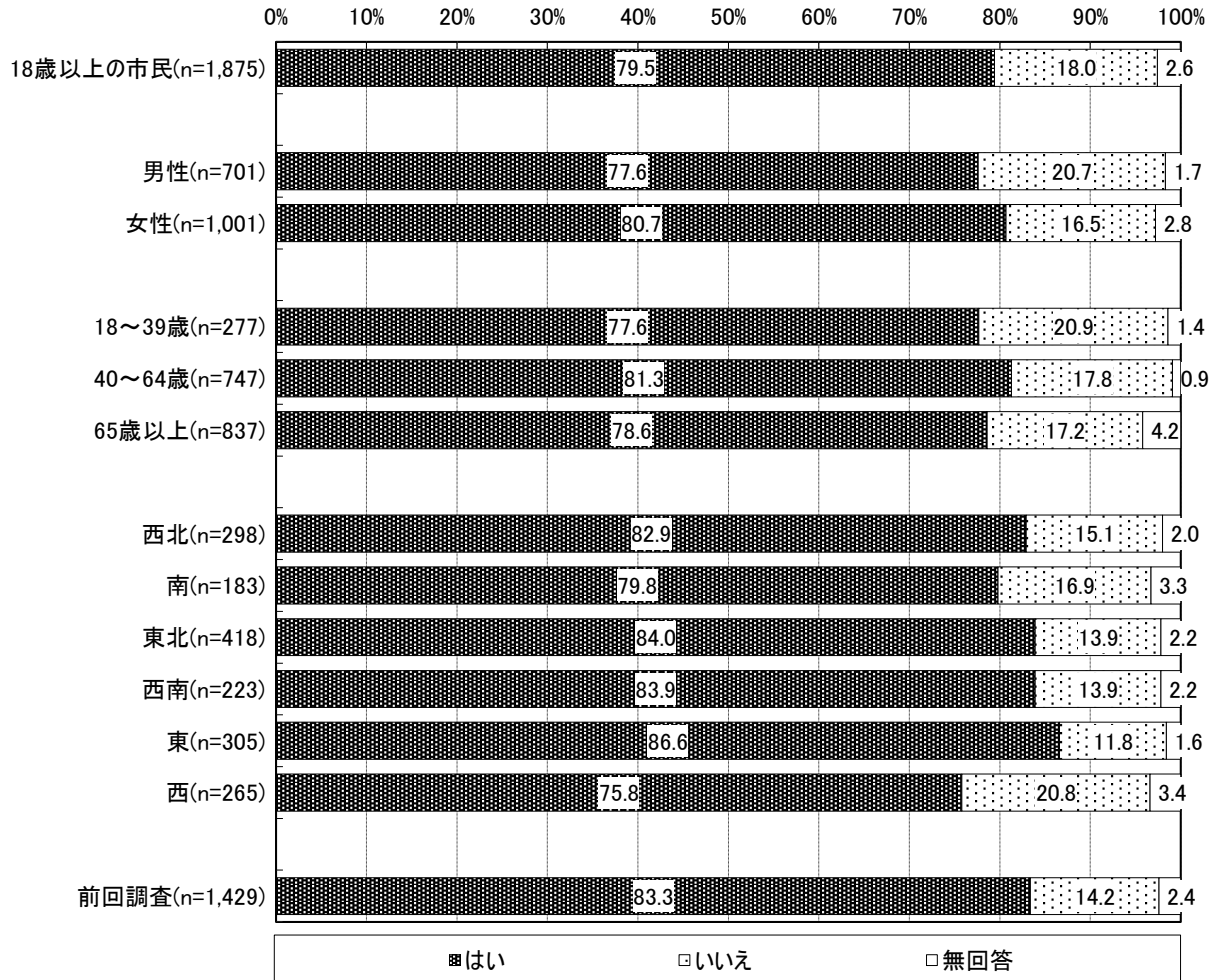
単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
話し相手	31. 2	34. 9	34. 4	30. 6	29. 6	34. 4	28. 3
悩み事、心配事の相談	18. 7	18. 5	24. 6	18. 4	16. 6	20. 3	16. 2
外出の付き添い	16. 6	17. 4	23. 5	15. 6	13. 5	16. 7	16. 6
ちょっとした買い物や家事	18. 5	20. 1	26. 2	18. 9	15. 2	17. 7	17. 7
日常の買い物や家事	12. 6	13. 8	17. 5	13. 4	11. 7	8. 5	13. 2
子どもの見守り	21. 1	23. 8	26. 8	21. 3	16. 6	23. 3	18. 5
高齢者の見守り・声かけ	23. 0	25. 5	27. 9	23. 7	20. 2	21. 3	23. 4
支援の必要な人の介護や介助	11. 5	13. 8	15. 3	10. 5	12. 1	8. 9	12. 1
力仕事や屋外の掃除	10. 4	11. 4	12. 0	8. 1	10. 3	9. 5	14. 3
ごみ出し	16. 9	21. 1	19. 1	17. 7	13. 5	15. 4	18. 1
緊急時の看病	8. 3	9. 4	12. 6	7. 9	6. 7	8. 2	7. 5
災害時の避難	16. 2	17. 1	22. 4	19. 4	9. 4	14. 1	15. 8
その他	1. 7	2. 0	1. 6	1. 0	1. 8	2. 3	1. 9
特にない	23. 5	25. 2	16. 4	24. 4	26. 0	21. 3	23. 0
無回答	25. 1	23. 2	26. 2	23. 4	26. 0	23. 3	27. 9

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問10 あなたの防災に対する日頃からの取組や、災害など緊急時の対応について、お聞かせください。(①～⑥のそれぞれの項目ごとに○は1つ)

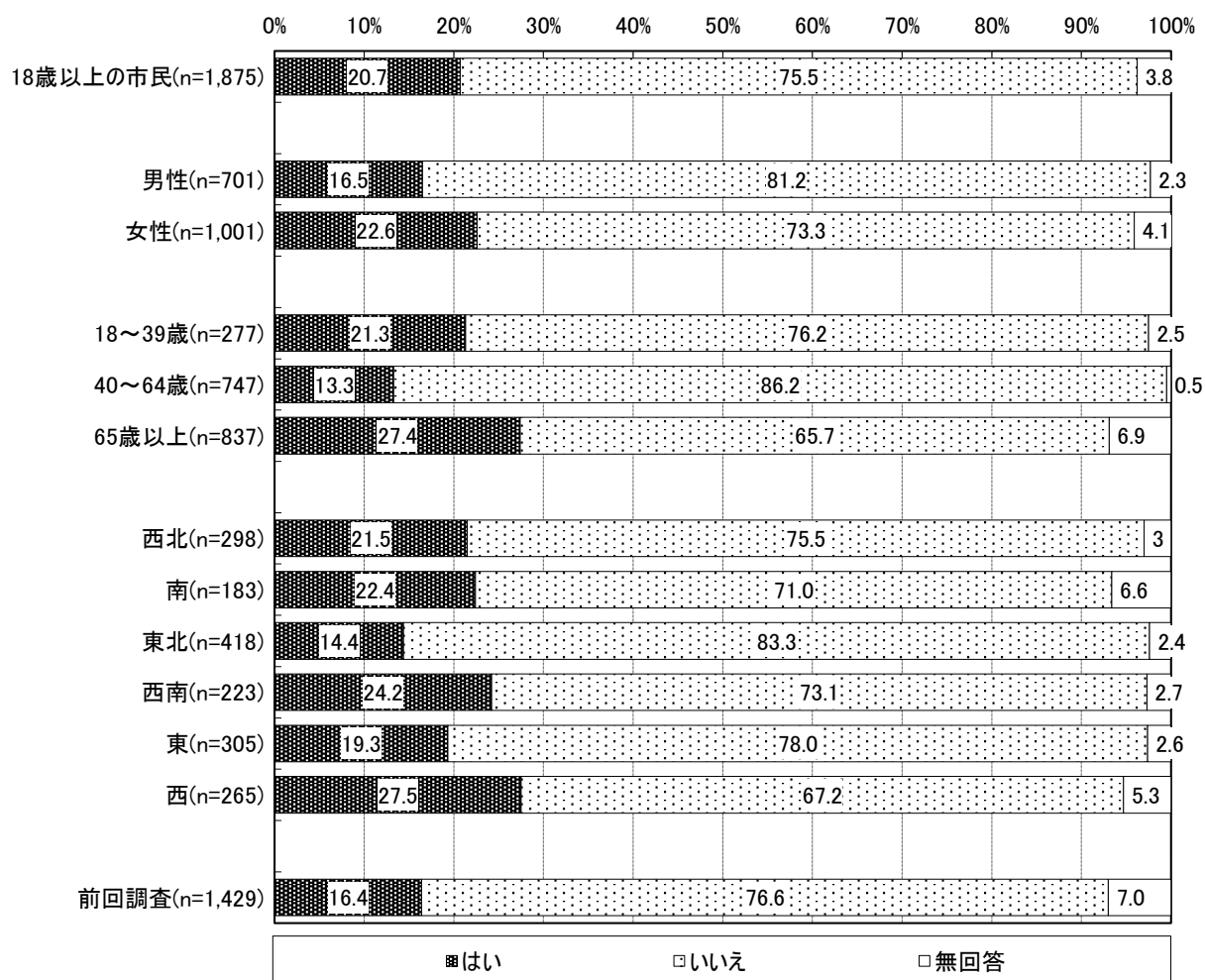
①災害時の避難場所について知っていますか



○「はい」が79.5%、「いいえ」が18.0%となっています。

○地域別にみると、西エリアで「はい」と答えた人がやや少なくなっています。

②災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか

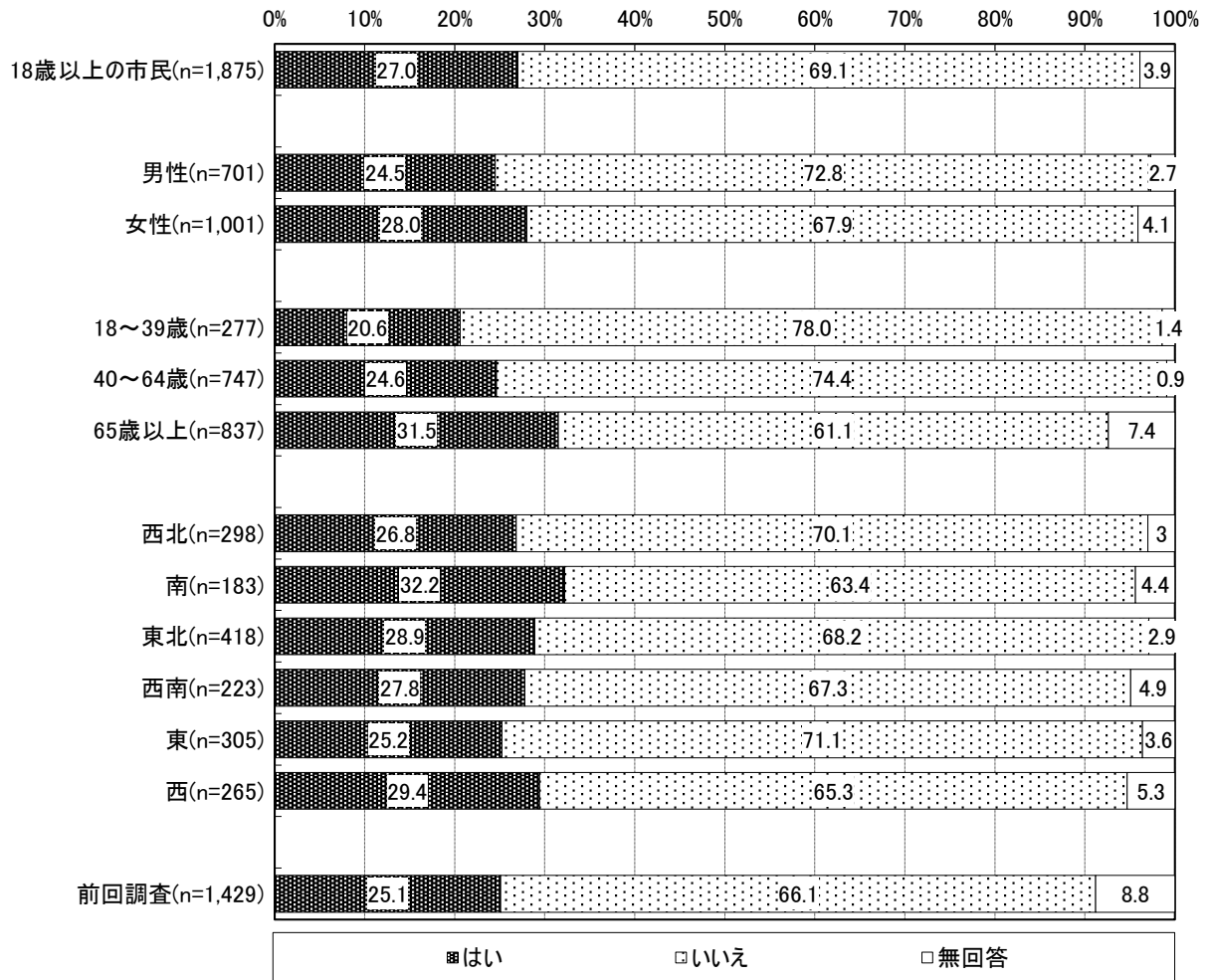


○「はい」が20.7%、「いいえ」が75.5%となっており、前回調査の結果より「はい」と答えた人が増えています。

○属性別にみると、男性より女性、65歳以上、西エリアや西南エリアの人で「はい」と答えた人がやや多くみられます。

Ⅱ 市民アンケートの結果

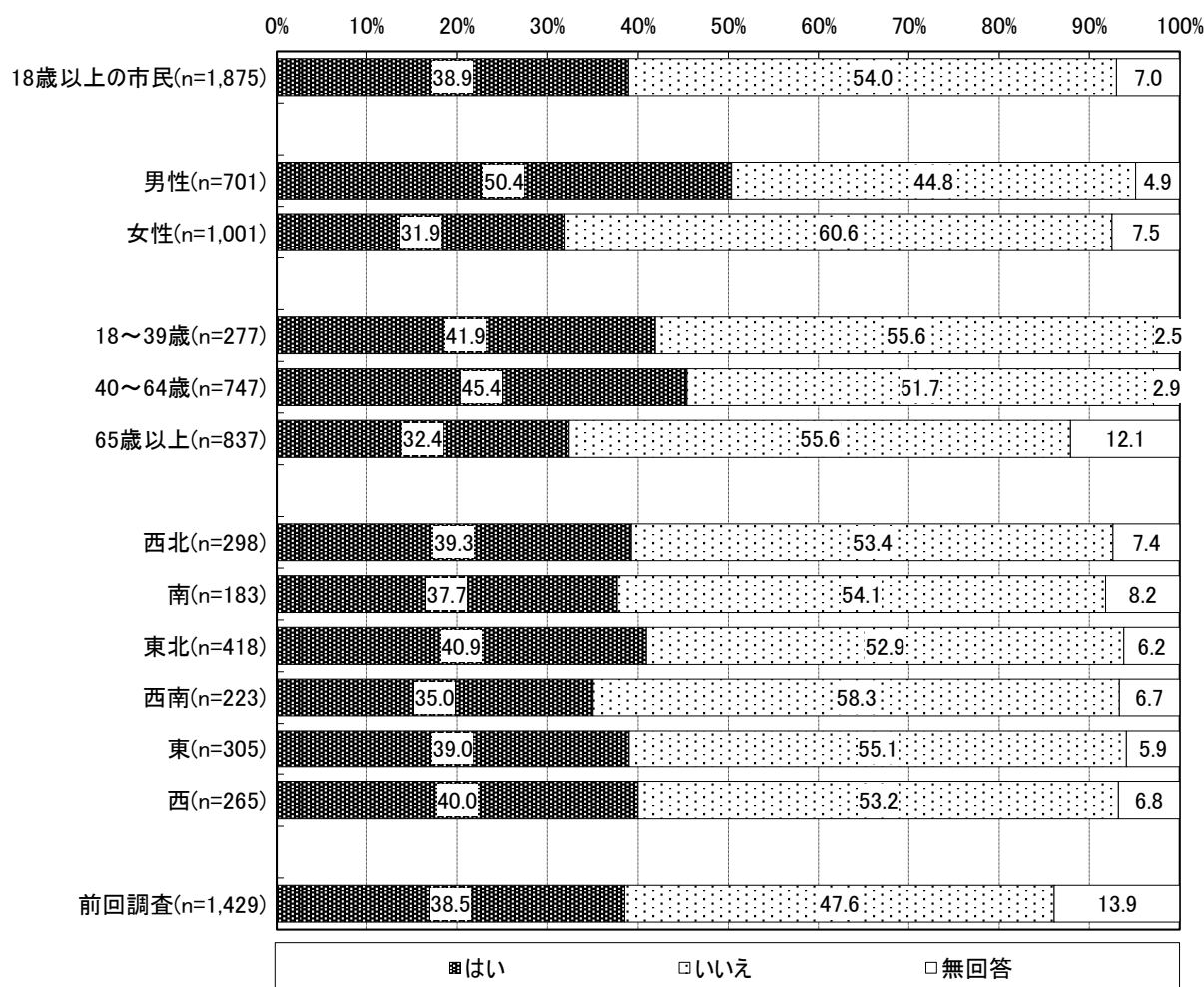
③隣近所で、自力で避難が困難と思われる人（ひとり暮らし高齢者や障害のある人など）を知っていますか



○「はい」が27.0%、「いいえ」が69.1%となっています。

○属性別にみると、男性より女性で、また年齢が高い人ほど「はい」と答える人が多く、地域別には南エリアの人でやや多くみられます。

④自力で避難が困難だと思われる人の避難支援者になってもよいですか

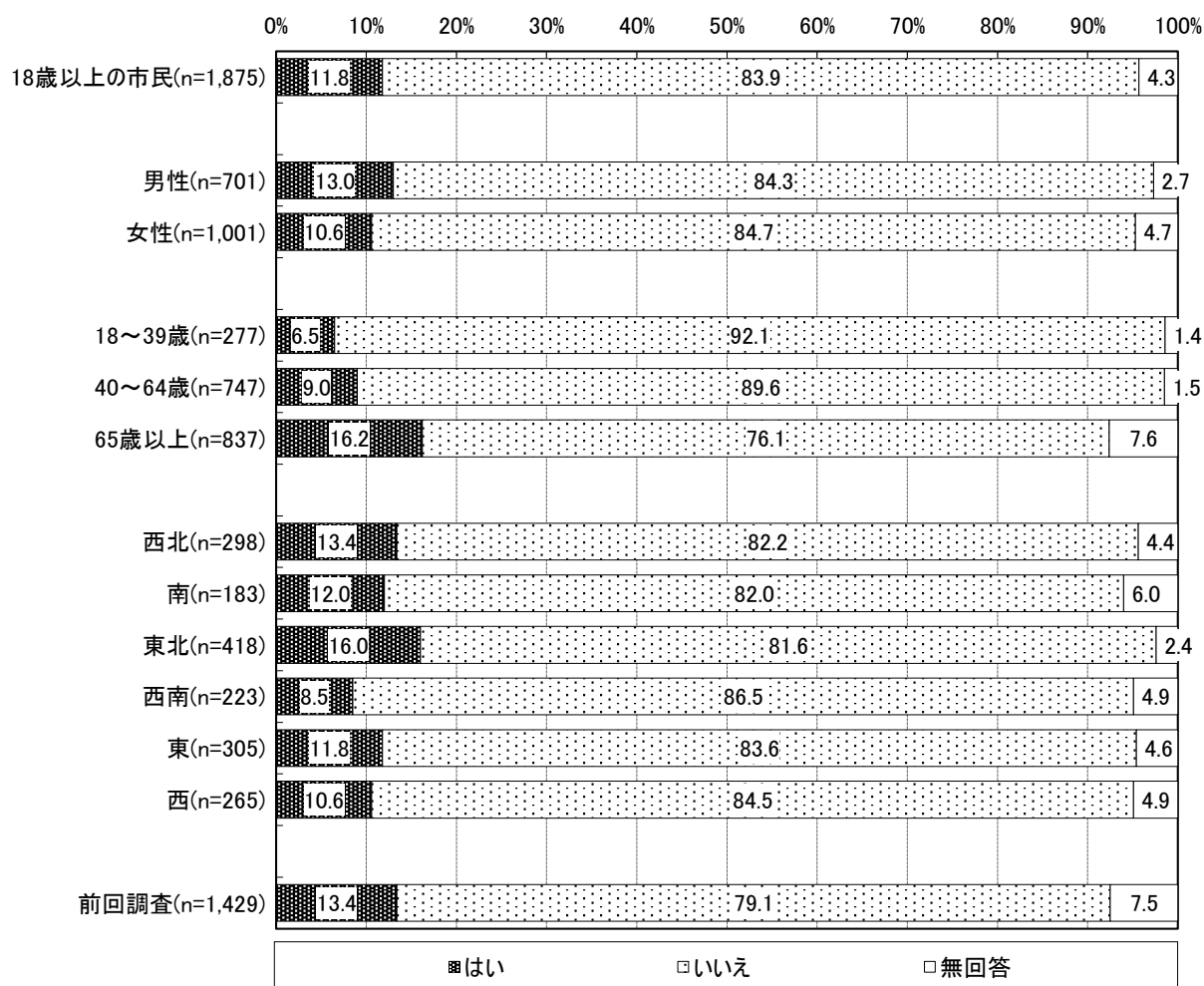


○「はい」が38.9%、「いいえ」が54.0%となっています。

○属性別にみると、男性、18歳から64歳で「はい」と答える人が多くみられます。

Ⅱ 市民アンケートの結果

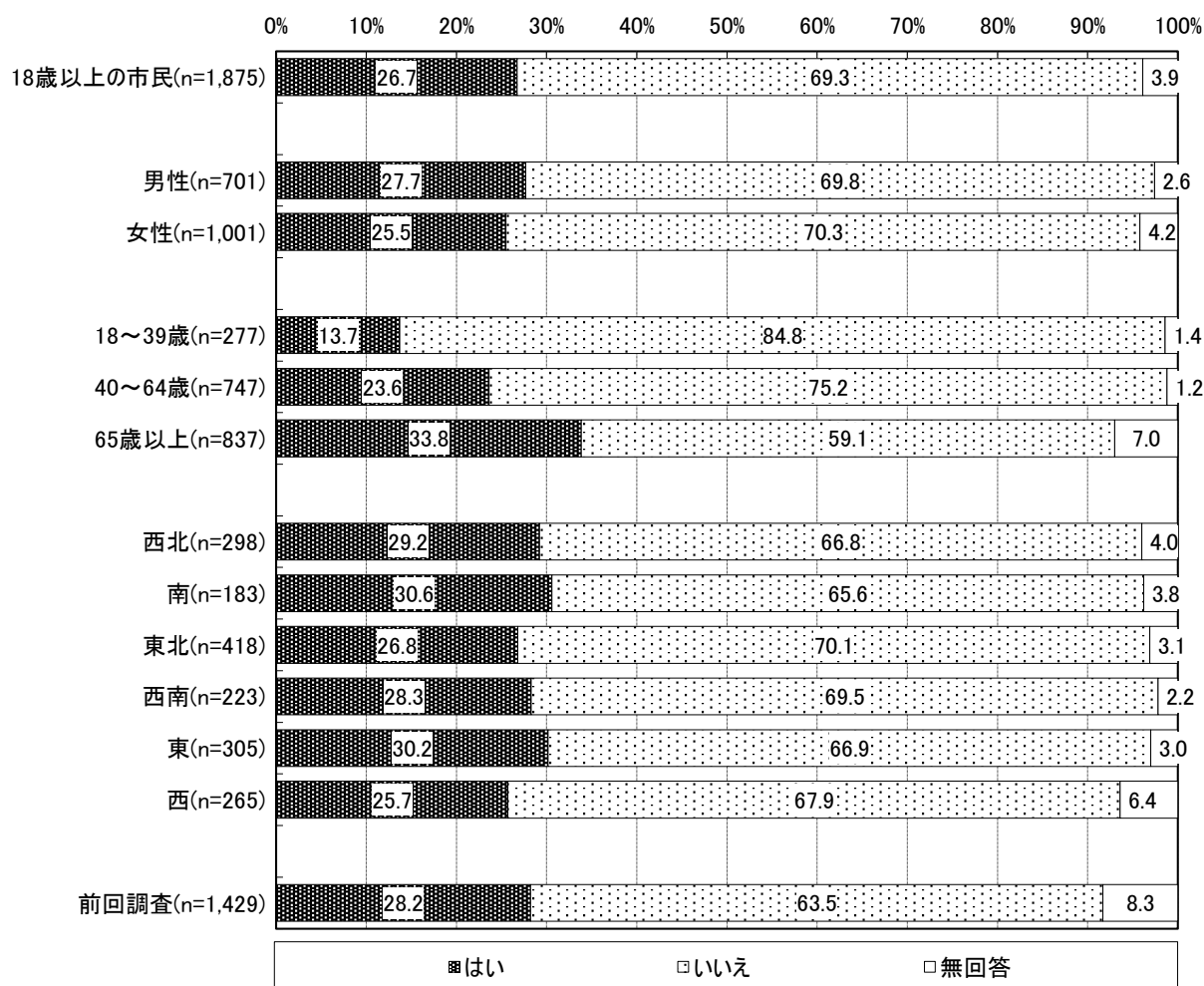
⑤日頃から地域の防災訓練に参加していますか



○「はい」が11.8%、「いいえ」が83.9%となっています。

○属性別にみると、年齢が高くなるほど「はい」と答える人が多く、地域別には東北エリアで多くみられます。

⑥地域に自主防災組織があることを知っていますか

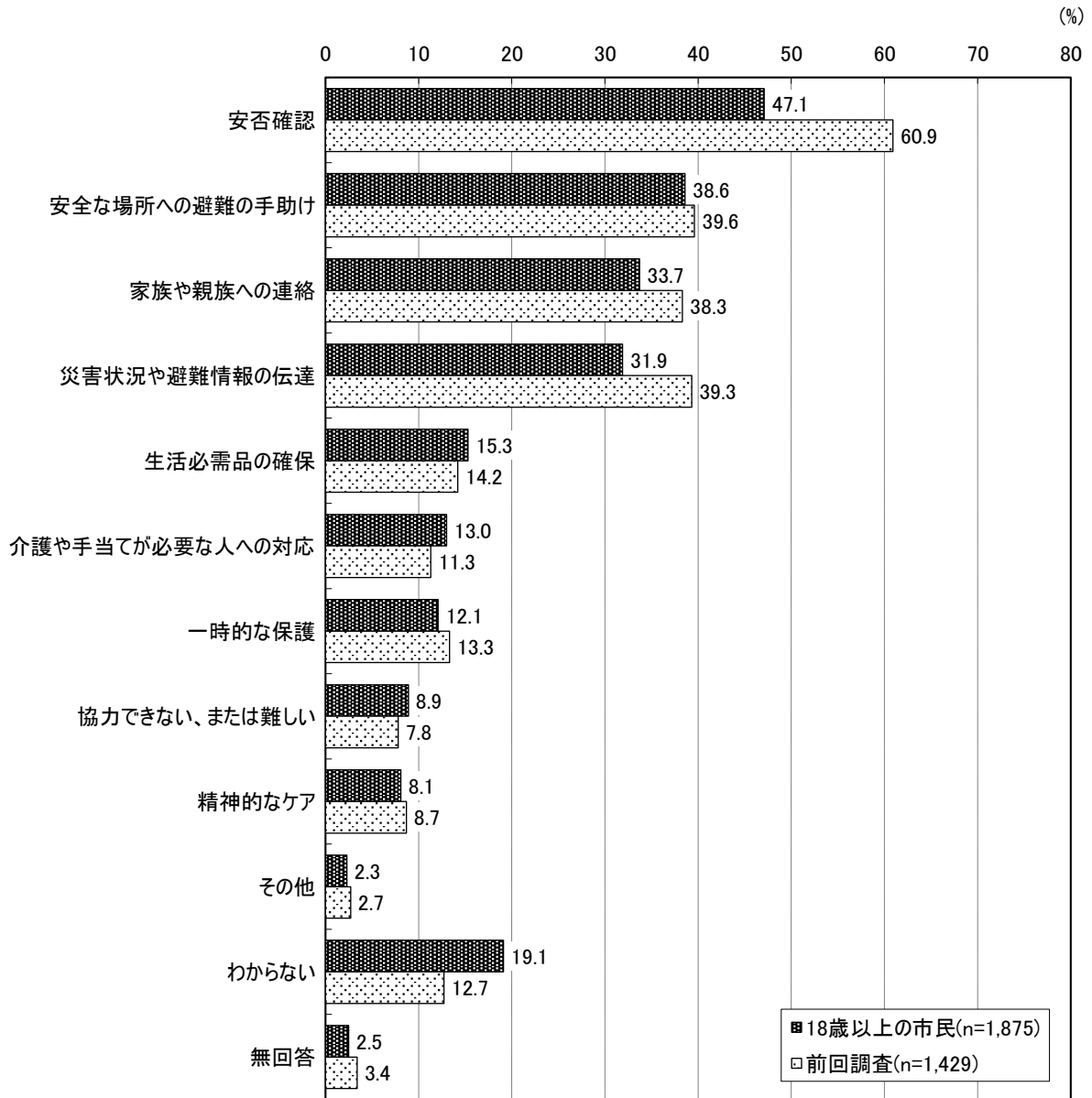


○「はい」が26.7%、「いいえ」が69.3%となっています。

○属性別にみると、年齢が高くなるほど「はい」と答える人が多くみられます。

Ⅱ 市民アンケートの結果

問11 大地震などの災害が起こった時に、あなたはご家族以外で、支援が必要な人のためにどのような助け合いや協力ができますか。(○はいくつでも)



○「安否確認」が47.1%と最も多くなっていますが、前回調査結果の60.9%から大きく割合が低下しています。

○これに次いで「安全な場所への避難の手助け」が38.6%、「家族や親族への連絡」が33.7%、「災害状況や避難情報の伝達」が31.9%と続いていますが、いずれも前回より割合が低下しています。

○属性別にみると、男性で「安全な場所への避難の手助け」、18～39歳で「安否確認」「災害状況や避難情報の伝達」「家族や親族への連絡」、東北エリアの人で「安否確認」と答える人がそれぞれ多くみられます。

※「その他」の主な内容：自身が高齢なのでできない、障害がある、家族の世話だけで大変、職場の避難所開設に行くため居住地での活動はできない、何かしらできるなら など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
安否確認	47.1	47.9	47.0	52.3	46.5	46.0
災害状況や避難情報の伝達	31.9	32.8	31.7	42.6	33.5	26.9
安全な場所への避難の手助け	38.6	44.9	35.3	39.4	43.0	34.6
家族や親族への連絡	33.7	32.2	34.8	39.4	31.9	33.5
一時的な保護	12.1	13.3	10.6	13.4	12.4	11.4
生活必需品の確保	15.3	15.1	14.2	14.8	11.8	18.4
介護や手当てが必要な人への対応	13.0	12.1	13.8	15.2	13.5	11.6
精神的なケア	8.1	7.3	8.6	9.7	6.3	9.1
協力できない、または難しい	8.9	8.0	9.8	8.7	4.8	12.8
その他	2.3	2.1	2.1	0.0	1.6	3.7
わからない	19.1	17.0	19.5	14.1	23.6	16.6
無回答	2.5	1.0	3.0	1.4	0.7	4.3

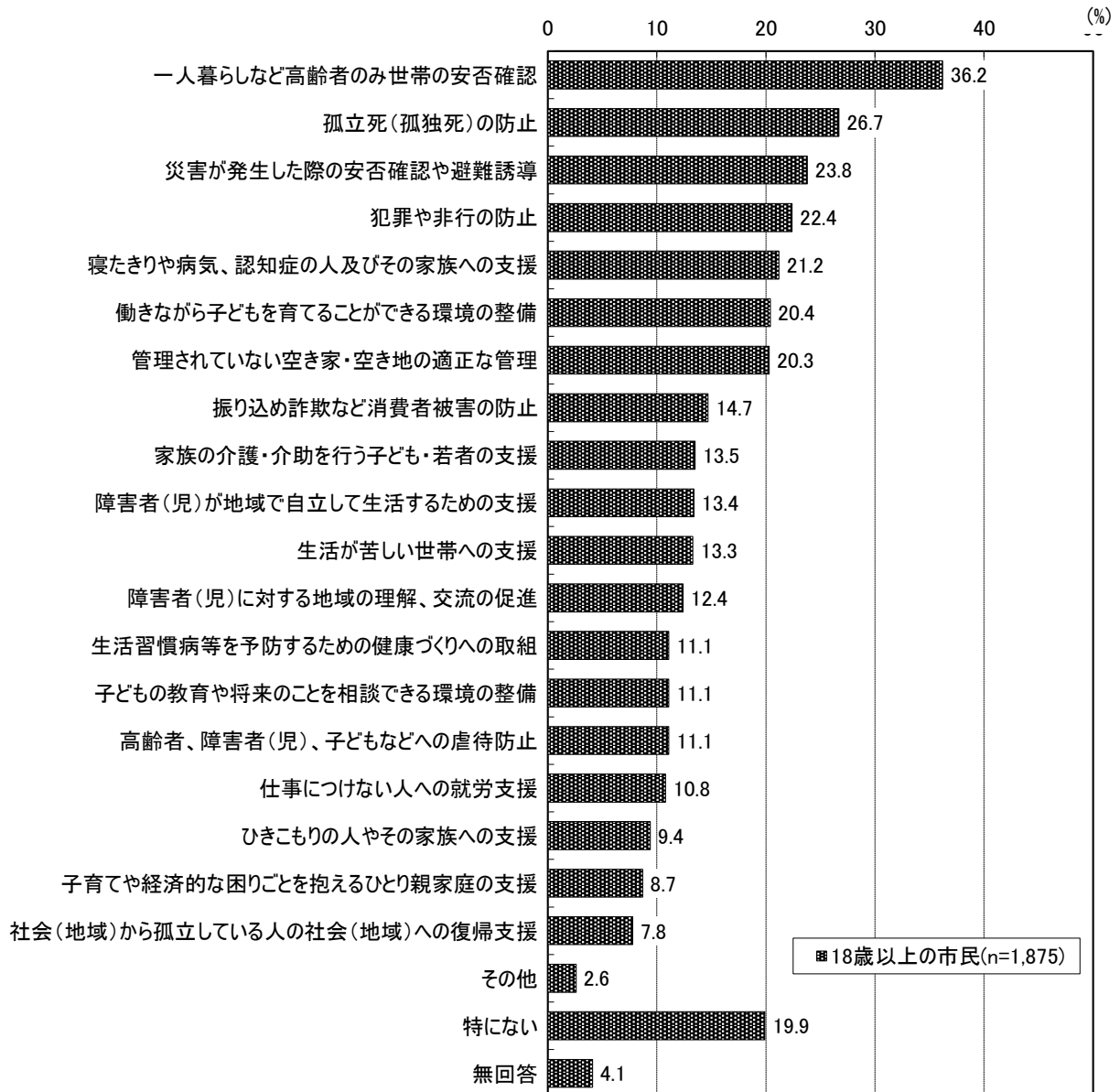
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
安否確認	47.1	48.0	44.3	52.4	40.8	48.9	45.3
災害状況や避難情報の伝達	31.9	33.2	29.5	35.6	26.0	34.8	29.4
安全な場所への避難の手助け	38.6	35.9	38.8	41.9	37.7	39.3	37.4
家族や親族への連絡	33.7	33.9	29.0	36.8	30.0	35.1	33.2
一時的な保護	12.1	12.1	14.8	11.2	11.2	12.8	10.6
生活必需品の確保	15.3	14.1	15.8	16.5	14.8	14.4	14.7
介護や手当てが必要な人への対応	13.0	12.4	15.3	12.9	14.8	9.2	15.8
精神的なケア	8.1	8.4	7.1	9.3	9.9	7.9	4.9
協力できない、または難しい	8.9	7.7	10.4	7.4	9.4	10.8	8.7
その他	2.3	2.3	4.9	1.2	3.6	3.0	1.1
わからない	19.1	18.8	19.7	18.4	20.6	16.1	20.0
無回答	2.5	3.7	2.2	1.9	1.8	1.6	3.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問12 お住まいの地域で日頃気になっていたり、課題と感じていることはありますか。
(〇はいくつでも)



○「特になし」と無回答を除いて、76.0%の人が何らかの課題を挙げており、内容別には「一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認」が36.2%と最も多く、次いで「孤立死(孤独死)の防止」が26.7%、「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」が23.8%、「犯罪や非行の防止」が22.4%、「寝たきりや病気、認知症の人及びその家族への支援」が21.2%、「働きながら子どもを育てることができる環境の整備」が20.4%、「管理されていない空き家・空き地の適正な管理」が20.3%の順となっています。

○属性別にみると、「働きながら子どもを育てることができる環境の整備」や「子どもの教育や将来のことを相談できる環境の整備」は18～39歳など子育て世代で、「一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認」は65歳以上で多くみられます。また、東エリアの人で「孤立死(孤独死)の防止」「働きながら子どもを育てることができる環境の整備」が多くみられます。

Ⅱ 市民アンケートの結果

※「その他」の主な内容：買い物が不便、坂が多い、歩道が狭く段差が多い、道路が暗い、バスの便が少ない、治安が悪い、騒音が多い、ポイ捨てなどのマナー、生活保護の不正受給 など

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認	36. 2	35. 7	35. 7	22. 0	35. 9	41. 5
寝たきりや病気、認知症の人及びその家族への支援	21. 2	20. 4	22. 2	18. 1	25. 0	18. 9
障害者（児）が地域で自立して生活するための支援	13. 4	13. 6	13. 4	14. 4	15. 8	10. 8
障害者（児）に対する地域の理解、交流の促進	12. 4	12. 1	13. 0	15. 5	13. 7	10. 4
生活習慣病等を予防するための健康づくりへの取組	11. 1	10. 6	11. 5	9. 7	9. 0	13. 6
働きながら子どもを育てることができる環境の整備	20. 4	18. 3	24. 0	41. 9	25. 4	9. 0
子どもの教育や将来のことを相談できる環境の整備	11. 1	10. 1	12. 7	27. 4	13. 3	3. 8
高齢者、障害者（児）、子どもなどへの虐待防止	11. 1	10. 4	11. 9	13. 0	13. 4	8. 6
孤立死（孤独死）の防止	26. 7	25. 1	27. 0	14. 8	25. 7	31. 4
ひきこもりの人やその家族への支援	9. 4	9. 3	9. 9	11. 6	10. 8	7. 3
家族の介護・介助を行う子ども・若者の支援	13. 5	11. 6	15. 6	18. 1	14. 7	11. 2
子育てや経済的な困りごとを抱えるひとり親家庭の支援	8. 7	8. 4	9. 4	12. 6	8. 7	7. 6
犯罪や非行の防止	22. 4	25. 7	21. 0	33. 2	24. 0	17. 2
災害が発生した際の安否確認や避難誘導	23. 8	21. 7	25. 1	21. 3	21. 4	27. 0
管理されていない空き家・空き地の適正な管理	20. 3	18. 0	22. 1	20. 6	21. 7	19. 0
振り込め詐欺など消費者被害の防止	14. 7	13. 7	14. 6	9. 7	11. 8	18. 8
仕事につけない人への就労支援	10. 8	11. 7	10. 4	10. 5	15. 0	7. 3
生活が苦しい世帯への支援	13. 3	15. 1	12. 3	13. 4	13. 8	12. 9
社会（地域）から孤立している人の社会（地域）への復帰支援	7. 8	6. 6	8. 8	8. 7	9. 2	6. 5
その他	2. 6	2. 7	2. 4	3. 6	2. 4	2. 2
特になし	19. 9	21. 3	19. 2	22. 4	19. 0	19. 8
無回答	4. 1	3. 3	4. 5	1. 4	2. 4	6. 5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

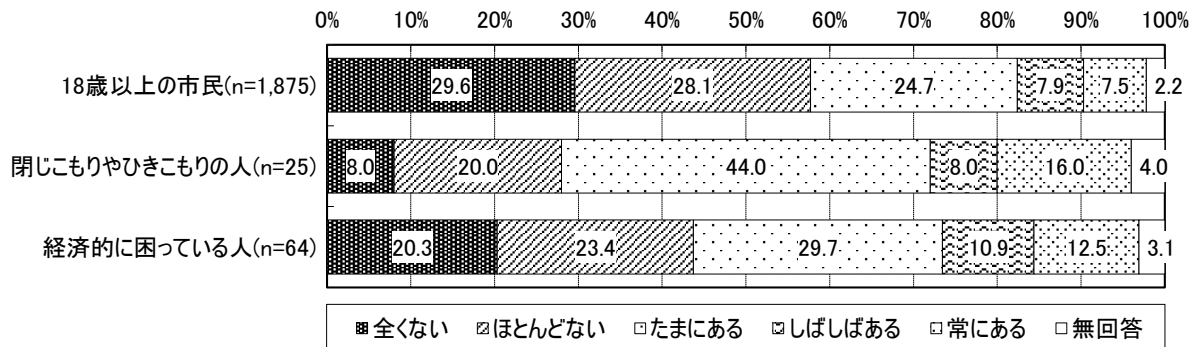
単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認	36.2	39.3	29.0	39.5	33.6	38.0	36.6
寝たきりや病気、認知症の人及びその家族への支援	21.2	22.5	18.6	20.8	19.7	21.6	23.4
障害者（児）が地域で自立して生活するための支援	13.4	16.1	14.8	12.7	11.2	14.4	11.7
障害者（児）に対する地域の理解、交流の促進	12.4	16.8	12.6	10.5	10.8	13.4	10.6
生活習慣病等を予防するための健康づくりへの取組	11.1	12.1	10.4	9.3	12.6	10.8	10.6
働きながら子どもを育てることができる環境の整備	20.4	21.5	18.6	21.8	19.7	26.6	16.6
子どもの教育や将来のことを相談できる環境の整備	11.1	14.4	11.5	11.5	10.3	9.8	11.3
高齢者、障害者（児）、子どもなどへの虐待防止	11.1	12.4	10.4	10.0	9.9	10.8	12.1
孤立死（孤独死）の防止	26.7	26.5	27.3	26.6	19.3	32.8	26.0
ひきこもりの人やその家族への支援	9.4	8.4	8.7	10.3	7.2	12.5	7.5
家族の介護・介助を行う子ども・若者の支援	13.5	16.8	11.5	13.9	13.5	13.1	12.5
子育てや経済的な困りごとを抱えるひとり親家庭の支援	8.7	10.4	6.6	9.8	8.1	9.8	6.0
犯罪や非行の防止	22.4	20.5	23.0	20.1	23.3	21.6	23.8
災害が発生した際の安否確認や避難誘導	23.8	24.5	25.7	21.1	26.9	23.9	28.7
管理されていない空き家・空き地の適正な管理	20.3	18.1	16.9	18.4	20.6	24.9	22.6
振り込め詐欺など消費者被害の防止	14.7	17.1	13.7	14.6	13.5	13.1	16.2
仕事につけない人への就労支援	10.8	12.8	13.1	10.3	7.6	9.8	9.8
生活が苦しい世帯への支援	13.3	14.4	14.2	12.0	11.2	9.2	17.7
社会（地域）から孤立している人の社会（地域）への復帰支援	7.8	8.4	10.4	7.2	7.2	7.9	7.5
その他	2.6	2.0	2.2	1.9	3.1	3.0	2.3
特になし	19.9	15.1	23.0	20.1	24.2	16.1	21.1
無回答	4.1	3.7	4.9	5.3	4.0	3.9	1.9

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問13 孤独や孤立について、あなたにあてはまるものはありますか。

(①～③のそれぞれの項目ごとに○は1つ)

①自分には人とのつきあいが無いと感ずることがある



○「常にある」が7.5%、「しばしばある」が7.9%、「たまにある」が24.7%と合わせて40.1%の人がそういう状況があると答えています。

○属性別にみると、閉じこもり・ひきこもりの人や、経済的に困っている人と一緒に暮らしている人で、自分には人とのつきあいが無いと感ずることがあると答える人が多くみられます。

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
全くない	29.6	24.7	33.7	36.8	27.3	29.3
ほとんどない	28.1	29.1	27.3	23.1	27.7	30.5
たまにある	24.7	26.1	23.9	22.7	25.3	24.3
しばしばある	7.9	8.8	7.0	10.1	9.5	5.9
無回答	7.5	9.3	5.7	6.5	8.6	6.9

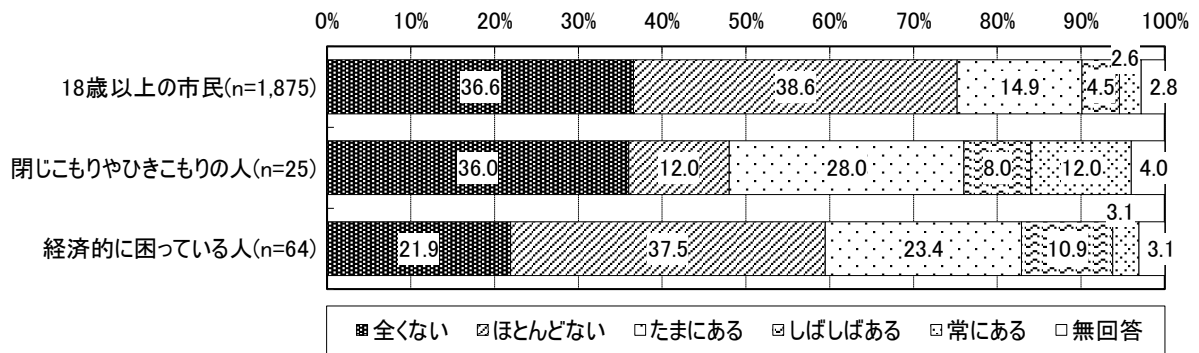
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
全くない	29.6	26.8	31.1	31.8	28.3	31.1	29.4
ほとんどない	28.1	28.2	26.8	31.6	26.5	29.2	26.4
たまにある	24.7	27.2	25.7	21.8	28.7	23.9	25.3
しばしばある	7.9	8.1	8.2	6.2	6.3	7.9	8.3
無回答	7.5	8.1	6.0	5.7	8.1	6.2	8.3

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

②自分は取り残されていると感じることがある



○「常にある」が2.6%、「しばしばある」が4.5%、「たまにある」が14.9%と合わせて22.0%の人がそういう状況があると答えています。

○属性別にみると、閉じこもり・ひきこもりの人や、経済的に困っている人と一緒に暮らしている人で、自分は取り残されていると感じることがあると答える人が多くみられます。

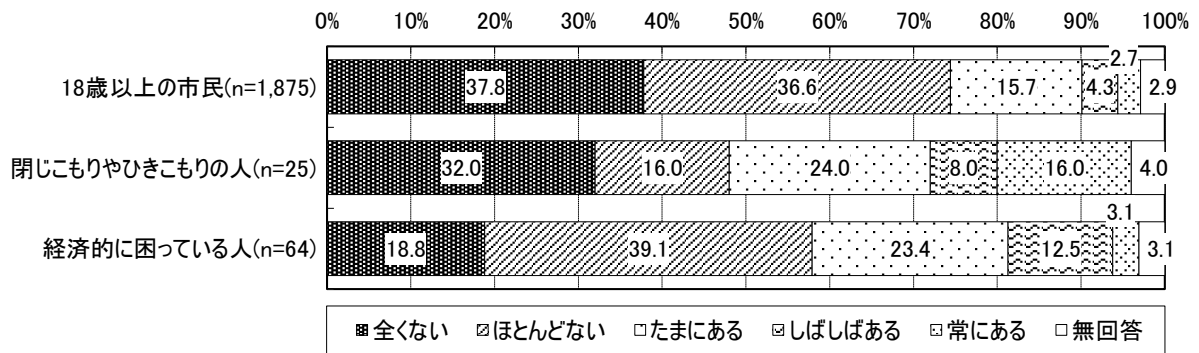
単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
全くない	36.6	34.2	39.2	44.8	32.9	37.2
ほとんどない	38.6	41.4	36.9	28.9	40.2	40.6
たまにある	14.9	14.0	15.0	16.2	17.5	11.8
しばしばある	4.5	5.3	4.1	5.8	5.0	3.8
無回答	2.6	2.6	2.1	3.6	2.9	2.0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
全くない	36.6	31.5	37.7	40.2	35.0	35.1	38.5
ほとんどない	38.6	39.6	38.8	40.2	38.1	39.7	37.7
たまにある	14.9	17.4	12.6	11.2	17.5	16.4	15.1
しばしばある	4.5	5.4	4.4	3.6	3.6	4.6	3.8
無回答	2.6	3.4	3.3	1.7	2.7	2.3	2.6

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

③自分は他の人たちから孤立していると感じることがある



○「常にある」が2.7%、「しばしばある」が4.3%、「たまにある」が15.7%と合わせて22.7%の人がそういう状況があると答えています。

○属性別にみると、閉じこもり・ひきこもりの人や、経済的に困っている人と一緒に暮らしている人で、自分は他の人たちから孤立していると感じることがあると答える人が多くみられます。

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
全くない	37.8	35.1	40.3	44.0	34.0	39.1
ほとんどない	36.6	38.5	35.8	30.7	38.2	37.5
たまにある	15.7	15.3	15.5	17.0	17.4	13.4
しばしばある	4.3	5.4	3.4	4.3	5.6	3.2
無回答	2.7	2.9	2.3	3.2	3.2	2.2

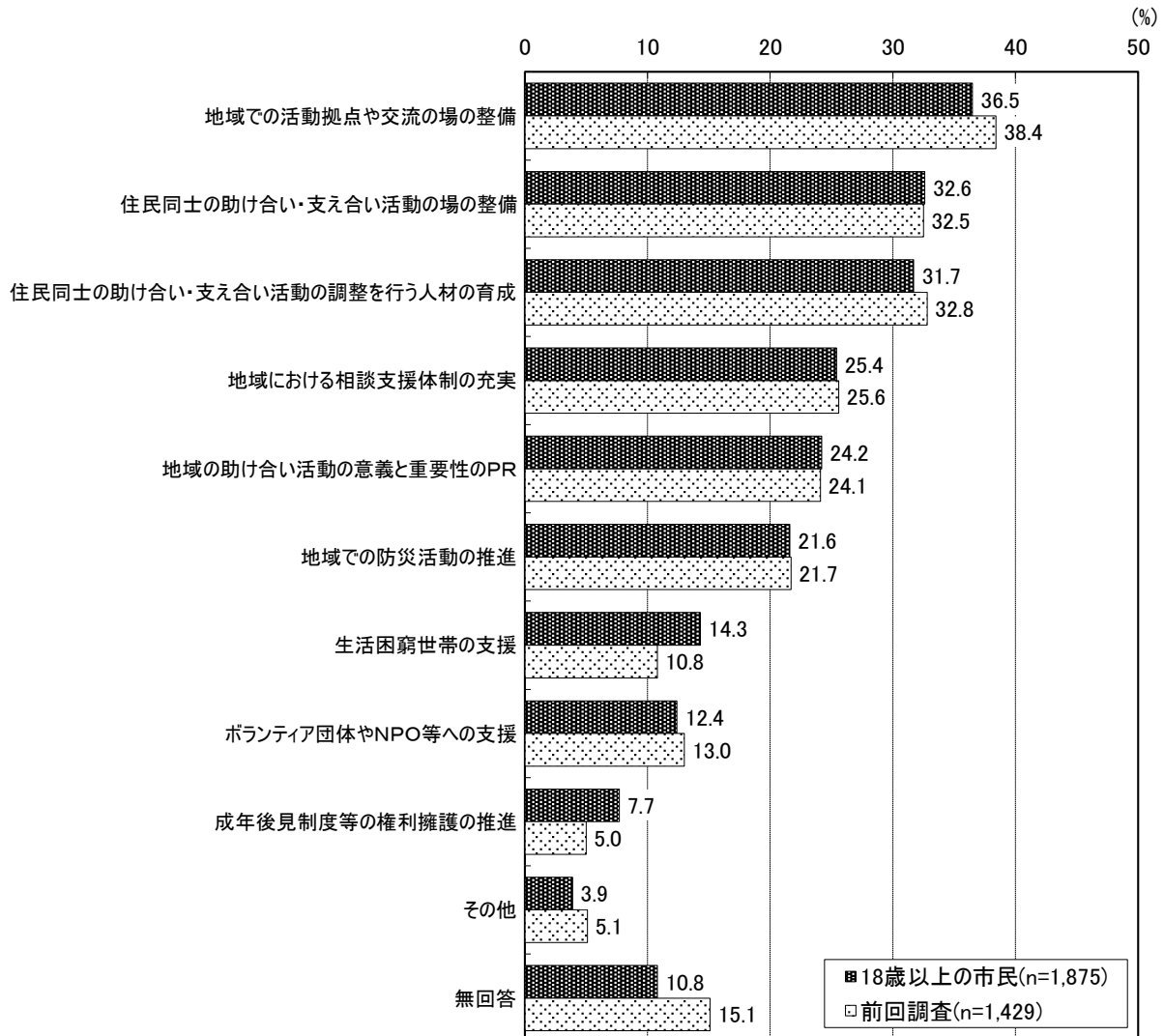
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
全くない	37.8	31.2	37.2	42.1	37.7	38.0	38.5
ほとんどない	36.6	37.6	36.6	35.6	37.2	39.3	36.6
たまにある	15.7	19.5	17.5	13.2	15.2	15.1	15.8
しばしばある	4.3	5.7	3.3	3.8	4.5	3.3	3.0
無回答	2.7	3.0	2.7	1.7	2.7	2.0	3.8

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問14 身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)



○「地域での活動拠点や交流の場の整備」が36.5%と最も多く、次いで「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」が32.6%、「住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成」が31.7%、「地域における相談支援体制の充実」が25.4%、「地域の助け合い活動の意義と重要性のPR」が24.2%、「地域での防災活動の推進」が21.6%の順となっています。

○属性別にみると、男性で「地域での活動拠点や交流の場の整備」、西北エリアの人で「地域における相談支援体制の充実」と答える人が多くみられます。

※「その他」の主な内容：日頃のコミュニケーション、自治会のない地域への整備、高齢化が進んでいるので従来の自治会活動をそのまま続けるのは難しい、特になし、わからない など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
地域での活動拠点や交流の場の整備	36. 5	42. 1	32. 8	35. 7	36. 1	37. 0
地域の助け合い活動の意義と重要性のPR	24. 2	24. 7	23. 4	18. 4	23. 4	26. 9
住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備	32. 6	32. 2	32. 8	32. 1	29. 9	35. 5
住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	31. 7	29. 8	33. 1	24. 9	30. 0	35. 8
地域における相談支援体制の充実	25. 4	24. 1	25. 9	21. 3	26. 4	26. 0
ボランティア団体やNPO等への支援	12. 4	12. 4	11. 9	12. 6	11. 4	13. 0
地域での防災活動の推進	21. 6	20. 0	22. 5	24. 9	20. 9	20. 9
成年後見制度等の権利擁護の推進	7. 7	7. 1	8. 0	6. 1	8. 4	7. 3
生活困窮世帯の支援	14. 3	16. 4	12. 5	12. 3	13. 8	15. 3
その他	3. 9	4. 1	3. 2	4. 3	3. 6	3. 9
無回答	10. 8	9. 7	11. 6	10. 1	9. 1	12. 2

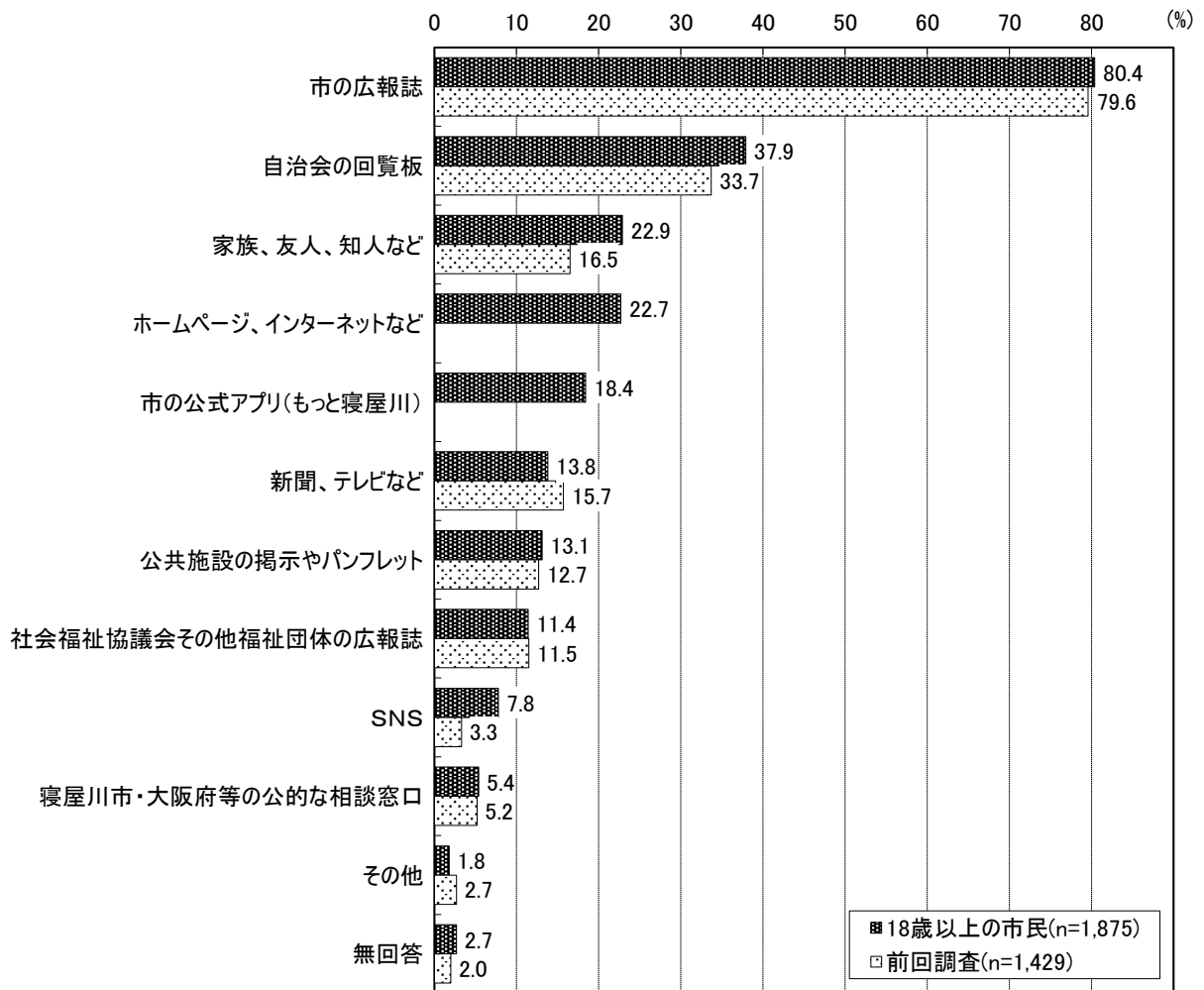
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
地域での活動拠点や交流の場の整備	36. 5	36. 9	33. 3	41. 1	35. 9	40. 3	32. 1
地域の助け合い活動の意義と重要性のPR	24. 2	19. 8	27. 3	27. 3	26. 0	23. 3	25. 7
住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備	32. 6	36. 2	27. 3	33. 0	33. 6	35. 1	29. 8
住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	31. 7	34. 2	26. 2	32. 1	34. 1	33. 4	33. 6
地域における相談支援体制の充実	25. 4	30. 9	19. 7	26. 3	24. 7	23. 6	26. 0
ボランティア団体やNPO等への支援	12. 4	12. 1	8. 7	11. 5	13. 9	13. 1	11. 3
地域での防災活動の推進	21. 6	20. 1	22. 4	21. 3	22. 9	23. 0	23. 0
成年後見制度等の権利擁護の推進	7. 7	5. 7	5. 5	8. 4	8. 1	7. 9	8. 3
生活困窮世帯の支援	14. 3	17. 1	9. 3	11. 2	14. 8	11. 1	15. 1
その他	3. 9	4. 4	3. 8	3. 3	5. 4	2. 0	4. 5
無回答	10. 8	7. 0	15. 3	10. 0	12. 1	9. 2	10. 9

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

生活課題や福祉制度・サービスについて

問15 市の福祉に関する情報を得る手段はどれですか。(〇はいくつでも)



※前回調査：インターネット16.9%、携帯アプリ6.4%

○「市の広報誌」が80.4%と最も多く、次いで「自治会の回覧板」が37.9%、「家族、友人、知人など」が22.9%、「ホームページ、インターネットなど」が22.7%、「市の公式アプリ（もっと寝屋川）」が18.4%の順となっています。

○年齢別にみると、「自治会の回覧板」は65歳以上で50.8%と多く、「ホームページ、インターネットなど」は18～39歳で36.5%、「SNS」も18～39歳で27.1%と多くみられます。

※「その他」の主な内容：職場、民生委員、ケアマネジャー、病院、ない、わからないなど

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
市の広報誌	80.4	78.7	81.9	64.3	81.7	84.8
社会福祉協議会その他 福祉団体の広報誌	11.4	11.1	10.9	2.5	6.6	18.5
公共施設の掲示やパン フレット	13.1	12.3	13.4	16.6	8.3	16.4
自治会の回覧板	37.9	37.4	37.4	20.9	29.7	50.8
新聞、テレビなど	13.8	13.1	13.0	9.0	7.5	21.0
ホームページ、インタ ーネットなど	22.7	27.4	21.3	36.5	30.7	11.1
市の公式アプリ（もっ と寝屋川）	18.4	17.7	19.3	19.5	21.3	15.8
SNS	7.8	8.1	8.5	27.1	7.9	1.6
家族、友人、知人など	22.9	17.5	26.4	30.7	18.3	24.5
寝屋川市・大阪府等の 公的な相談窓口	5.4	6.0	4.9	2.9	5.2	6.5
その他	1.8	1.7	1.6	3.2	1.1	1.8
無回答	2.7	2.9	2.4	2.2	1.3	3.8

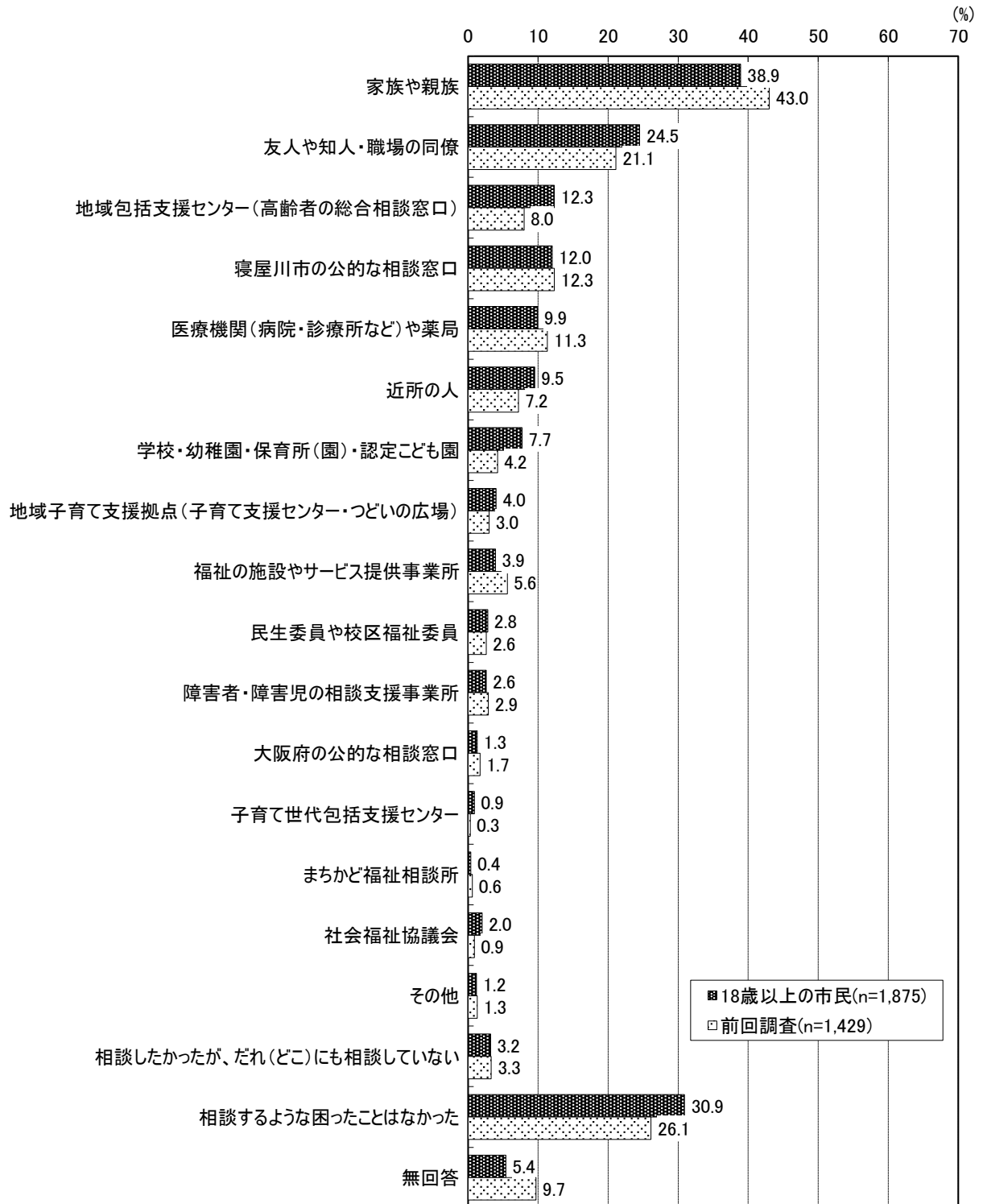
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
市の広報誌	80.4	83.9	82.5	79.9	77.1	85.6	77.7
社会福祉協議会その他 福祉団体の広報誌	11.4	11.1	9.8	14.1	10.3	11.5	13.6
公共施設の掲示やパン フレット	13.1	14.1	10.9	12.9	12.6	15.1	12.8
自治会の回覧板	37.9	30.9	41.5	44.5	43.5	36.1	41.9
新聞、テレビなど	13.8	15.4	16.9	12.2	13.0	12.1	12.8
ホームページ、インタ ーネットなど	22.7	26.2	18.6	20.8	16.6	20.7	24.5
市の公式アプリ（もっ と寝屋川）	18.4	20.5	16.4	21.1	15.7	21.0	18.5
SNS	7.8	8.4	5.5	7.9	7.6	7.2	8.3
家族、友人、知人など	22.9	22.8	21.9	21.8	26.9	24.9	23.4
寝屋川市・大阪府等の 公的な相談窓口	5.4	6.0	7.7	4.1	4.5	4.3	6.4
その他	1.8	1.0	1.1	1.2	2.2	1.6	3.4
無回答	2.7	1.0	3.3	4.5	2.2	1.3	1.9

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

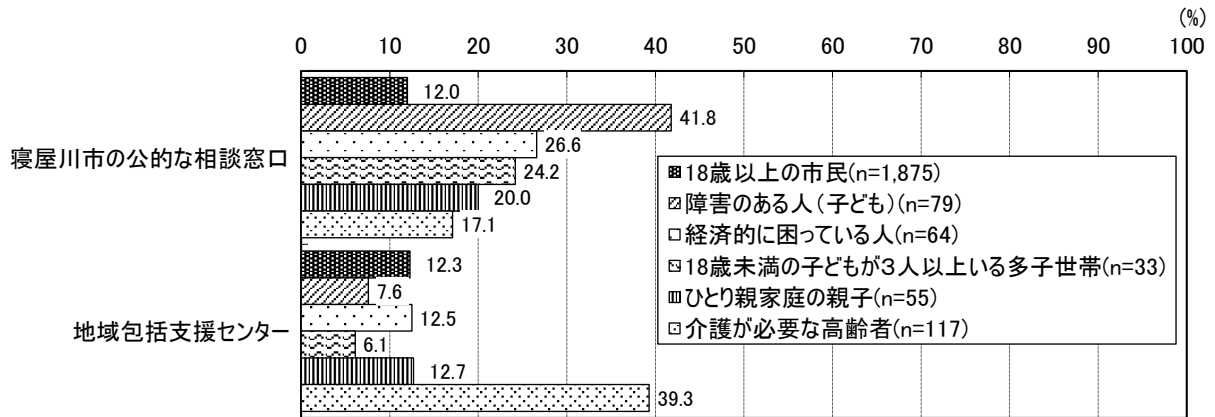
Ⅱ 市民アンケートの結果

問16 これまで福祉、介護、子育てなどで困ったときに相談したことがある人（ところ）がありますか。（○はいくつでも）

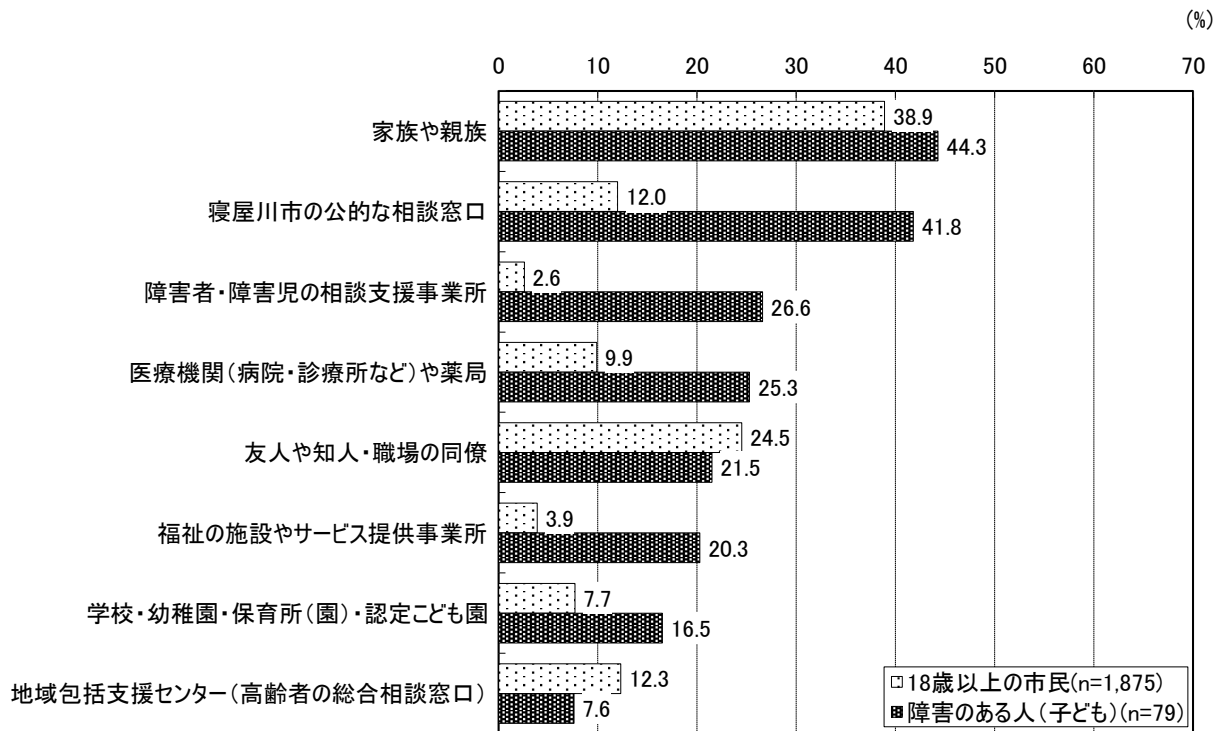


○「家族や親族」が38.9%と最も多く、次いで「相談するような困ったことはなかった」が30.9%、「友人や知人・職場の同僚」が24.5%、「地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）」が12.3%、「寝屋川市の公的な相談窓口」が12.0%、「医療機関（病院・診療所など）や薬局」が9.9%、「近所の人」が9.5%の順となっています。

- 年齢別にみると、18～39歳、40～64歳で「家族や親族」「友人や知人・職場の同僚」と答える人が多くみられます。
- 「寝屋川市の公的な相談窓口」については、障害のある人（子ども）と一緒に暮らしている人で41.8%、経済的に困っている人で26.6%、18歳未満の子どもが3人以上いる多子世帯が24.2%と、相談ニーズが高くなっています。
- 「地域包括支援センター」については、介護が必要な高齢者と一緒に暮らしている人で39.3%と多くみられます。



- 障害のある人（子ども）と暮らしている人は、「寝屋川市の公的な相談窓口」「障害者・障害児の相談支援事業所」「医療機関」「福祉施設やサービス提供事業所」など、公的な機関や団体・事業者とのつながりが強い様子がうかがえます。



Ⅱ 市民アンケートの結果

※「その他」の主な内容：ケアマネジャー、家庭センター、自分で解決、相談したがどうすることもできないといわれた など

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
家族や親族	38.9	32.2	43.9	51.3	47.5	27.5
近所の人	9.5	7.4	10.6	8.3	12.2	7.4
友人や知人・職場の同僚	24.5	16.3	30.5	35.7	33.5	12.9
民生委員や校区福祉委員	2.8	2.6	2.7	1.1	2.5	3.6
寝屋川市の公的な相談窓口	12.0	12.3	11.2	11.2	14.5	10.2
大阪府の公的な相談窓口	1.3	1.3	1.2	1.4	1.6	1.1
地域包括支援センター	12.3	9.4	13.9	1.1	9.2	19.0
地域子育て支援拠点	4.0	2.7	5.5	10.5	5.9	0.2
子育て世代包括支援センター	0.9	0.9	1.0	1.8	1.2	0.2
障害者・障害児の相談支援事業所	2.6	3.3	2.0	1.4	3.9	1.7
福祉の施設やサービス提供事業所	3.9	3.1	4.0	1.4	4.1	4.7
医療機関（病院・診療所など）や薬局	9.9	7.7	11.7	7.2	10.2	10.5
学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園	7.7	5.3	10.3	17.0	11.4	1.4
まちかど福祉相談所	0.4	0.6	0.3	0.0	0.0	0.8
社会福祉協議会	2.0	1.9	1.9	0.7	1.7	2.6
その他	1.2	0.9	1.3	0.7	1.2	1.3
相談しなかったが、だれ（どこ）にも相談していない	3.2	4.4	2.0	1.1	3.7	3.3
相談するような困ったことはなかった	30.9	38.7	27.2	37.9	27.0	32.3
無回答	5.4	5.1	4.9	0.7	1.5	10.3

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

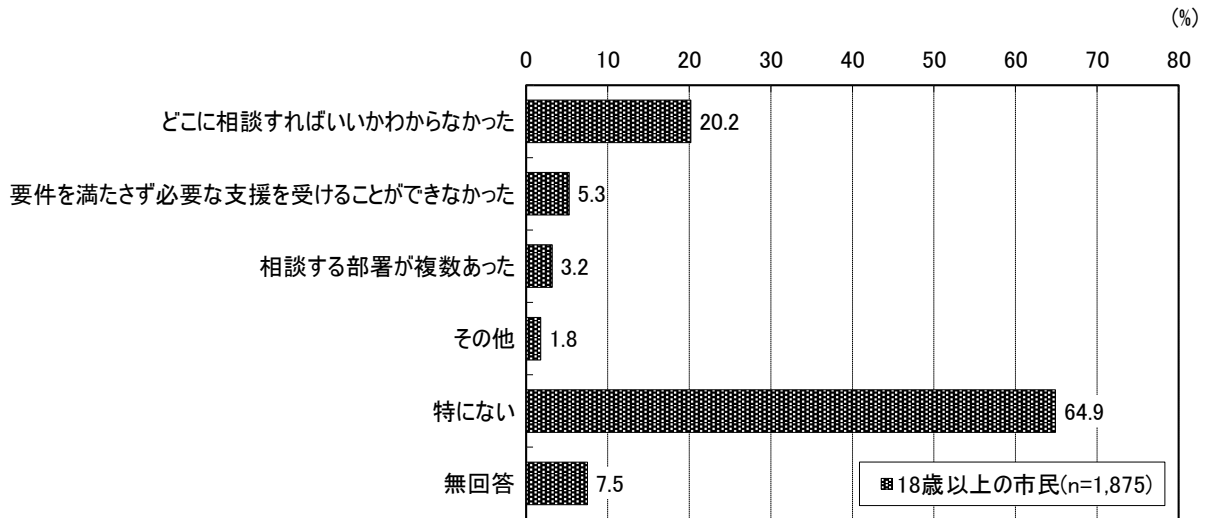
Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
家族や親族	38.9	40.9	38.8	37.6	41.3	43.6	40.8
近所の人	9.5	8.7	10.9	9.3	10.8	11.8	10.6
友人や知人・職場の同僚	24.5	25.2	26.2	24.2	24.2	26.9	26.4
民生委員や校区福祉委員	2.8	4.0	3.8	1.2	3.6	0.7	4.2
寝屋川市の公的な相談窓口	12.0	11.1	15.3	12.4	10.8	10.5	14.0
大阪府の公的な相談窓口	1.3	2.0	1.1	1.9	1.3	1.0	0.0
地域包括支援センター	12.3	14.8	10.4	13.6	12.6	15.4	10.2
地域子育て支援拠点	4.0	4.4	6.6	3.3	2.7	5.2	4.5
子育て世代包括支援センター	0.9	1.3	1.1	1.2	0.9	0.3	0.4
障害者・障害児の相談支援事業所	2.6	3.4	1.6	1.7	3.1	2.6	3.0
福祉の施設やサービス提供事業所	3.9	5.7	5.5	3.3	3.6	4.6	2.3
医療機関（病院・診療所など）や薬局	9.9	13.1	10.4	8.4	7.6	12.5	8.7
学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園	7.7	9.4	9.3	8.9	6.3	9.5	6.0
まちかど福祉相談所	0.4	1.0	0.5	0.0	0.0	0.3	0.8
社会福祉協議会	2.0	1.7	1.1	1.4	3.6	1.6	3.0
その他	1.2	1.7	0.5	0.7	1.8	1.6	0.8
相談しなかったが、だれ（どこ）にも相談していない	3.2	3.4	3.8	1.9	2.2	2.0	4.2
相談するような困ったことはなかった	30.9	29.2	34.4	32.5	31.8	27.2	26.0
無回答	5.4	3.4	4.4	6.0	6.3	4.6	5.3

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

II 市民アンケートの結果

問17 あなたやご家族が抱える悩みについて、市に相談するときに困ったことがありますか。
(○はい/いくつかでも)

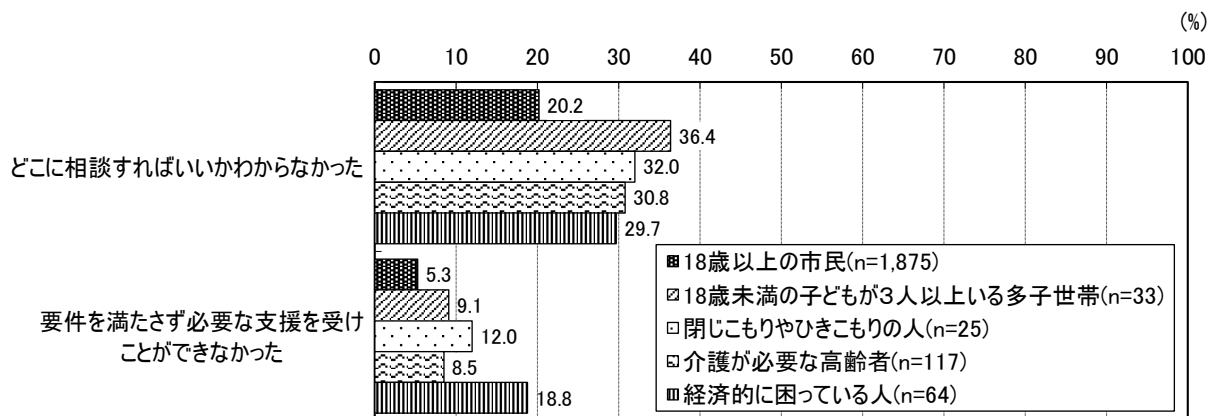


○「特にない」という人が64.9%を占めており、困った経験のある内容としては「どこに相談すればいいかわからなかった」が20.2%となっています。

○属性別にみると、「どこに相談すればいいかわからなかった」は、18歳未満の子どもが3人以上いる多子世帯、閉じこもりやひきこもりの人、介護が必要な高齢者、経済的に困っている人と一緒に暮らしている人で多くみられます。

○「要件を満たさず必要な支援を受けることができなかった」は、経済的に困っている人と一緒に暮らしている人で18.8%と高い割合となっています。

※「その他」の主な内容：相談したことがない、平日・日中は相談できない、市に相談する内容でなかった、相談しても無駄、まだそういう事態には至っていない など



Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
どこに相談すればいい かわからなかった	20. 2	21. 7	19. 5	19. 1	24. 2	17. 2
要件を満たさず必要な 支援を受けることがで きなかった	5. 3	3. 6	5. 7	4. 0	7. 6	3. 7
相談する部署が複数あ った	3. 2	3. 6	2. 7	5. 4	3. 6	2. 2
その他	1. 8	1. 7	1. 9	2. 2	1. 7	1. 6
特にな	64. 9	66. 8	65. 2	70. 4	63. 1	65. 0
無回答	7. 5	5. 0	8. 1	1. 4	3. 9	12. 4

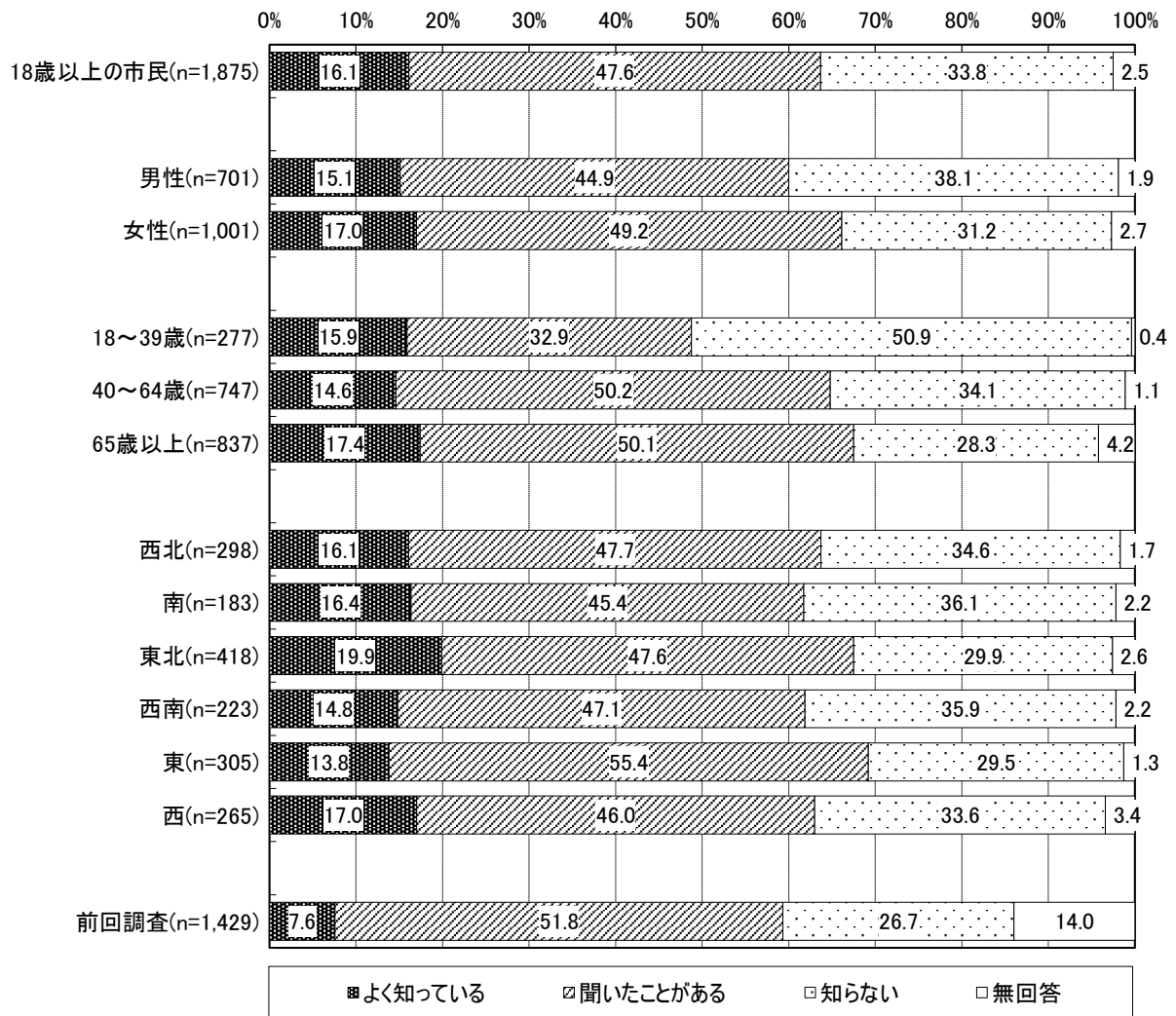
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
どこに相談すればいい かわからなかった	20. 2	25. 2	23. 0	16. 0	17. 9	18. 4	23. 0
要件を満たさず必要な 支援を受けることがで きなかった	5. 3	6. 0	3. 8	4. 5	4. 9	5. 9	5. 7
相談する部署が複数あ った	3. 2	3. 0	2. 2	2. 4	4. 5	3. 0	2. 6
その他	1. 8	2. 3	1. 1	1. 9	0. 4	3. 6	1. 1
特にな	64. 9	61. 1	67. 2	67. 7	65. 0	65. 2	64. 2
無回答	7. 5	6. 7	4. 9	9. 1	10. 3	5. 9	6. 0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

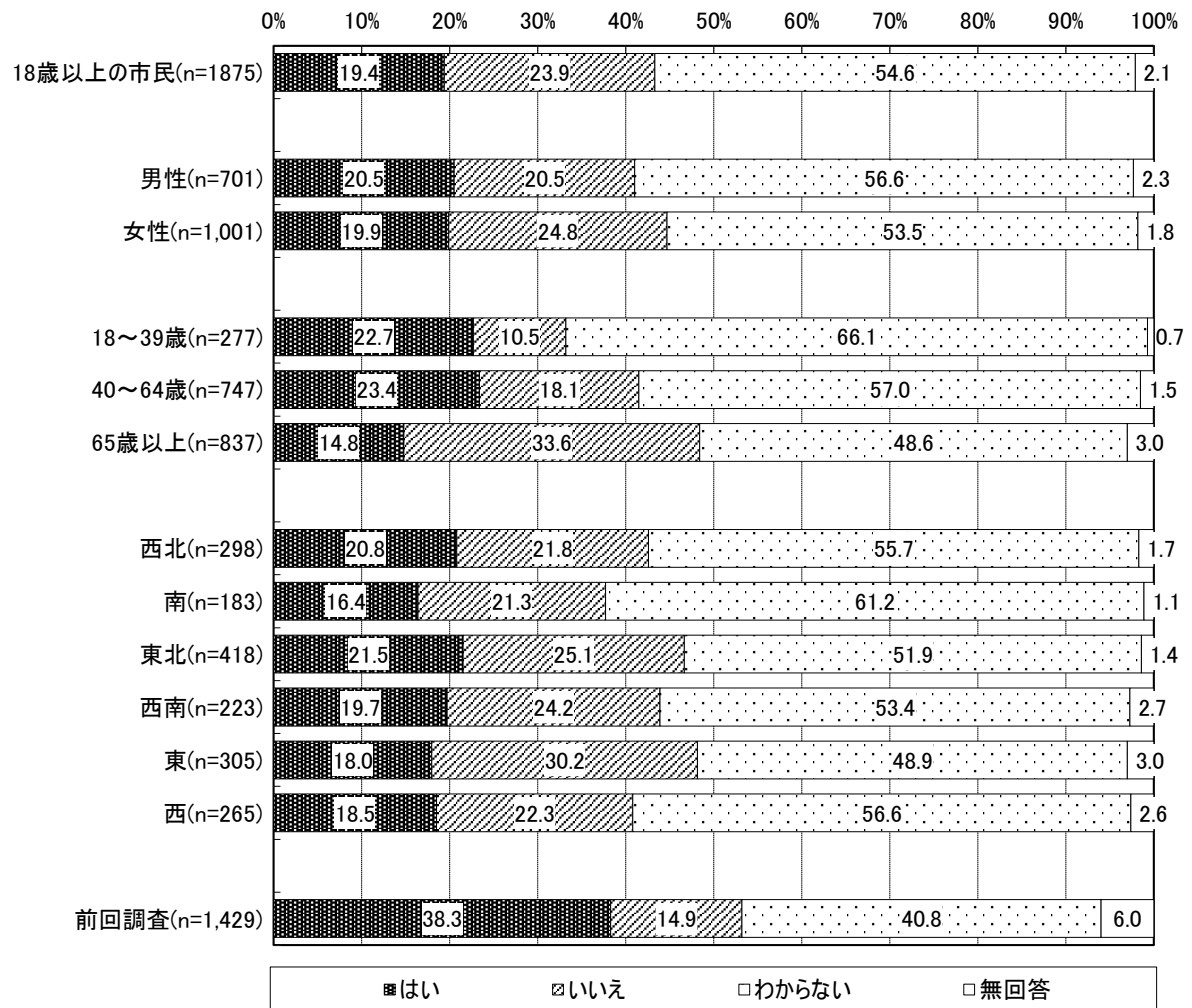
問18 「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)



※前回調査は「よく知っている」「少し知っている」「よく知らないが聞いたことがある」「全く知らない」の4選択肢で、このうち「少し知っている」と「よく知らないが聞いたことがある」を『聞いたことがある』として取り扱った。

○「聞いたことがある」が47.6%、「よく知っている」が16.1%と、合わせて63.7%の人が成年後見制度について名前は聞いたことがあると答えています。前回調査の結果と比べると、「よく知っている」と答える人が増えています。

問19 あなたご自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○は1つ)

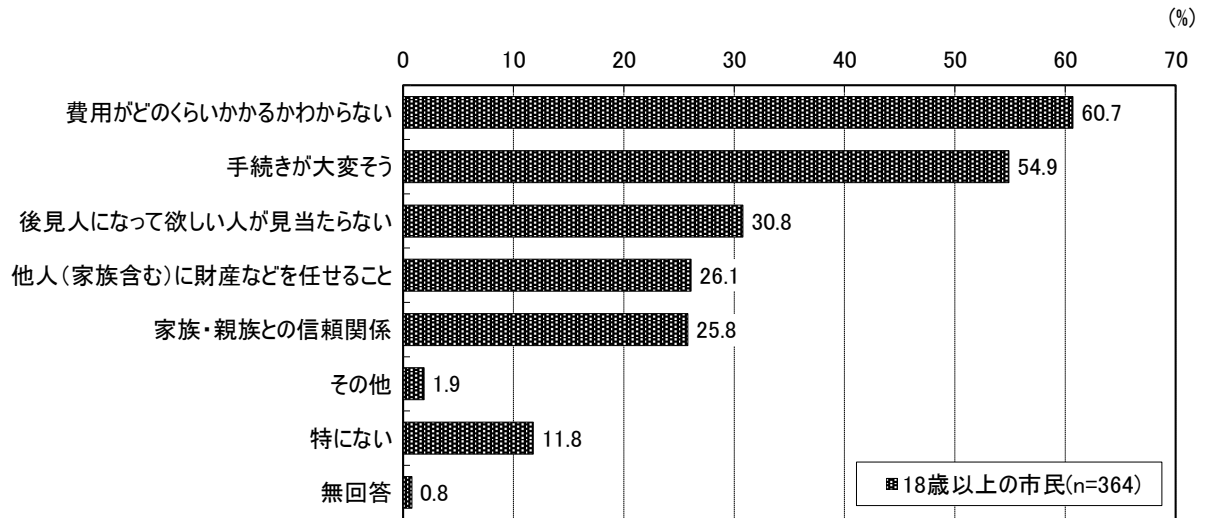


○「はい」と答えた人が19.4%と、前回調査の結果よりほぼ半分に減っており、「いいえ」と答えた人が23.9%と前回調査より増えています。

○年齢別にみると、年齢が高くなるほど「いいえ」と答える人が多くみられます。

Ⅱ 市民アンケートの結果

問19-1 問19で「1 はい」と答えた方におたずねします。「成年後見制度」を利用するにあたり、不安があれば教えてください。(○はいくつでも)



○「費用がどのくらいかかるかわからない」が60.7%と最も多く、次いで「手続きが大変そう」が54.9%、「後見人になって欲しい人が見当たらない」が30.8%の順となっています。

○年齢別にみると、「手続きが大変そう」「後見人になって欲しい人が見当たらない」と答える人は年齢が若くなるほど多くみられます。

※「その他」の主な内容：すべての手続きは終わっている、後見人として家族を登録している、毎月かかる費用を死ぬまでずっと支払わないといけない など

単位：%	全体 (n=364)	男性 (n=144)	女性 (n=199)	18～39歳 (n=63)	40～64歳 (n=175)	65歳以上 (n=124)
費用がどのくらいかかるかわからない	60.7	54.9	64.8	54.0	63.4	60.5
手続きが大変そう	54.9	47.9	59.8	63.5	58.9	45.2
後見人になって欲しい人が見当たらない	30.8	31.9	29.1	36.5	33.1	24.2
他人(家族含む)に財産などを任せること	26.1	22.2	28.1	23.8	33.1	16.9
家族・親族との信頼関係	25.8	25.7	26.1	30.2	24.0	25.8
その他	1.9	1.4	2.5	3.2	1.1	2.4
特にない	11.8	15.3	10.1	9.5	12.0	12.1
無回答	0.8	0.7	1.0	0.0	0.6	1.6

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

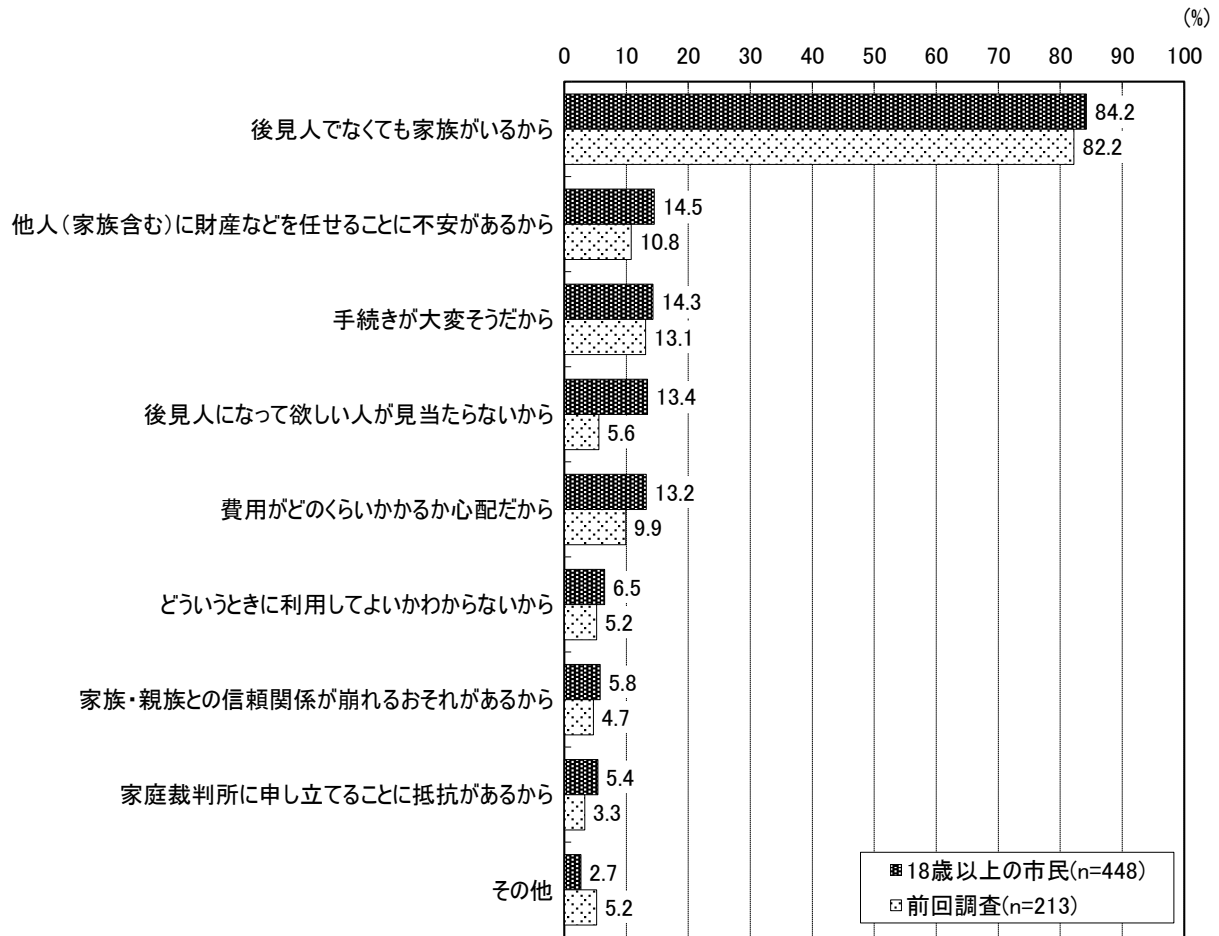
Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=364)	西北 (n=62)	南 (n=30)	東北 (n=90)	西南 (n=44)	東 (n=55)	西 (n=49)
費用がどのくらいかかるかわからない	60.7	53.2	66.7	65.6	54.5	65.5	55.1
手続きが大変そう	54.9	53.2	50.0	56.7	59.1	56.4	53.1
後見人になって欲しい人を見当たらない	30.8	33.9	26.7	42.2	29.5	18.2	20.4
他人（家族含む）に財産などを任せること	26.1	25.8	23.3	28.9	22.7	25.5	24.5
家族・親族との信頼関係	25.8	32.3	20.0	26.7	20.5	27.3	22.4
その他	1.9	3.2	0.0	1.1	2.3	1.8	2.0
特にない	11.8	9.7	16.7	10.0	15.9	9.1	16.3
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問19-2 問19で「2 いいえ」と答えた方におたずねします。「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



○「後見人でなくても家族がいるから」が84.2%（ひとり暮らしの人でも80.6%）を占めており、これに次いで「他人（家族含む）に財産などを任せることに不安があるから」が14.5%、「手続きが大変そうだから」が14.3%などとなっています。

○年齢別にみると、18～39歳で「他人（家族含む）に財産などを任せることに不安があるから」「手続きが大変そうだから」「費用がどのくらいかかるか心配だから」「後見人になって欲しい人が見当たらないから」「家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがあるから」と答える人が多くみられます。

※「その他」の主な内容：後見人という立場には限界がありすべて任せられない、財産等がなく必要ない、信頼できない、いったん制度をやめたいと思ってもやめることができないから など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=448)	男性 (n=144)	女性 (n=248)	18～39歳 (n=29)	40～64歳 (n=135)	65歳以上 (n=281)
後見人でなくても家族がいるから	84.2	77.8	88.3	72.4	81.5	87.2
費用がどのくらいかかるか心配だから	13.2	10.4	14.1	20.7	14.8	11.7
家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから	5.4	5.6	5.2	3.4	9.6	3.6
手続きが大変そうだから	14.3	15.3	14.1	31.0	17.0	11.0
後見人になって欲しい人が見当たらないから	13.4	16.7	11.7	20.7	17.8	10.3
他人（家族含む）に財産などを任せることに不安があるから	14.5	15.3	12.9	48.3	21.5	7.5
家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがあるから	5.8	6.9	5.6	13.8	7.4	4.3
どういうときに利用してよいかわからないから	6.5	7.6	5.6	3.4	8.9	5.3
その他	2.7	4.2	2.0	6.9	2.2	2.5
無回答	1.6	1.4	1.6	0.0	0.0	2.5

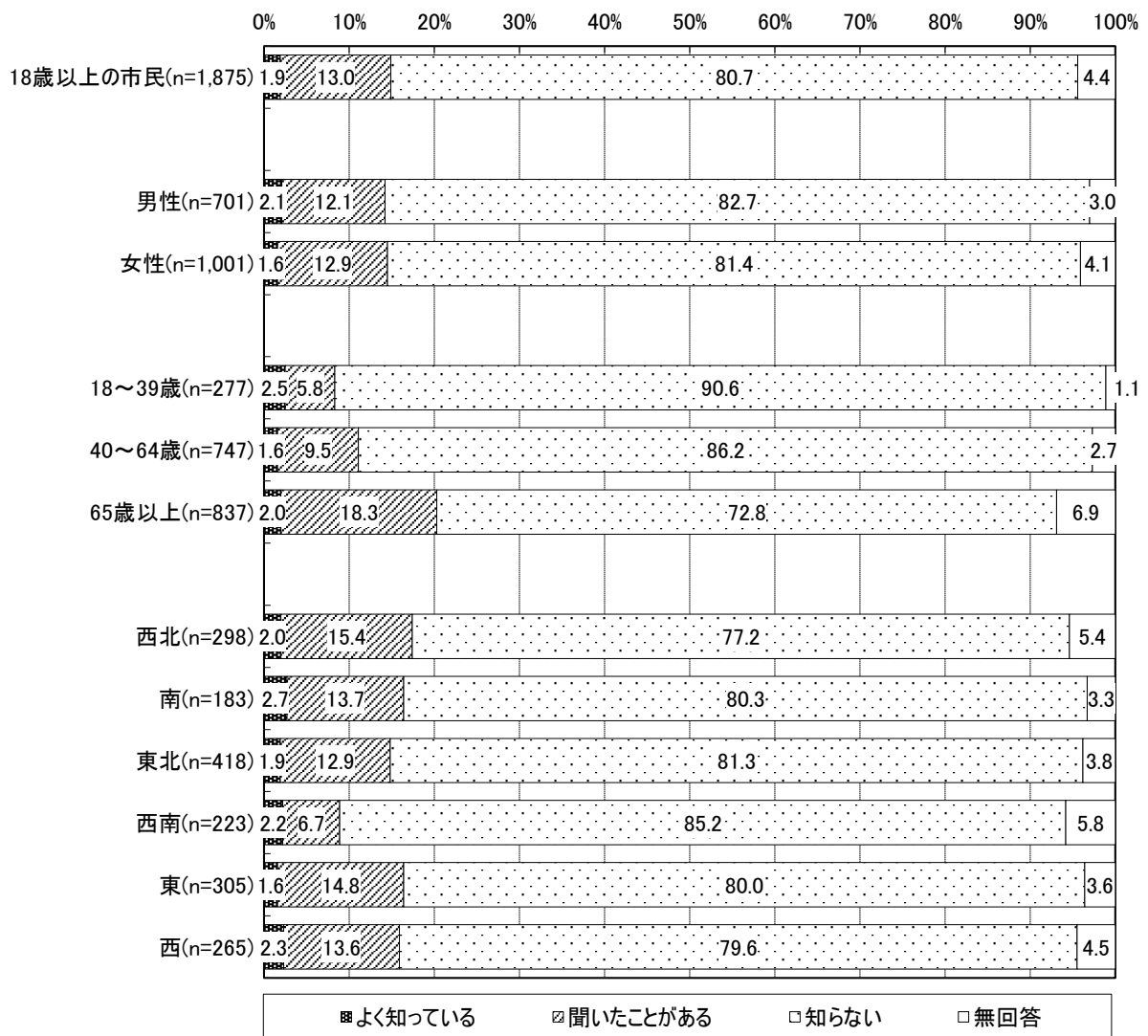
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=448)	西北 (n=65)	南 (n=39)	東北 (n=105)	西南 (n=54)	東 (n=92)	西 (n=59)
後見人でなくても家族がいるから	84.2	84.6	89.7	88.6	87.0	84.8	86.4
費用がどのくらいかかるか心配だから	13.2	18.5	12.8	10.5	11.1	15.2	8.5
家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから	5.4	7.7	2.6	1.9	3.7	7.6	6.8
手続きが大変そうだから	14.3	15.4	15.4	10.5	9.3	21.7	8.5
後見人になって欲しい人が見当たらないから	13.4	13.8	12.8	17.1	7.4	16.3	5.1
他人（家族含む）に財産などを任せることに不安があるから	14.5	12.3	7.7	16.2	7.4	16.3	15.3
家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがあるから	5.8	6.2	0.0	3.8	3.7	8.7	8.5
どういうときに利用してよいかわからないから	6.5	9.2	2.6	4.8	3.7	9.8	5.1
その他	2.7	3.1	7.7	1.0	0.0	2.2	3.4
無回答	1.6	0.0	0.0	2.9	1.9	2.2	1.7

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問20 あなたは、「市民後見人」について知っていますか。(○は1つ)

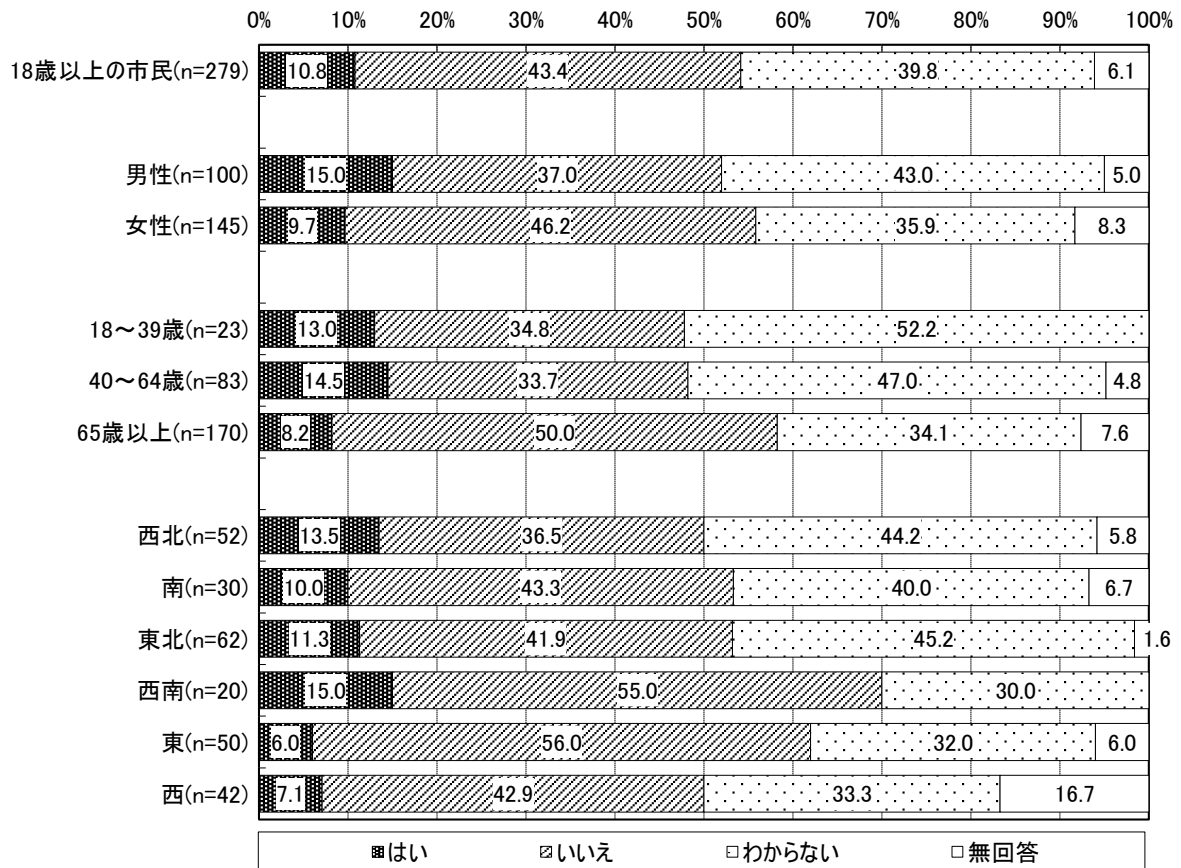


○「聞いたことがある」が13.0%、「よく知っている」が1.9%となっています。

○年齢別にみると、65歳以上で「聞いたことがある」が18.3%とやや多くみられます。

問20で「1 よく知っている」「2 聞いたことがある」と答えた方におたずねします。

問20-1 あなたご自身が認知症などで判断が十分にできなくなったときに、「市民後見人」を利用したいと思いますか。(○は1つ)

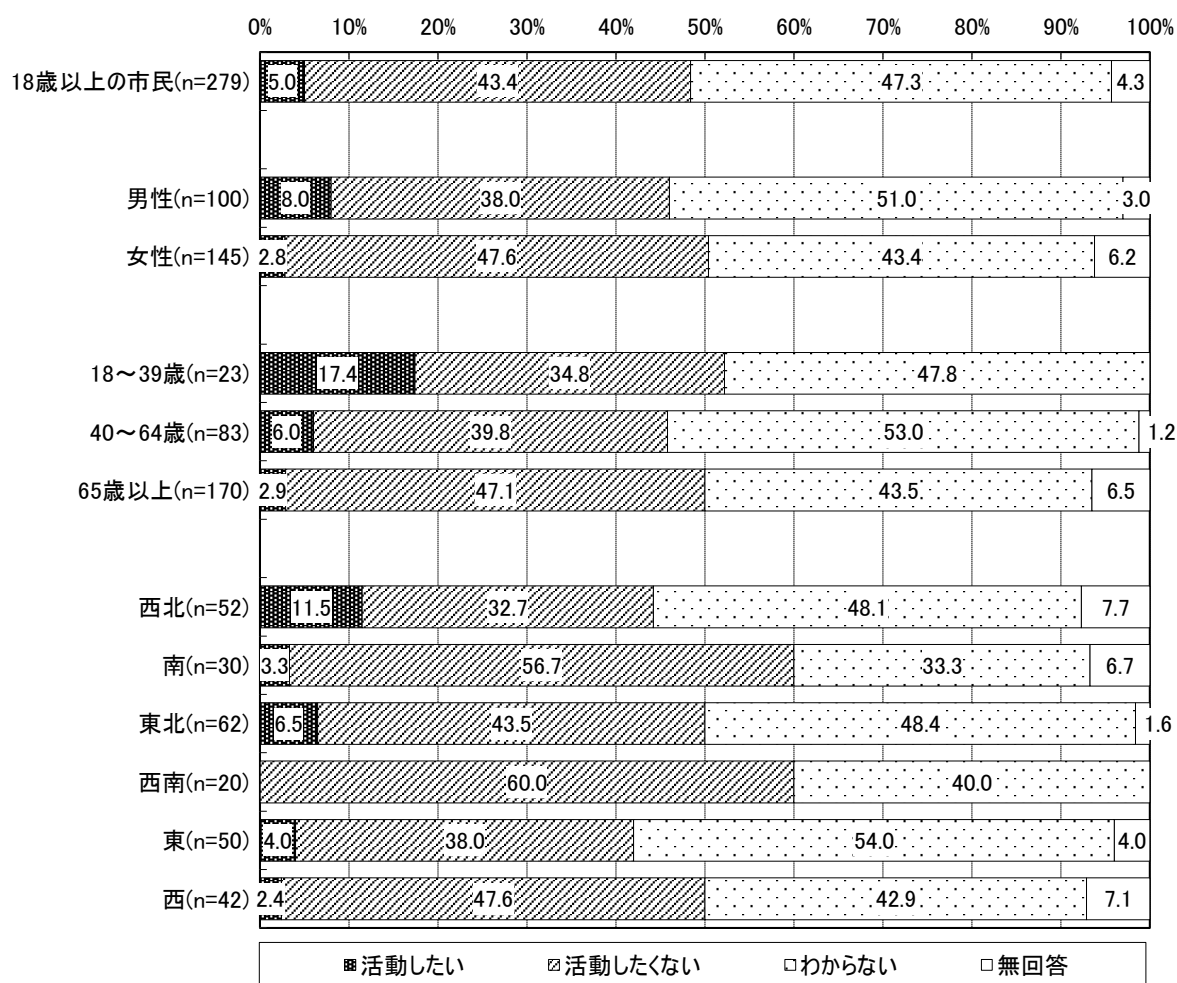


○「はい」と答えた人が10.8%、「いいえ」と答えた人が43.4%となっています。

○年齢別にみると、65歳以上で「いいえ」が50.0%となっています。

Ⅱ 市民アンケートの結果

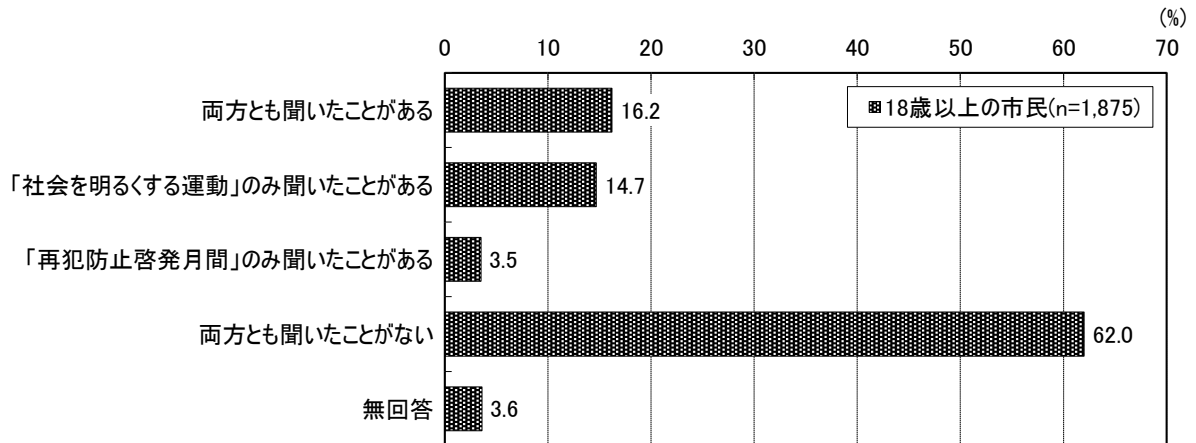
問20-2 「市民後見人」として活動したいと思いますか。(○は1つ)



○「活動したい」と答えた人が5.0%、「活動したくない」と答えた人が43.4%となっています。

○年齢別にみると、18～39歳で「活動したい」という人が17.4%と多くみられます。

問21 再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。(○は1つ)



○「両方とも聞いたことがない」という人が62.0%を占めており、「社会を明るくする運動」について聞いたことがある人は30.9%、「再犯防止啓発月間」については19.7%となっています。

○年齢別にみると、年齢が若くなるほど「両方とも聞いたことがない」という人が多くみられます。

単位：%	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
両方とも聞いたことがある	16.2	14.3	16.4	10.8	15.0	19.2
「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある	14.7	13.4	15.4	6.9	12.0	19.6
「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある	3.5	3.4	3.6	5.1	3.2	3.2
両方とも聞いたことがない	62.0	65.9	61.2	77.3	68.5	51.4
無回答	3.6	3.0	3.4	0.0	1.2	6.6

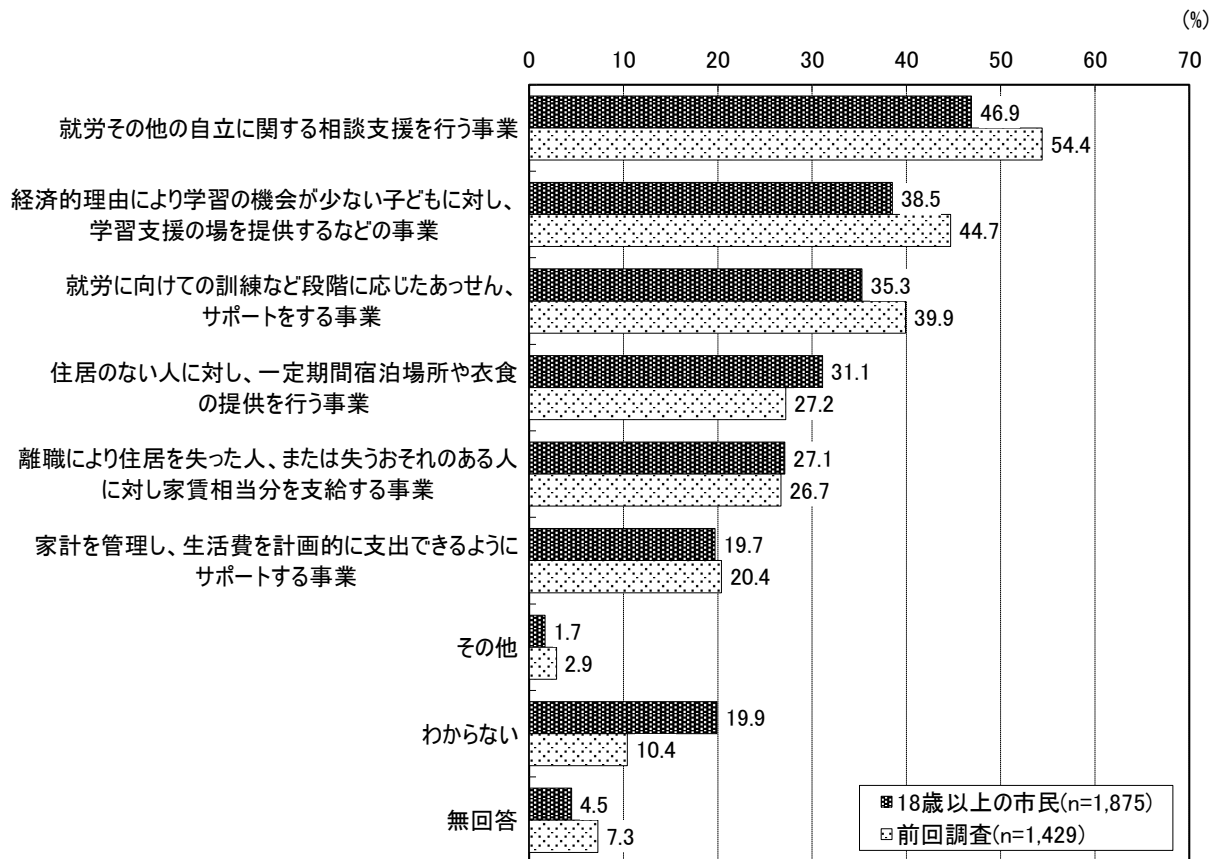
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
両方とも聞いたことがある	16.2	16.4	18.6	17.2	14.3	19.0	14.3
「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある	14.7	16.4	19.1	16.3	12.1	15.4	14.7
「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある	3.5	3.0	2.2	3.8	4.9	3.9	2.6
両方とも聞いたことがない	62.0	60.7	57.9	59.3	64.1	59.3	63.8
無回答	3.6	3.4	2.2	3.3	4.5	2.3	4.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問22 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが困難になったとして、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。(〇はいくつでも)



○「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」が46.9%と最も多く、次いで「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」が38.5%、「就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業」が35.3%、「住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を行う事業」が31.1%、「離職により住居を失った人、または失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業」が27.1%、「家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業」が19.7%の順となっています。

○年齢別にみると、「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」は40～64歳、「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」は18～39歳でそれぞれ多くみられます。

※「その他」の主な内容：公営住宅の高齢者の支援、子ども食堂とそれを提供する場所、困窮の原因を調べる確かな支援を行う、年金生活者への支援、食料など金銭以外の支援など

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
就労その他の自立に関する相談支援を行う事業	46. 9	49. 8	47. 4	53. 8	58. 0	35. 1
離職により住居を失った人、または失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業	27. 1	30. 0	26. 6	34. 7	35. 7	17. 2
就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業	35. 3	34. 2	37. 2	43. 3	41. 2	27. 6
住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を行う事業	31. 1	29. 4	33. 5	31. 4	36. 0	26. 8
家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業	19. 7	20. 5	20. 4	26. 0	24. 2	13. 9
経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業	38. 5	33. 1	44. 3	53. 4	42. 2	30. 3
その他	1. 7	2. 0	1. 4	1. 4	1. 7	1. 6
わからない	19. 9	18. 8	19. 4	12. 3	11. 9	29. 6
無回答	4. 5	3. 7	4. 2	0. 4	1. 5	8. 2

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

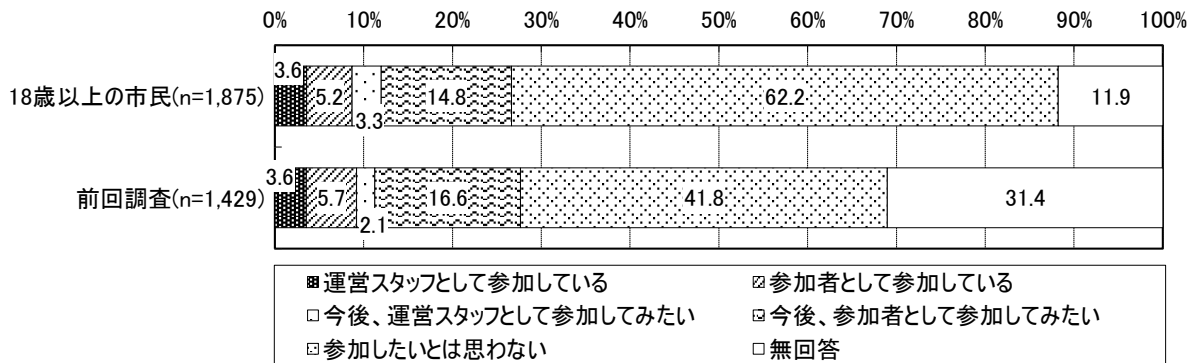
単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
就労その他の自立に関する相談支援を行う事業	46. 9	53. 0	49. 2	44. 5	45. 7	52. 5	41. 9
離職により住居を失った人、または失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業	27. 1	26. 5	30. 6	26. 6	24. 2	28. 5	23. 0
就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業	35. 3	36. 9	34. 4	36. 1	30. 5	42. 6	30. 9
住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を行う事業	31. 1	33. 2	26. 2	34. 7	24. 7	33. 1	25. 7
家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業	19. 7	18. 1	25. 7	19. 4	17. 0	23. 0	15. 5
経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業	38. 5	40. 6	35. 0	40. 4	37. 2	44. 9	32. 5
その他	1. 7	1. 3	2. 2	1. 9	2. 2	1. 3	1. 1
わからない	19. 9	15. 4	19. 1	19. 9	26. 0	15. 1	25. 3
無回答	4. 5	4. 4	3. 8	4. 5	4. 9	3. 3	5. 7

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

福祉との関わりや福祉活動について

問23 福祉に関する次のような活動に参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。
(①～④のそれぞれの項目について○はいいくつでも)

①自治会、地域協働協議会、校区福祉委員会（サロン）などの身近な地域での福祉活動



○「参加したいとは思わない」が62.2%、「今後、参加者として参加してみたい」が14.8%、「参加者として参加している」が5.2%、「運営スタッフとして参加している」が3.6%、「今後、運営スタッフとして参加してみたい」が3.3%となっています。

○年齢別にみると、年齢が若くなるほど「参加したいとは思わない」と答える人が多くみられます。

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
運営スタッフとして参加している	3.6	4.4	3.3	0.7	3.7	4.5
参加者として参加している	5.2	3.6	5.9	2.5	2.7	8.2
今後、運営スタッフとして参加してみたい	3.3	3.4	3.3	4.3	4.3	2.0
今後、参加者として参加してみたい	14.8	15.0	14.7	16.2	14.5	14.6
参加したいとは思わない	62.2	66.6	61.2	76.2	68.5	52.1
無回答	11.9	8.1	12.4	1.1	7.4	19.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

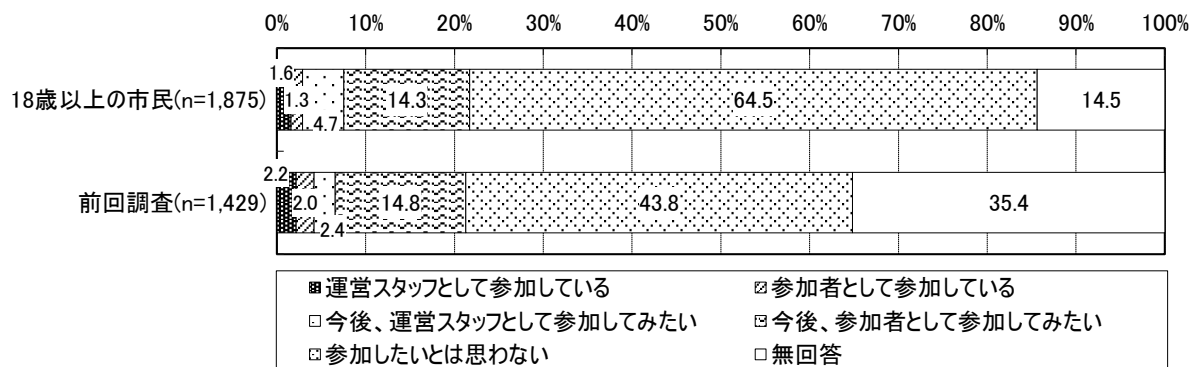
Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
運営スタッフとして参加している	3.4	4.9	3.1	4.9	2.6	6.4	3.4
参加者として参加している	4.7	9.8	5.7	4.0	3.3	6.8	4.7
今後、運営スタッフとして参加してみたい	4.0	1.6	5.3	3.1	3.3	1.1	4.0
今後、参加者として参加してみたい	15.8	12.0	16.3	11.2	17.0	16.6	15.8
参加したいとは思わない	61.7	60.7	59.3	64.1	64.3	58.1	61.7
無回答	11.7	10.9	12.2	12.6	10.8	11.7	11.7

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

②ボランティア、NPOなどの団体での福祉活動



○「参加したいとは思わない」が64.5%、「今後、参加者として参加してみたい」が14.3%、「今後、運営スタッフとして参加してみたい」が4.7%、「運営スタッフとして参加している」が1.6%「参加者として参加している」が1.3%となっています。

○年齢別にみると、年齢が若くなるほど「参加したいとは思わない」と答える人が多くみられますが、「今後、参加者として参加してみたい」と答える人も多くみられます。

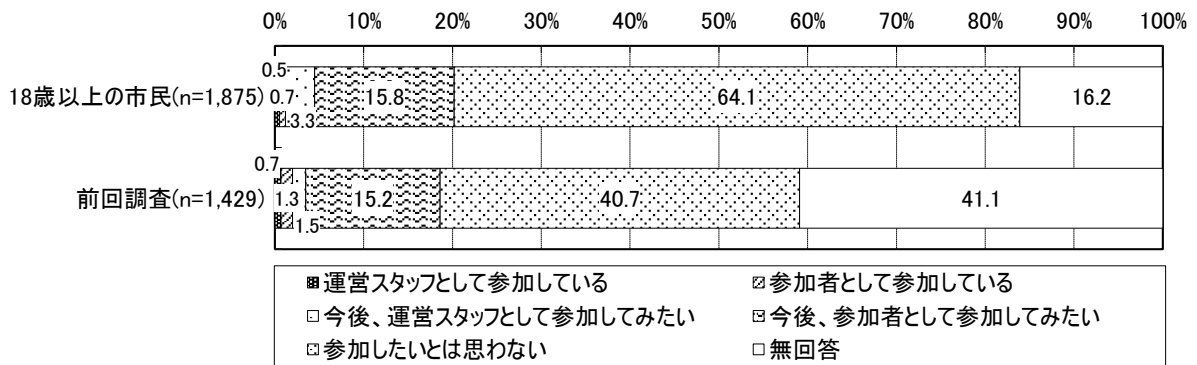
単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
運営スタッフとして参加している	1.6	1.1	2.1	0.4	1.5	2.2
参加者として参加している	1.3	1.0	1.4	0.7	1.2	1.6
今後、運営スタッフとして参加してみたい	4.7	5.1	4.5	6.9	6.4	2.6
今後、参加者として参加してみたい	14.3	15.5	13.5	19.9	15.8	10.9
参加したいとは思わない	64.5	67.6	64.5	71.5	68.4	59.0
無回答	14.5	10.8	14.7	1.8	8.3	24.0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
運営スタッフとして参加している	1.6	1.3	0.5	1.0	1.3	2.3	4.2
参加者として参加している	1.3	1.0	2.7	1.9	1.8	1.0	0.4
今後、運営スタッフとして参加してみたい	4.7	8.4	2.2	4.5	2.7	5.9	2.6
今後、参加者として参加してみたい	14.3	15.8	12.6	16.7	7.2	16.1	12.8
参加したいとは思わない	64.5	59.4	67.2	62.2	70.4	64.9	66.0
無回答	14.5	14.8	15.3	15.1	16.6	11.8	14.7

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

③同じ福祉ニーズや課題をもつ人どうしの当事者活動



○「参加したいとは思わない」が64.1%、「今後、参加者として参加してみたい」が15.8%、「今後、運営スタッフとして参加してみたい」が3.3%「参加者として参加している」が0.7%、「運営スタッフとして参加している」が0.5%となっています。

○年齢別にみると、年齢が若くなるほど「参加したいとは思わない」と答える人が多くみられます。

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
運営スタッフとして参加している	0.5	0.4	0.7	0.0	0.5	0.7
参加者として参加している	0.7	0.3	1.1	0.7	0.4	1.0
今後、運営スタッフとして参加してみたい	3.3	3.9	3.0	5.8	3.9	2.0
今後、参加者として参加してみたい	15.8	17.3	14.6	15.9	17.3	14.2
参加したいとは思わない	64.1	66.2	64.9	76.2	69.9	55.2
無回答	16.2	12.7	16.3	2.5	9.1	27.0

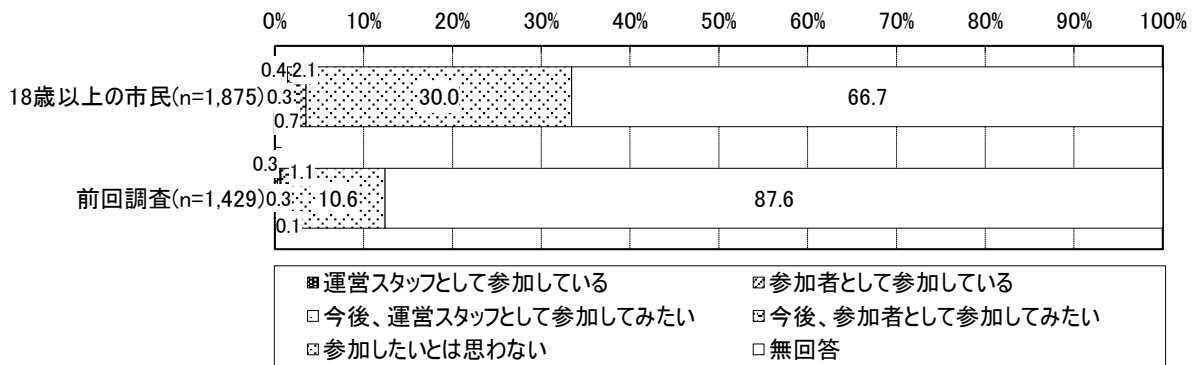
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：％	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
運営スタッフとして参加している	0.5	0.7	0.0	1.0	0.0	0.3	1.1
参加者として参加している	0.7	0.7	1.6	1.0	0.9	0.3	0.4
今後、運営スタッフとして参加してみたい	3.3	6.0	3.8	3.1	2.7	2.6	1.5
今後、参加者として参加してみたい	15.8	17.8	12.0	17.2	7.2	17.7	18.1
参加したいとは思わない	64.1	59.4	66.7	62.2	70.0	64.6	64.9
無回答	16.2	16.8	15.8	16.3	19.3	15.4	14.7

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

④その他



○「参加したいとは思わない」が30.0%、無回答が66.7となっています。

※「その他」の内容：子育てサークル、きちんとお給料の出る仕事なら①②③どれも参加したい

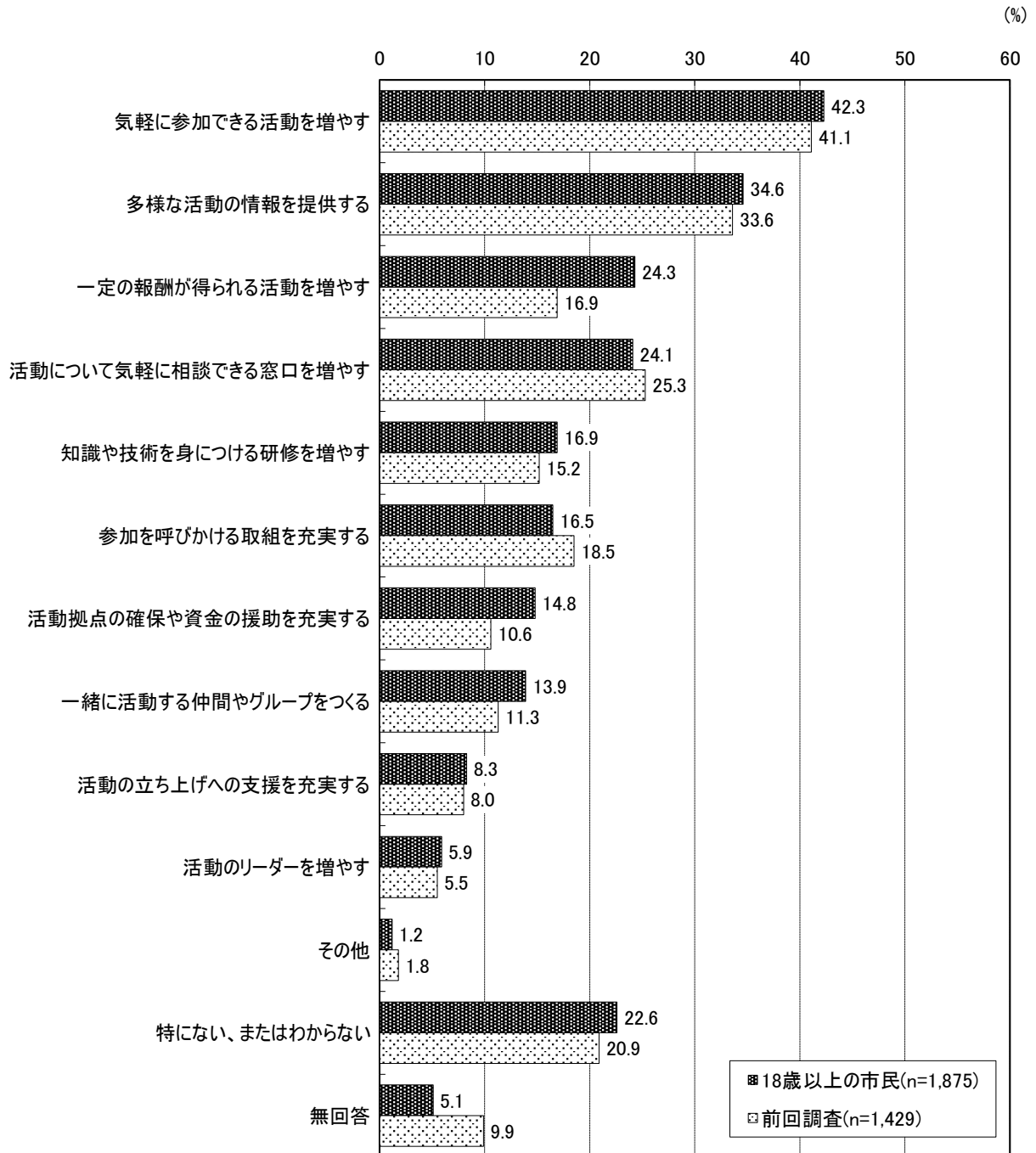
単位：%	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
運営スタッフとして参加している	0.4	0.1	0.6	0.4	0.5	0.2
参加者として参加している	0.3	0.3	0.2	0.7	0.0	0.4
今後、運営スタッフとして参加してみたい	0.7	0.3	1.2	0.7	1.5	0.1
今後、参加者として参加してみたい	2.1	1.7	2.2	3.6	2.1	1.7
参加したいとは思わない	30	34.2	29.1	44.4	34.7	21.4
無回答	66.7	63.3	67.3	50.9	61.6	76.3

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
運営スタッフとして参加している	0.4	0.3	0.0	0.2	0.4	0.7	0.8
参加者として参加している	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0
今後、運営スタッフとして参加してみたい	0.7	0.3	1.6	1.4	0.4	0.3	0.4
今後、参加者として参加してみたい	2.1	2.7	1.1	2.2	1.3	2.3	3.0
参加したいとは思わない	30	28.5	29.5	28.9	33.2	26.2	32.8
無回答	66.7	68.5	67.8	67.2	64.6	70.5	63.0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問24 市民が福祉に関する活動にもっと参加するには、どのような取組が“特に効果的”だと思いますか。（○はいくつでも）



○「気軽に参加できる活動を増やす」が42.3%と最も多く、次いで「多様な活動の情報を提供する」34.6%、「一定の報酬が得られる活動を増やす」が24.3%、「活動について気軽に相談できる窓口を増やす」が24.1%、「知識や技術を身につける研修を増やす」が16.9%の順となっています。

○年齢別にみると、「一定の報酬が得られる活動を増やす」と答える人は18～39歳、40～64歳で多くみられます。

Ⅱ 市民アンケートの結果

※「その他」の主な内容：交通費支出をお願いする、実際に当事者から声を聴いて必要なサポートをしてほしい、時間がない、団体・グループの中で変なしきたりや権力構造を作らないようにする、考え方を押し付ける人がいると気軽に参加できない、過干渉や同調圧力の排除、目的がはっきりとしており有期で果たせるものから計画的に など

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
多様な活動の情報を提供する	34.6	34.8	33.9	33.2	35.7	34.1
活動について気軽に相談できる窓口を増やす	24.1	23.4	24.2	19.9	26.1	23.7
知識や技術を身につける研修を増やす	16.9	18.1	16.5	18.8	18.5	14.6
参加を呼びかける取組を充実する	16.5	15.0	18.2	16.2	15.8	17.2
気軽に参加できる活動を増やす	42.3	39.2	44.4	45.1	42.6	41.2
一定の報酬が得られる活動を増やす	24.3	24.4	25.2	36.5	31.3	13.9
一緒に活動する仲間やグループをつくる	13.9	14.0	13.4	17.7	13.0	13.4
活動のリーダーを増やす	5.9	7.3	4.6	3.6	5.8	6.8
活動の立ち上げへの支援を充実する	8.3	9.3	7.0	9.0	9.5	6.9
活動拠点の確保や資金の援助を充実する	14.8	16.7	13.4	19.1	15.8	12.3
その他	1.2	1.4	1.0	1.1	1.3	1.0
特になし、またはわからない	22.6	23.8	21.6	19.1	21.0	25.3
無回答	5.1	3.1	6.0	1.1	1.3	9.3

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

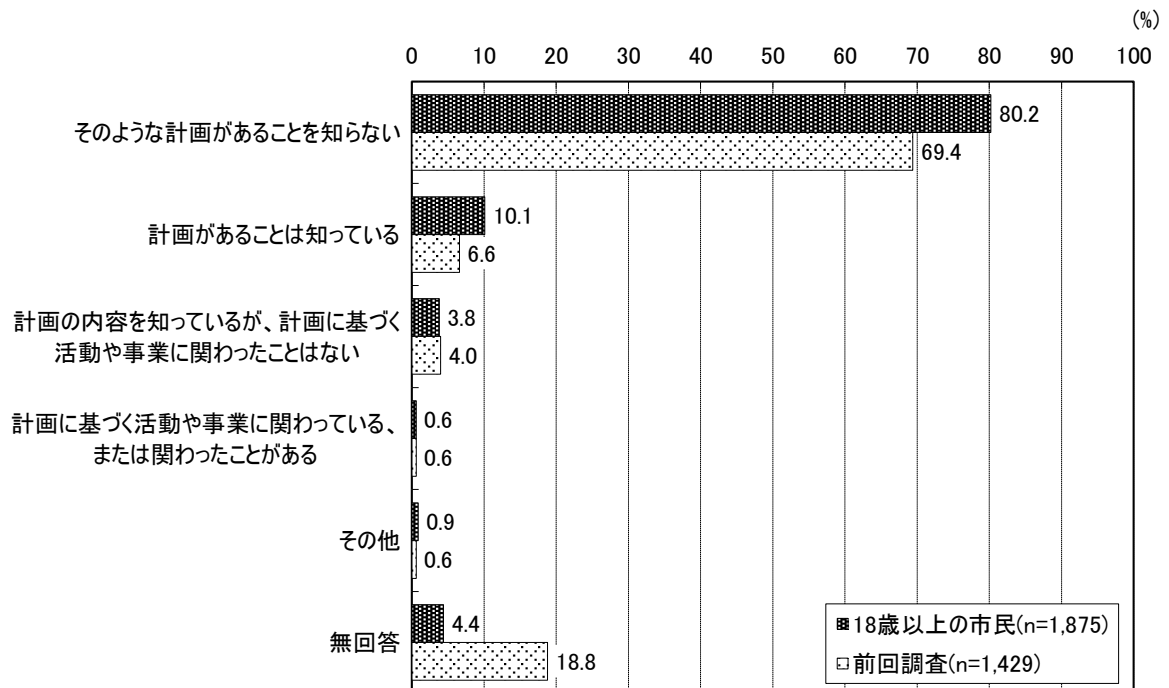
Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
多様な活動の情報を提供する	34.6	33.9	31.1	36.1	30.0	42.0	32.1
活動について気軽に相談できる窓口を増やす	24.1	27.2	19.7	26.3	23.3	23.6	19.2
知識や技術を身につける研修を増やす	16.9	15.1	16.4	20.6	11.7	20.0	12.1
参加を呼びかける取組を充実する	16.5	19.5	18.0	17.9	12.6	15.7	16.2
気軽に参加できる活動を増やす	42.3	44.3	37.7	44.5	38.6	43.0	43.8
一定の報酬が得られる活動を増やす	24.3	27.9	24.0	23.4	19.7	25.2	21.9
一緒に活動する仲間やグループをつくる	13.9	11.7	17.5	13.2	16.6	15.1	14.3
活動のリーダーを増やす	5.9	4.4	4.4	6.0	6.7	7.5	6.8
活動の立ち上げへの支援を充実する	8.3	8.7	7.7	9.8	4.5	9.2	9.8
活動拠点の確保や資金の援助を充実する	14.8	17.4	12.0	18.4	8.5	13.4	15.1
その他	1.2	0.3	2.2	1.4	1.8	0.0	0.4
特になし、またはわからない	22.6	18.5	24.0	21.1	30.0	21.0	24.9
無回答	5.1	5.4	4.4	4.5	6.3	3.6	6.0

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問25 「第4次寝屋川市地域福祉計画」を知っていますか。また、計画に基づく活動や事業に関わったことがありますか。(○は1つ)



○「そのような計画があることを知らない」という人が80.2%を占めており、「計画があることは知っている」という人が10.1%となっています。

※「その他」の内容：わからない など

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
そのような計画があることを知らない	80.2	82.6	80.0	85.2	84.9	74.3
計画があることは知っている	10.1	10.0	9.8	9.0	9.5	11.0
計画の内容を知っているが、計画に基づく活動や事業に関わったことはない	3.8	3.3	3.9	4.7	2.9	4.4
計画に基づく活動や事業に関わっている、または関わったことがある	0.6	0.4	0.7	0.4	0.7	0.6
その他	0.9	0.9	0.5	0.0	0.7	1.3
無回答	4.4	2.9	5.1	0.7	1.3	8.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

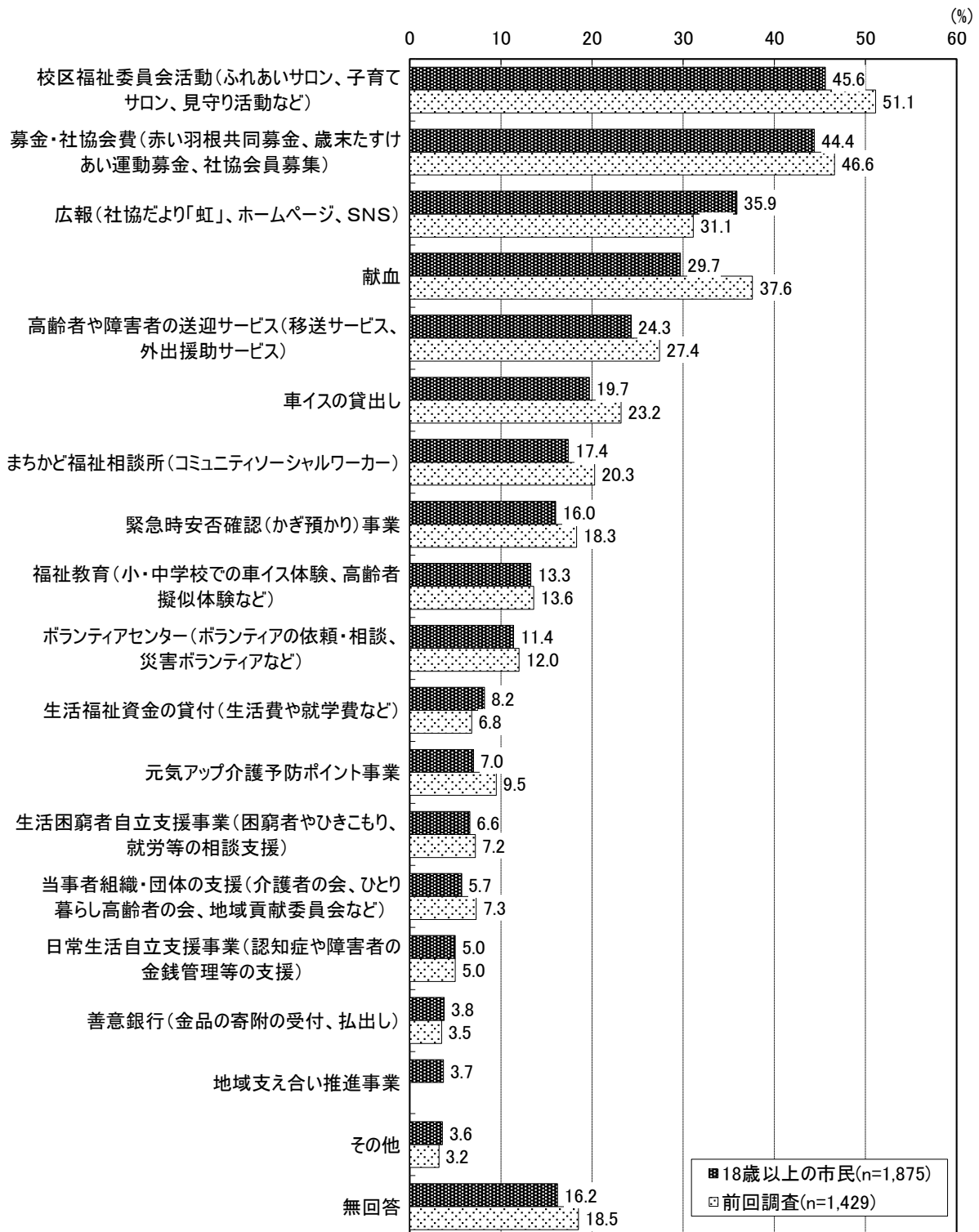
Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
そのような計画があることを知らない	80.2	76.2	80.9	79.4	84.3	81.0	78.1
計画があることは知っている	10.1	12.8	9.8	10.3	9.0	12.1	9.4
計画の内容を知っているが、計画に基づく活動や事業に関わったことはない	3.8	5.4	4.9	4.1	0.9	2.6	4.9
計画に基づく活動や事業に関わっている、または関わったことがある	0.6	0.0	0.0	1.4	0.4	0.7	0.4
その他	0.9	1.0	0.5	1.0	1.3	0.3	0.8
無回答	4.4	4.7	3.8	3.8	4.0	3.3	6.4

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

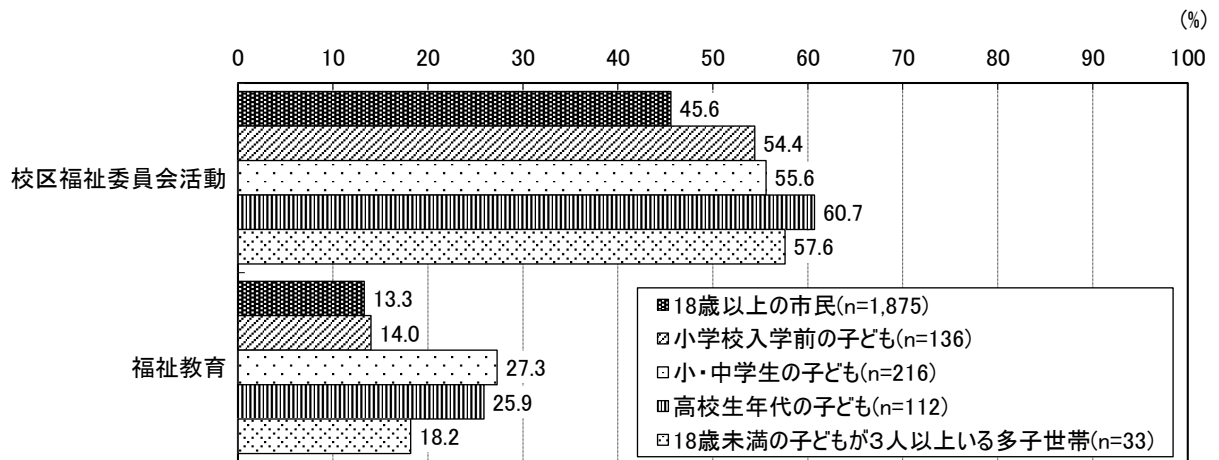
Ⅱ 市民アンケートの結果

問26 社会福祉協議会が行っている事業や活動について知っているものは何ですか。
(○はいくつでも)



○「校区福祉委員会活動(ふれあいサロン、子育てサロン、見守り活動など)」が45.6%と最も多く、次いで「募金・社協会費(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募集)」が44.4%、「広報(社協だより「虹」、ホームページ、SNS)」が35.9%、「献血」が29.7%、「高齢者や障害者の送迎サービス(移送サービス、外出援助サービス)」が24.3%などとなっています

○属性別にみると、「校区福祉委員会活動」「広報」は女性で、「募金・社協会費」「車の貸出し」「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」は65歳以上で、「献血」は18～39歳でそれぞれ多くみられます。



○「校区福祉委員会活動」については、小学校入学前から高校生年代の子どもと一緒に暮らしている人や多子世帯の人など、子育て世代の人がよく知っている状況にあります。

○「福祉教育」は、小・中学生や高校生年代の子どもと一緒に暮らしている人で割合が高くなっています。

Ⅱ 市民アンケートの結果

※「その他」の主な内容：知らない、わからない、特になしなど

単位：％	全体 (n=1,875)	男性 (n=701)	女性 (n=1,001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
校区福祉委員会活動	45.6	35.8	51.8	36.5	45.8	49.0
まちかど福祉相談所	17.4	14.1	19.2	9.0	18.1	19.7
緊急時安否確認（かぎ 預かり）事業	16.0	10.4	18.6	6.9	12.4	22.2
ボランティアセンター	11.4	11.6	11.9	10.5	11.5	11.8
福祉教育	13.3	8.8	16.2	11.6	15.1	12.3
当事者組織・団体の支援	5.7	4.3	6.4	1.8	5.2	7.3
献血	29.7	27.8	31.0	36.8	30.1	27.1
高齢者や障害者の送迎 サービス	24.3	19.1	26.7	10.1	20.2	32.7
車イスの貸出し	19.7	14.7	21.7	11.9	16.9	24.9
元気アップ介護予防ポ イント事業	7.0	4.6	8.6	2.2	6.6	9.0
募金・社協会費	44.4	36.4	48.6	23.1	39.2	56.0
広報	35.9	28.4	41.6	24.9	37.6	38.4
生活困窮者自立支援事業	6.6	6.1	7.2	4.3	7.4	6.6
生活福祉資金の貸付	8.2	8.0	8.7	6.9	9.0	7.9
日常生活自立支援事業	5.0	5.4	4.9	3.6	6.0	4.5
善意銀行	3.8	2.4	4.7	1.1	2.5	6.0
地域支え合い推進事業	3.7	3.4	4.0	1.8	4.6	3.7
その他	3.6	4.1	2.8	5.4	3.5	3.0
無回答	16.2	21.1	13.1	19.9	16.3	14.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

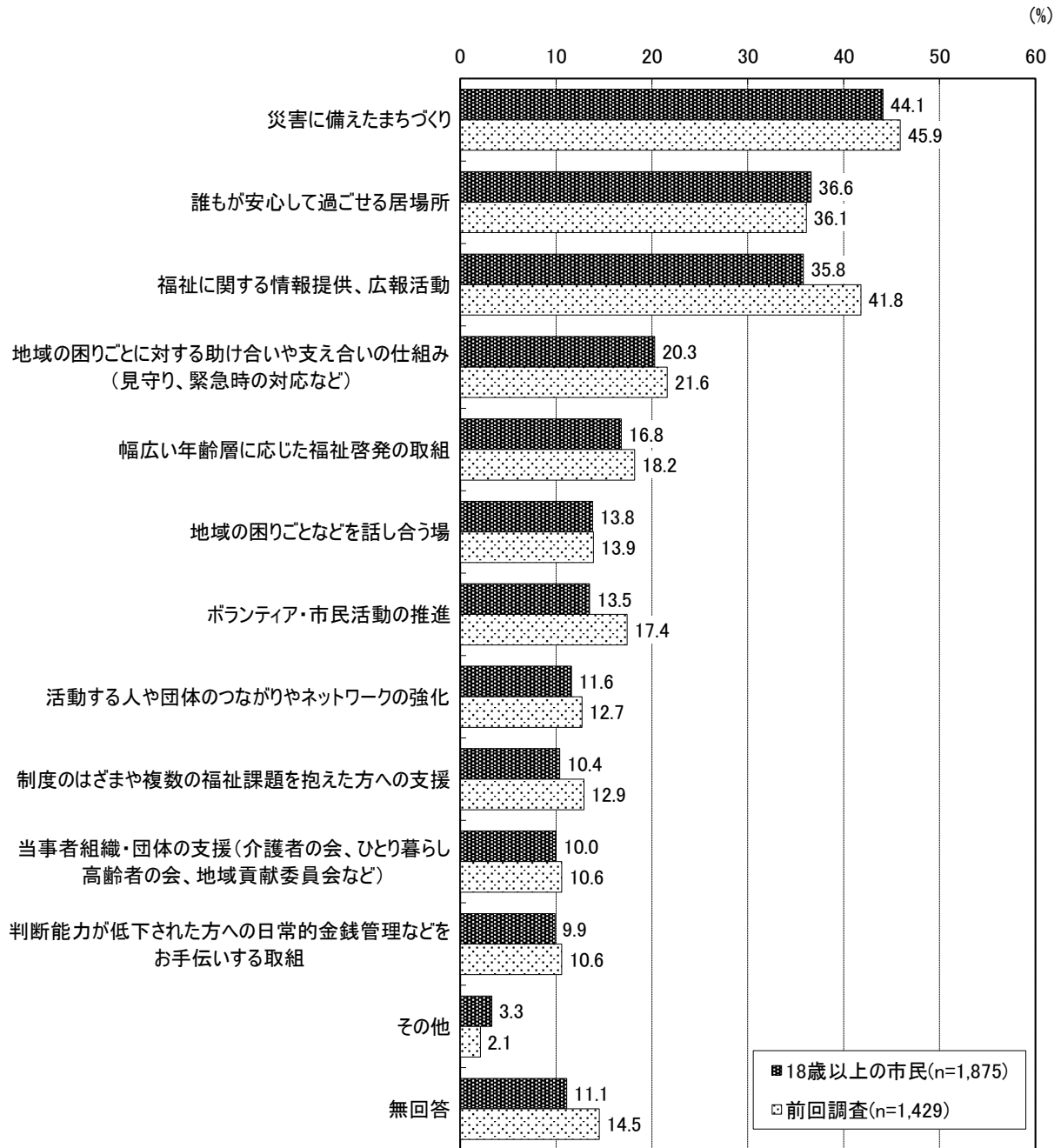
単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
校区福祉委員会活動	45.6	44.3	51.9	49.5	47.5	46.6	51.3
まちかど福祉相談所	17.4	20.8	19.7	17.9	11.2	16.4	21.1
緊急時安否確認（かぎ 預かり）事業	16.0	20.1	17.5	14.8	17.0	14.1	18.9
ボランティアセンター	11.4	12.8	10.4	12.7	7.2	12.1	12.5
福祉教育	13.3	17.8	19.1	10.8	16.1	12.5	12.5
当事者組織・団体の支援	5.7	6.0	6.0	5.0	7.2	6.9	5.7
献血	29.7	32.6	30.1	30.4	29.6	32.5	22.6
高齢者や障害者の送迎 サービス	24.3	23.5	23.0	27.3	28.3	22.0	25.3
車イスの貸出し	19.7	23.5	18.6	18.2	22.0	17.0	23.4
元気アップ介護予防ポ イント事業	7.0	9.1	8.2	7.2	5.8	6.2	8.7
募金・社協会費	44.4	44.3	48.6	49.3	49.3	44.3	43.4
広報	35.9	38.6	37.2	40.4	35.9	37.4	33.6
生活困窮者自立支援事業	6.6	9.1	6.6	6.2	4.0	6.9	6.0
生活福祉資金の貸付	8.2	9.1	7.7	7.7	7.2	9.2	9.1
日常生活自立支援事業	5.0	6.0	4.4	4.8	3.1	4.9	6.8
善意銀行	3.8	6.0	6.0	3.1	4.0	3.3	3.8
地域支え合い推進事業	3.7	5.0	3.8	2.2	4.5	3.6	4.2
その他	3.6	3.7	1.6	3.1	2.7	3.6	2.6
無回答	16.2	15.8	16.9	14.1	14.3	15.4	15.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問27 社会福祉協議会の活動で、今後充実してほしいものはどれですか。

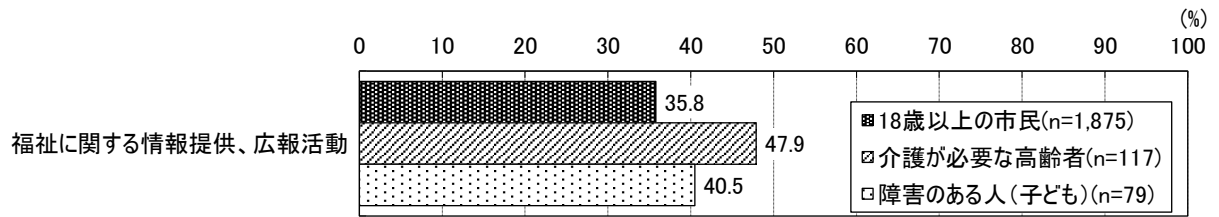
(○はいくつでも)



○「災害に備えたまちづくり」が44.1%と最も多く、次いで「誰もが安心して過ごせる居場所」が36.6%、「福祉に関する情報提供、広報活動」が35.8%、「地域の困りごとに対する助け合いや支え合いの仕組み（見守り、緊急時の対応など）」が20.3%、「幅広い年齢層に応じた福祉啓発の取組」が16.8%、「地域の困りごとなどを話し合う場」が13.8%などとなっています。

○年齢別にみると、18～39歳で「災害に備えたまちづくり」「誰もが安心して過ごせる居場所」、65歳以上で「福祉に関する情報提供、広報活動」と答える人が多くみられます。

Ⅱ 市民アンケートの結果



○介護が必要な高齢者、障害のある人（子ども）と同居している人は「福祉に関する情報提供、広報活動」と答える人が多くみられます。

※「その他」の主な内容：子どもたちの見守り、子育て支援・若い世代のサポート、本当に困っている人を支援できるちょっとしたすき間を埋めるサポート、特にない、わからない など

単位：％	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
福祉に関する情報提供、広報活動	35.8	36.4	36.9	16.6	36.3	41.8
ボランティア・市民活動の推進	13.5	13.1	14.6	7.9	13.5	15.3
災害に備えたまちづくり	44.1	42.2	45.6	54.5	44.8	40.0
幅広い年齢層に応じた福祉啓発の取組	16.8	16.5	16.9	10.1	15.3	20.3
誰もが安心して過ごせる居場所	36.6	31.7	40.0	45.5	34.3	35.7
地域の困りごとなどを話し合う場	13.8	13.8	14.5	10.5	12.4	16.1
地域の困りごとに対する助け合いや支え合いの仕組み	20.3	16.8	22.5	17.0	19.8	21.7
判断能力が低下された方への日常的金銭管理などをお手伝いする取組	9.9	11.1	9.1	10.8	12.2	7.3
制度のはざまや複数の福祉課題を抱えた方への支援	10.4	8.6	11.8	8.3	11.1	10.3
当事者組織・団体の支援	10	8.8	10.2	4.0	9.5	12.4
活動する人や団体のつながりやネットワークの強化	11.6	11.8	11.7	11.6	12.3	10.8
その他	3.3	4.1	2.7	4.0	3.3	2.9
無回答	11.1	12.0	10.1	8.7	9.4	13.1

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

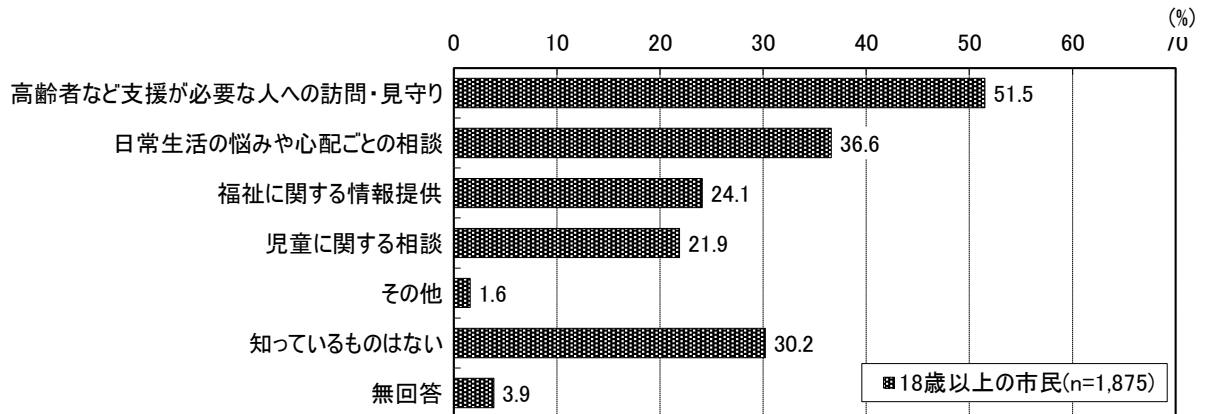
Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
福祉に関する情報提供、広報活動	35.8	39.6	29.0	36.6	35.9	38.7	37.0
ボランティア・市民活動の推進	13.5	14.1	13.1	14.8	10.3	16.1	11.3
災害に備えたまちづくり	44.1	44.0	46.4	40.4	43.5	49.2	44.9
幅広い年齢層に応じた福祉啓発の取組	16.8	14.4	19.7	18.2	17.9	16.1	17.7
誰もが安心して過ごせる居場所	36.6	38.3	41.0	35.2	37.7	33.1	37.0
地域の困りごとなどを話し合う場	13.8	16.8	15.8	14.1	13.0	13.4	12.8
地域の困りごとに対する助け合いや支え合いの仕組み	20.3	22.8	21.3	18.9	21.1	20.0	20.0
判断能力が低下された方への日常的金銭管理などをお手伝いする取組	9.9	9.4	9.8	10.3	10.8	9.5	7.9
制度のはざまや複数の福祉課題を抱えた方への支援	10.4	11.1	9.8	10.8	10.8	9.5	9.1
当事者組織・団体の支援	10	10.1	11.5	11.2	10.3	9.2	7.5
活動する人や団体のつながりやネットワークの強化	11.6	13.1	10.4	13.9	10.3	12.1	8.3
その他	3.3	2.7	1.6	2.9	4.0	4.3	2.6
無回答	11.1	10.4	13.1	9.6	11.2	10.2	10.9

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問28 民生委員・児童委員が行う活動として知っている内容を選んでください。

(○はいくつでも)



○「高齢者など支援が必要な人への訪問・見守り」が51.5%、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が36.6%、「福祉に関する情報提供」が24.1%、「児童に関する相談」が21.9%の順となっています。

※「その他」の主な内容：民生委員がどなたか知らない、知識として知っているがどの程度行われているかはわからない、校区福祉委員との連携並びに情報の共有を積極的に行うこと など

単位：%	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
日常生活の悩みや心配ごとの相談	36.6	33.4	38.9	20.9	35.2	43.2
福祉に関する情報提供	24.1	22.0	25.5	13.0	22.9	29.0
高齢者など支援が必要な人への訪問・見守り	51.5	44.9	55.4	28.2	49.9	60.6
児童に関する相談	21.9	19.8	23.6	21.3	22.4	22.0
その他	1.6	1.9	1.1	0.7	1.1	2.2
知っているものはない	30.2	36.5	26.5	53.4	32.8	20.4
無回答	3.9	3.1	4.1	1.8	1.7	6.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

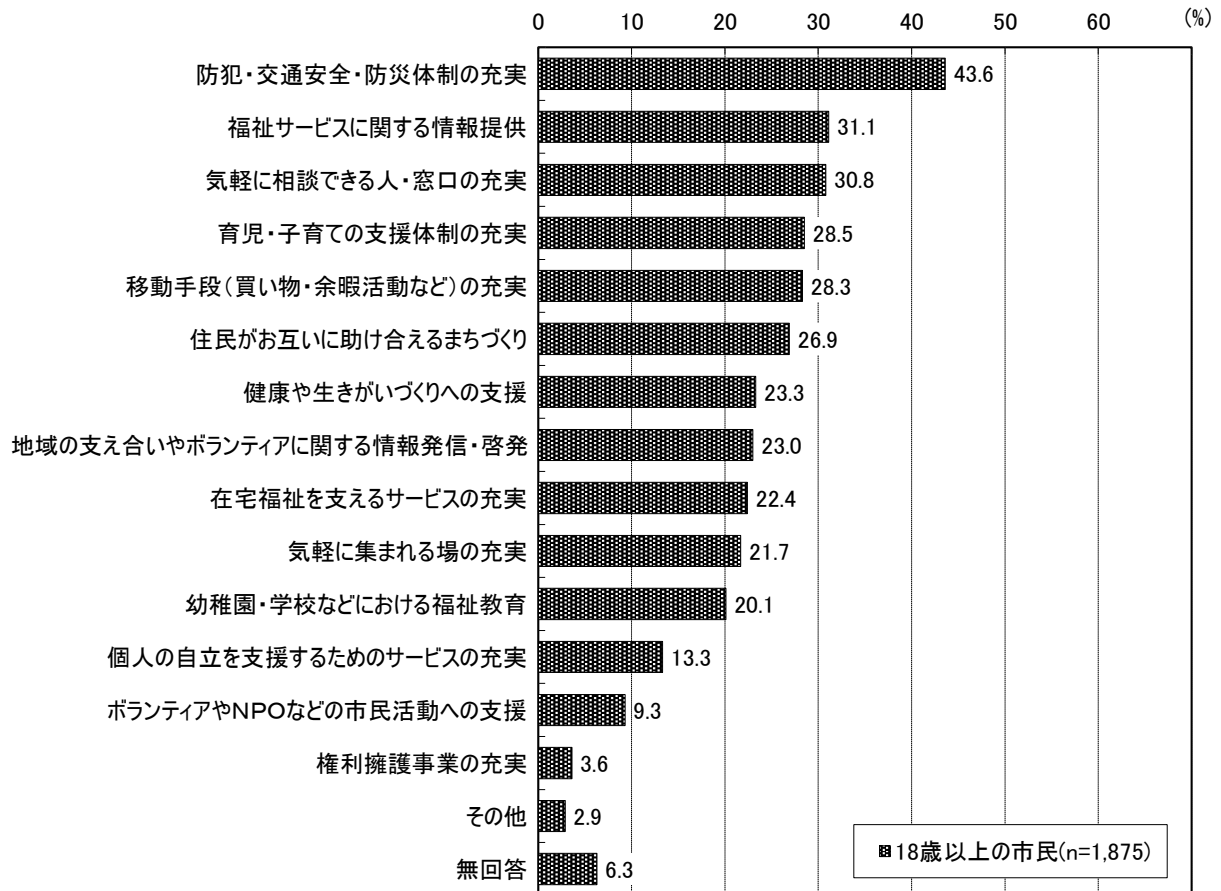
単位：%	全体 (n=1, 875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
日常生活の悩みや心配ごとの相談	36.6	35.2	36.1	36.8	38.6	43.9	31.7
福祉に関する情報提供	24.1	22.8	23.5	24.4	26.5	28.5	23.8
高齢者など支援が必要な人への訪問・見守り	51.5	52.7	53.6	55.3	51.6	54.1	48.3
児童に関する相談	21.9	20.8	24.0	22.2	18.8	27.5	20.8
その他	1.6	2.3	2.2	1.7	2.7	0.3	0.4
知っているものはない	30.2	31.9	30.6	26.6	31.8	26.2	30.9
無回答	3.9	2.3	5.5	5.0	1.8	3.0	4.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

問29 今後、寝屋川市としてどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。

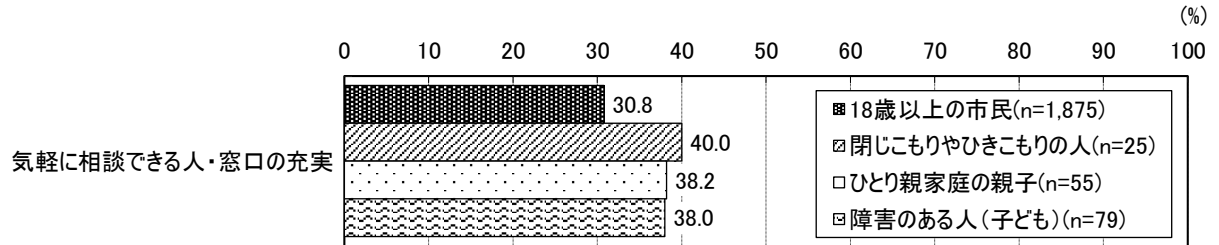
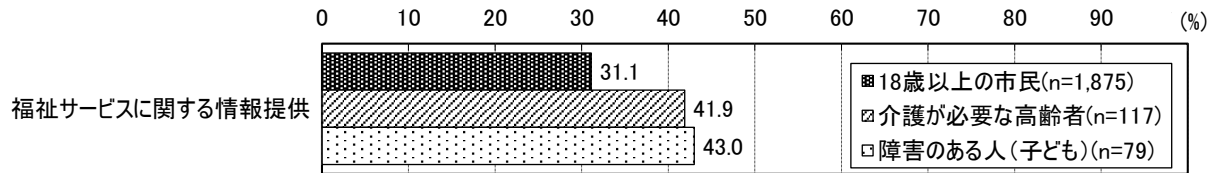
(○はいくつでも)



- 「防犯・交通安全・防災体制の充実」が43.6%と最も多く、次いで「福祉サービスに関する情報提供」が31.1%、「気軽に相談できる人・窓口の充実」が30.8%、「育児・子育ての支援体制の充実」が28.5%、「移動手段(買い物・余暇活動など)の充実」が28.3%、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」が26.9%の順となっています。
- 年齢別にみると、18～39歳で「育児・子育ての支援体制の充実」「幼稚園・学校などにおける福祉教育」、65歳以上で「住民がお互いに助け合えるまちづくり」「地域の支え合いやボランティアに関する情報発信・啓発」「在宅福祉を支えるサービスの充実」「気軽に集まれる場の充実」と答える人が多くみられます。
- 「福祉サービスに関する情報の提供」については、障害のある人(子ども)、介護が必要な高齢者と一緒に暮らしている人で多くみられます。
- 「気軽に相談できる人・窓口の充実」については、閉じこもりやひきこもりの人、ひとり親家庭の親子、障害のある人(子ども)と一緒に暮らしている人などで多くみられます。

※「その他」の主な内容：災害についてもっと力を入れる、市民が使いやすい公共施設にしてほしい、道路の補修と街灯の設置、現役世代の支援、もっと老人を大切にしてほしい、特にない、わからない など

Ⅱ 市民アンケートの結果



単位：%	全体 (n=1, 875)	男性 (n=701)	女性 (n=1, 001)	18～39歳 (n=277)	40～64歳 (n=747)	65歳以上 (n=837)
地域の支え合いやボランティアに関する情報発信・啓発	23.0	23.4	22.5	12.3	21.6	28.0
幼稚園・学校などにおける福祉教育	20.1	18.8	21.9	45.5	19.7	11.9
福祉サービスに関する情報提供	31.1	31.0	31.4	18.8	30.3	36.0
気軽に集まれる場の充実	21.7	20.1	22.5	17.0	17.7	26.9
住民がお互いに助け合えるまちづくり	26.9	24.3	28.4	20.9	23.2	32.1
気軽に相談できる人・窓口の充実	30.8	28.7	32.7	25.6	33.1	30.6
健康や生きがいづくりへの支援	23.3	22.8	24.2	20.2	22.9	24.6
育児・子育ての支援体制の充実	28.5	27.1	31.2	58.1	29.7	17.8
在宅福祉を支えるサービスの充実	22.4	21.1	22.4	10.8	21.0	27.5
個人の自立を支援するためのサービスの充実	13.3	12.7	14.0	15.9	14.5	11.6
ボランティアやNPOなどの市民活動への支援	9.3	9.8	8.9	5.4	9.5	10.4
移動手段（買い物・余暇活動など）の充実	28.3	26.0	29.2	24.9	26.5	30.9
権利擁護事業の充実	3.6	4.0	3.5	0.7	5.2	3.1
防犯・交通安全・防災体制の充実	43.6	43.9	43.1	47.7	46.6	39.1
その他	2.9	4.9	1.7	4.7	3.1	2.2
無回答	6.3	5.8	6.5	4.3	4.8	8.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅱ 市民アンケートの結果

単位：％	全体 (n=1,875)	西北 (n=298)	南 (n=183)	東北 (n=418)	西南 (n=223)	東 (n=305)	西 (n=265)
地域の支え合いやボランティアに関する情報発信・啓発	23.0	21.8	21.3	25.8	22.4	28.5	19.2
幼稚園・学校などにおける福祉教育	20.1	20.1	18.6	21.1	19.3	23.0	17.0
福祉サービスに関する情報提供	31.1	32.2	32.8	30.6	29.6	32.1	29.4
気軽に集まれる場の充実	21.7	22.1	23.0	22.2	21.5	18.4	22.3
住民がお互いに助け合えるまちづくり	26.9	24.8	29.5	27.5	28.3	27.9	27.9
気軽に相談できる人・窓口の充実	30.8	32.6	29.5	31.3	33.6	26.6	31.3
健康や生きがいづくりへの支援	23.3	20.8	24.6	24.4	27.4	23.3	22.6
育児・子育ての支援体制の充実	28.5	30.5	27.3	27.8	28.7	31.1	25.7
在宅福祉を支えるサービスの充実	22.4	26.2	21.3	24.4	17.0	23.6	21.5
個人の自立を支援するためのサービスの充実	13.3	12.4	15.3	14.8	13.5	13.1	10.6
ボランティアやNPOなどの市民活動への支援	9.3	8.4	8.7	9.8	8.5	8.5	9.4
移動手段（買い物・余暇活動など）の充実	28.3	27.2	26.2	32.8	24.7	28.9	27.9
権利擁護事業の充実	3.6	3.4	3.8	3.6	4.0	3.0	3.4
防犯・交通安全・防災体制の充実	43.6	41.3	47.5	40.9	50.7	41.3	41.5
その他	2.9	4.0	2.2	2.9	2.7	2.6	2.3

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

◆最後に、地域における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けたご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

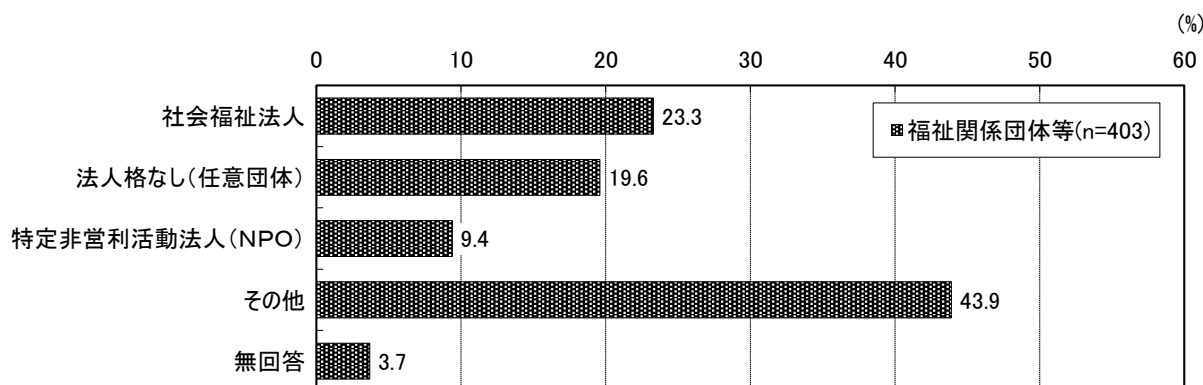
- 相手を思いやる気持ちが周りに広まるような笑顔ある地域を作っていってほしいです。活気あるまち、地域になれるよう一人一人の気持ちが前向きになれる空気が流れるまちであってほしい。
- 自治会などの枠を越えた、柔軟な組織の拠点や団体づくり。
- 地域住民が気軽に集え、人と人がつながりその結果助け合える輪づくりができればと思います。孤立した人を作らない活動を活発にしていければと考えます。
- 何をするにも敷居が高いと手が出ないので、気軽に参加、利用できる仕組みが大切だと思います。
- 地域に高齢者が多く足腰の悪い方が多くなり、移動するのが大変とよく聞きます。
- 福祉活動について知らないことがたくさんあると感じました。情報の発信は広くお願いします。
- 経済的支援（お金を配る）より市民同士が協力し合えるための支援の方が自立でき、活動が続く。支援お金を配るのは良いがその時だけの支援となってしまう。

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

貴団体について

問1 貴団体に関して、あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

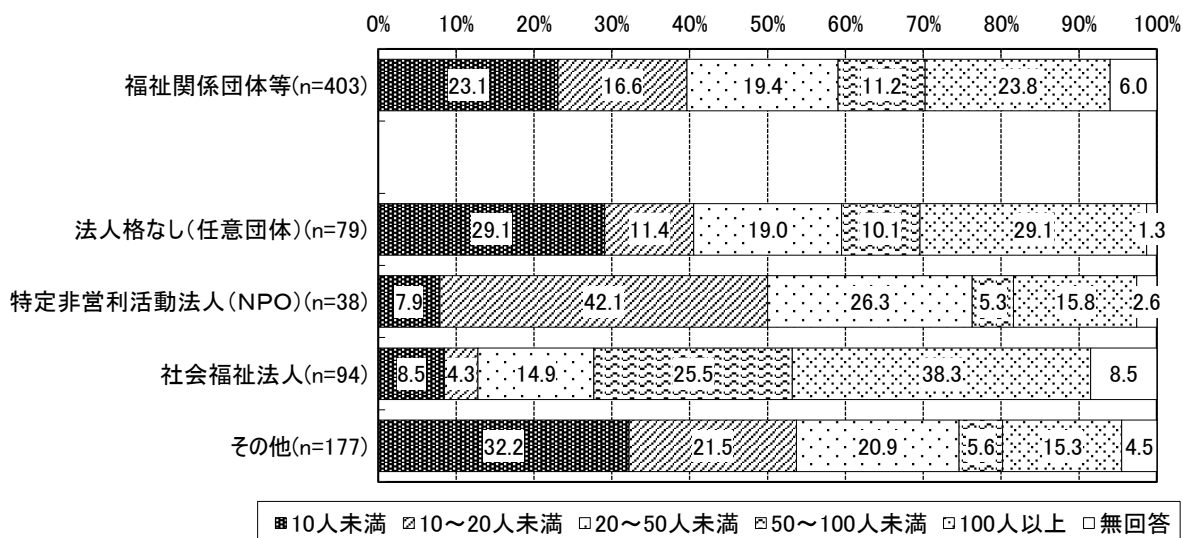
①団体の形態



○「その他」が43.9%、「社会福祉法人」が23.3%、「法人格なし（任意団体）」が19.6%、「特定非営利活動法人（NPO）」が9.4%となっています。

※「その他」の主な内容：株式会社、営利法人、医療法人・社会医療法人、有限会社・合同会社、一般社団法人 など

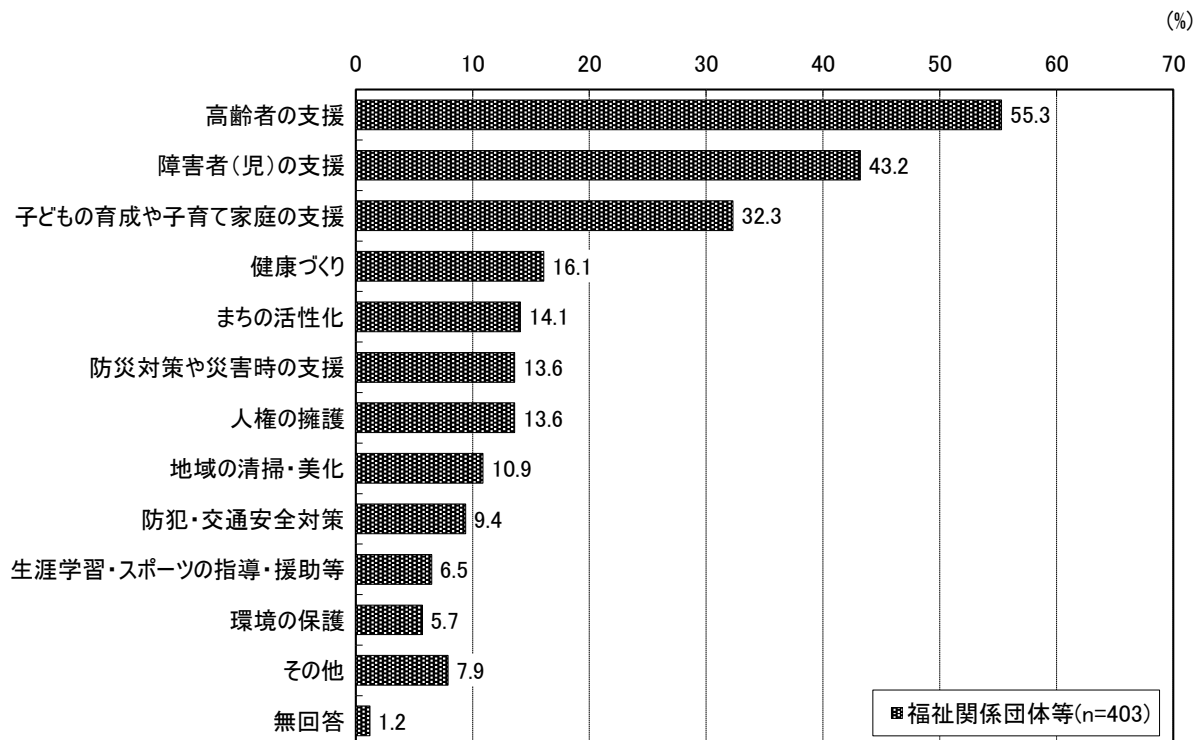
②団体の規模(構成員の数)



○回答のあった全団体では、「100人以上」が23.8%、「10人未満」が23.1%、「20～50人未満」が19.4%と規模は分散しています。

○団体の形態別には、「100人以上」は社会福祉法人、「10人未満」は法人格なし（任意団体）やその他、「20～50人未満」は特定非営利活動法人で多くみられます。

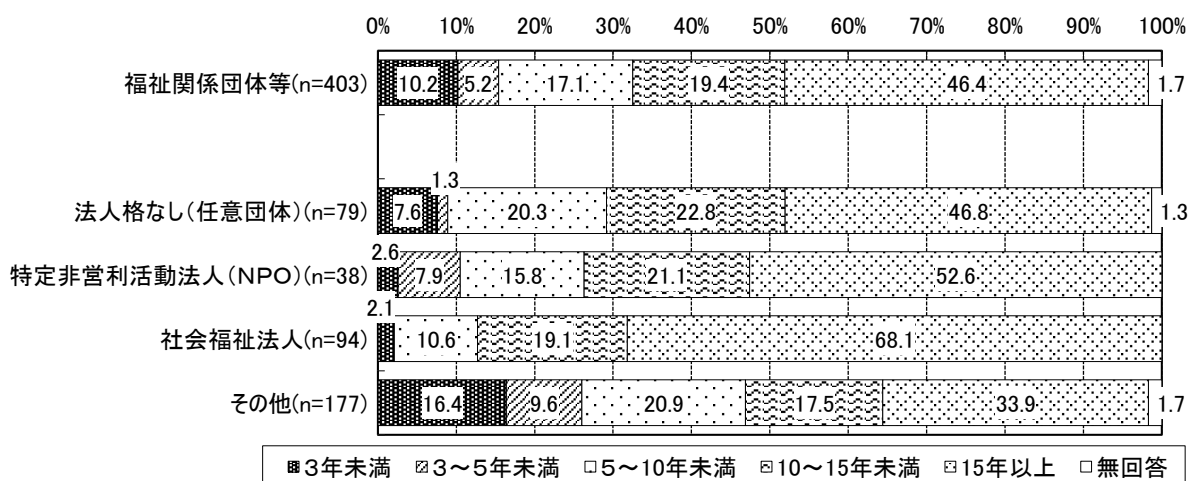
問2 どのような分野の活動をされていますか。(○はいくつでも)



○「高齢者の支援」が55.3%と最も多く、次いで「障害者(児)の支援」が43.2%、「子どもの育成や子育て家庭の支援」が32.3%、「健康づくり」が16.1%、「まちの活性化」が14.1%などとなっています。

※「その他」の主な内容：医療の提供、介護 など

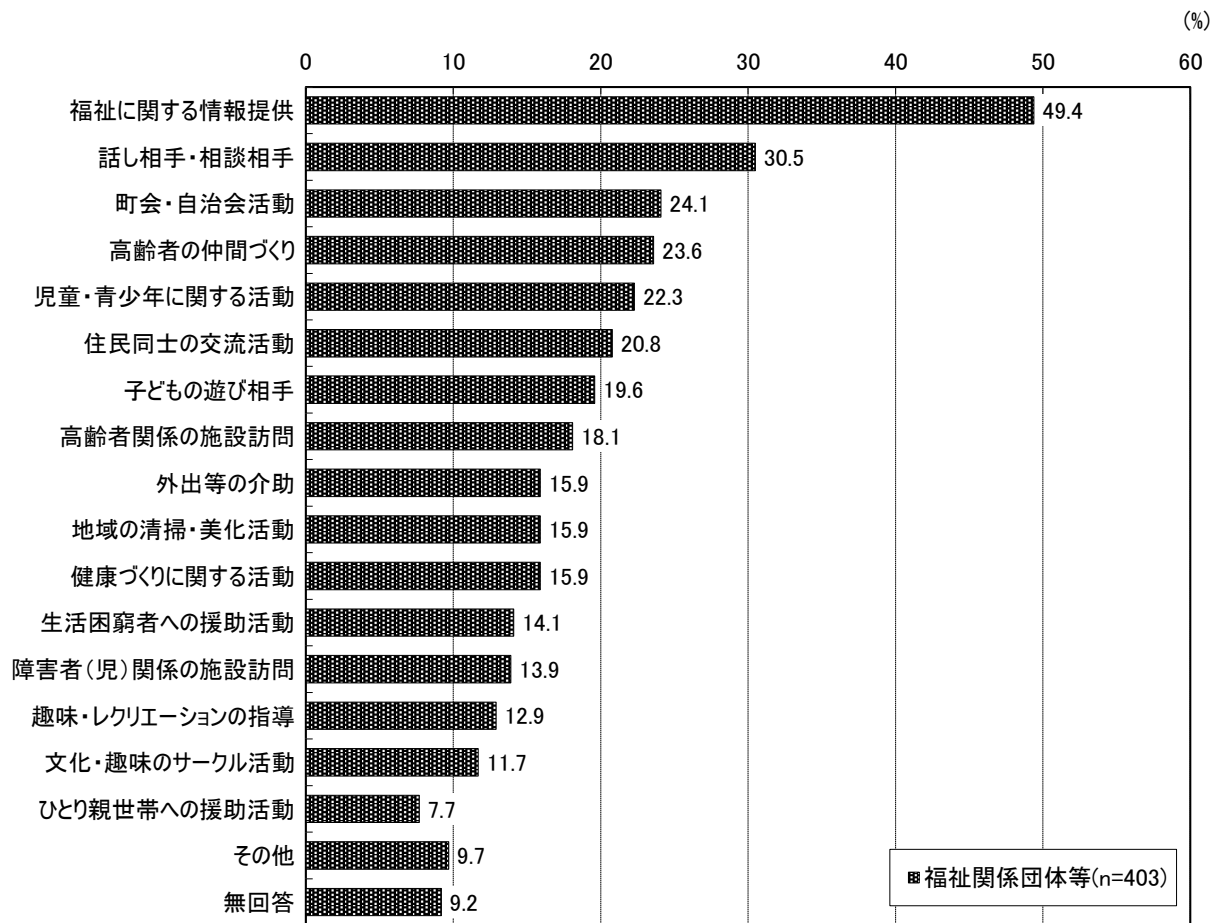
問3 どのくらいの期間、活動されていますか。(○は1つ)



○回答のあった全団体では、「15年以上」が46.4%と最も多く、社会福祉法人では68.1%を占めています。これに次いで「10~15年未満」が19.4%、「5~10年未満」が17.1%となっています。

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

問4 寝屋川市内において現在取り組んでいる活動がありますか。(○はいくつでも)



○「福祉に関する情報提供」が49.4%と最も多く、次いで「話し相手・相談相手」が30.5%、「町会・自治会活動」が24.1%、「高齢者の仲間づくり」が23.6%、「児童・青少年に関する活動」が22.3%、「住民同士の交流活動」が20.8%の順となっています。

※「その他」の主な内容：子ども食堂、独居高齢者鍵預かり事業 など

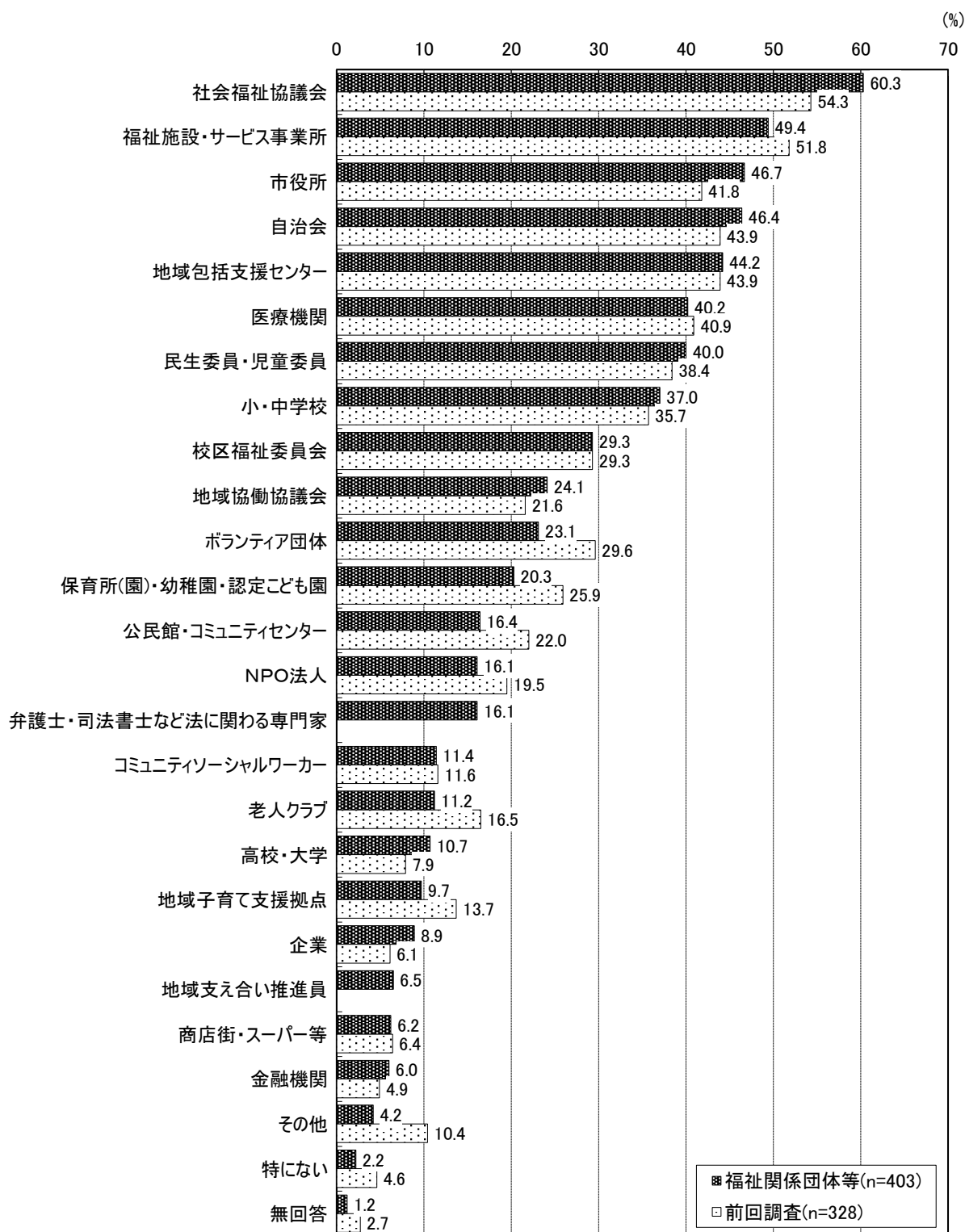
(活動分野とのクロス集計結果)

	福祉関係 団体等 (n=403)	高齢者 の支援 (n=223)	障害者(児) の支援 (n=174)	子どもの育成や 子育て家庭の支援 (n=130)	健康づくり (n=65)
話し相手・相談相手	30.5	35.4	36.8	49.2	38.5
外出等の介助	15.9	19.3	24.7	15.4	16.9
子どもの遊び相手	19.6	16.1	24.1	49.2	32.3
趣味・レクリエーションの指導	12.9	10.8	16.7	20.0	29.2
住民同士の交流活動	20.8	26.5	18.4	44.6	49.2
福祉に関する情報提供	49.4	58.7	55.7	57.7	64.6
高齢者関係の施設訪問	18.1	29.1	15.5	14.6	24.6
障害者(児)関係の施設訪問	13.9	9.9	30.5	15.4	15.4
生活困窮者への援助活動	14.1	18.4	19.0	23.8	16.9
ひとり親世帯への援助活動	7.7	9.9	9.2	20.0	9.2
児童・青少年に関する活動	22.3	16.1	23.6	53.8	35.4
町会・自治会活動	24.1	32.7	16.7	39.2	49.2
地域の清掃・美化活動	15.9	15.7	16.7	26.2	32.3
健康づくりに関する活動	15.9	20.6	14.4	17.7	61.5
高齢者の仲間づくり	23.6	38.1	22.4	35.4	52.3
文化・趣味のサークル活動	11.7	9.4	8.6	17.7	24.6
その他	9.7	10.8	7.5	6.9	9.2
無回答	9.2	8.1	11.5	1.5	1.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

問5 現在、連携・協力関係にある団体、機関等がありますか。(〇はいくつでも)

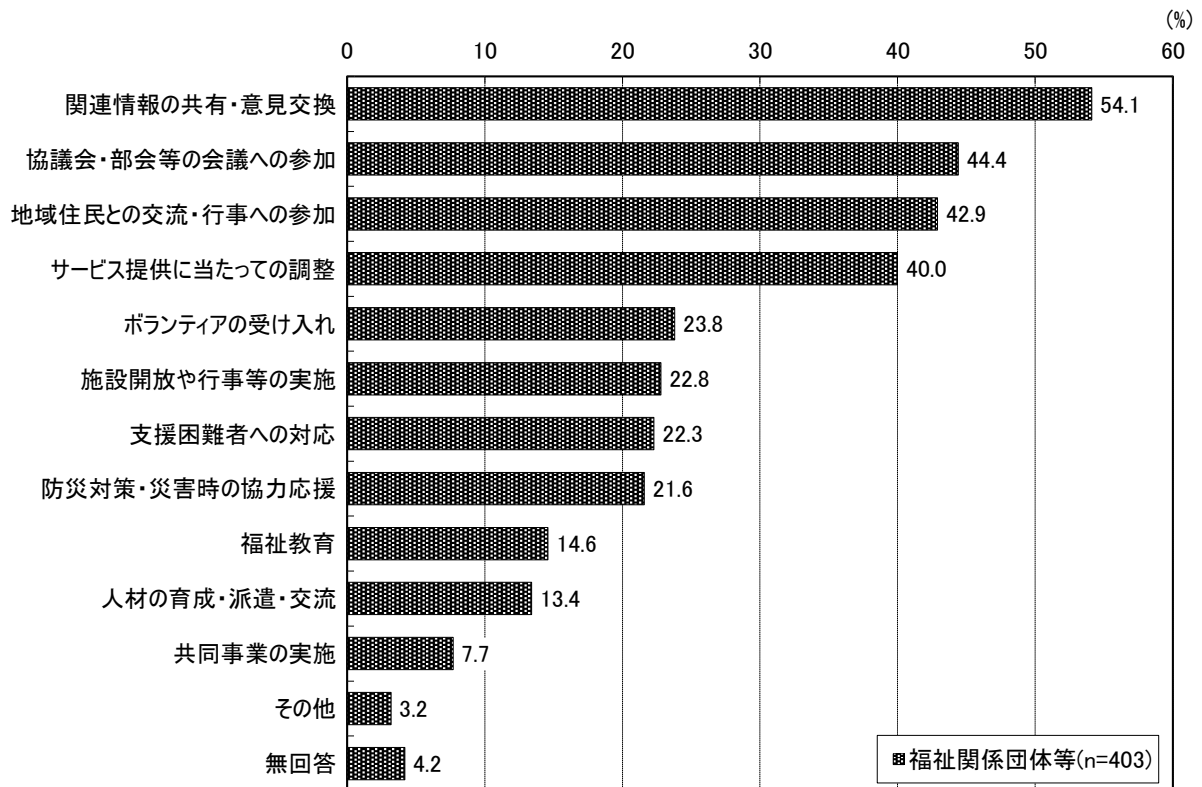


※選択肢「弁護士・司法書士など法に関わる専門家」「地域支え合い推進員」は今回調査から設定。

○「社会福祉協議会」が60.3%と最も多く、次いで「福祉施設・サービス事業所」が49.4%、「市役所」が46.7%、「自治会」が46.4%、「地域包括支援センター」が44.2%、「医療機関」が40.2%、「民生委員・児童委員」が40.0%。「小・中学校」が37.0%、「校区福祉委員会」が29.3%などの順となっています。

※「その他」の主な内容：市民活動センター、保健所 など

問6 連携・協力関係にある団体、機関等との連携・協力の主な内容等についてお答えください。(〇はいくつでも)



○「関連情報の共有・意見交換」が54.1%と最も多く、次いで「協議会・部会等の会議への参加」が44.4%、「地域住民との交流・行事への参加」が42.9%、「サービス提供に当たっての調整」が40.0%、「ボランティアの受け入れ」が23.8%、「施設開放や行事等の実施」が22.8%、「支援困難者への対応」が22.3%、「防災対策・災害時の協力応援」が21.6%などの順となっています。

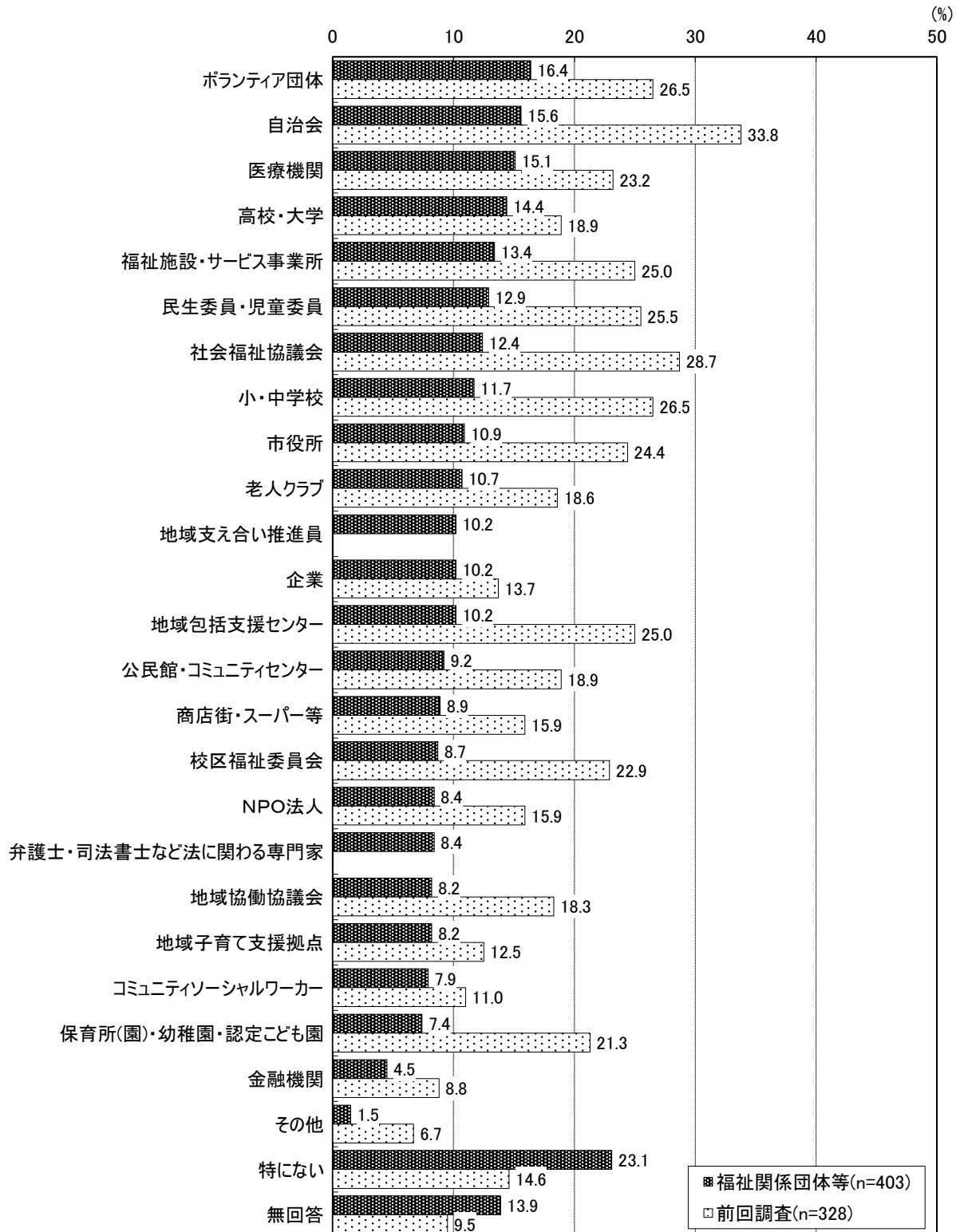
※「その他」の主な内容：子ども食堂、広報・周知 など

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

◆具体的な内容を差し支えない範囲でお書きください

- 学校や医療機関とは情報共有のため、連携をとることが多いです。他事業所とも同じく。また利用の調整を行うこともあります。ボランティア団体と協力して研修を開いたこともあります。
- 地域住民の身近な相談相手として、内容に応じた関係機関へつなぐ、または必要な支援を行う役割を担っている。
- 一人暮らし高齢者の見守りのなかで、問題ができた時など地域包括支援センター、社会福祉協議会につなぎ助けてもらっている。校区福祉委員会への協力で、小学校の福祉授業の協力をする。校区福祉委員会の活動への協力。
- 生活困窮者、ヤングケアラー、ネグレクト児童などへの協力

問7 今後新たに連携・協力関係を取りたい団体・機関等がありますか。ある場合は活動内容等についてお答えください。(〇はいくつでも)



※選択肢「弁護士・司法書士など法に関わる専門家」「地域支え合い推進員」は今回調査から設定。

○「ボランティア団体」が16.4%、「自治会」が15.6%、「医療機関」が15.1%、「高校・大学」が14.4%、「福祉施設・サービス事業所」が13.4%、「民生委員・児童委員」が12.9%、「社会福祉協議会」が12.4%などとなっています。

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

○前回調査の結果と比べると総じて割合が低下しています。

※「その他」の主な内容：子ども食堂、学校や地域に根差した方々、大学関係等、警察・消防署・消防団、必要に応じて対応 など

◆具体的な内容を差し支えない範囲でお書きください

○今後、支援につなげていない方、福祉サービスにつなげていない方の支援が増えていくなか、地域に密着して支援されるコミュニティソーシャルワーカーさんとの連携が重要になってくると思う。

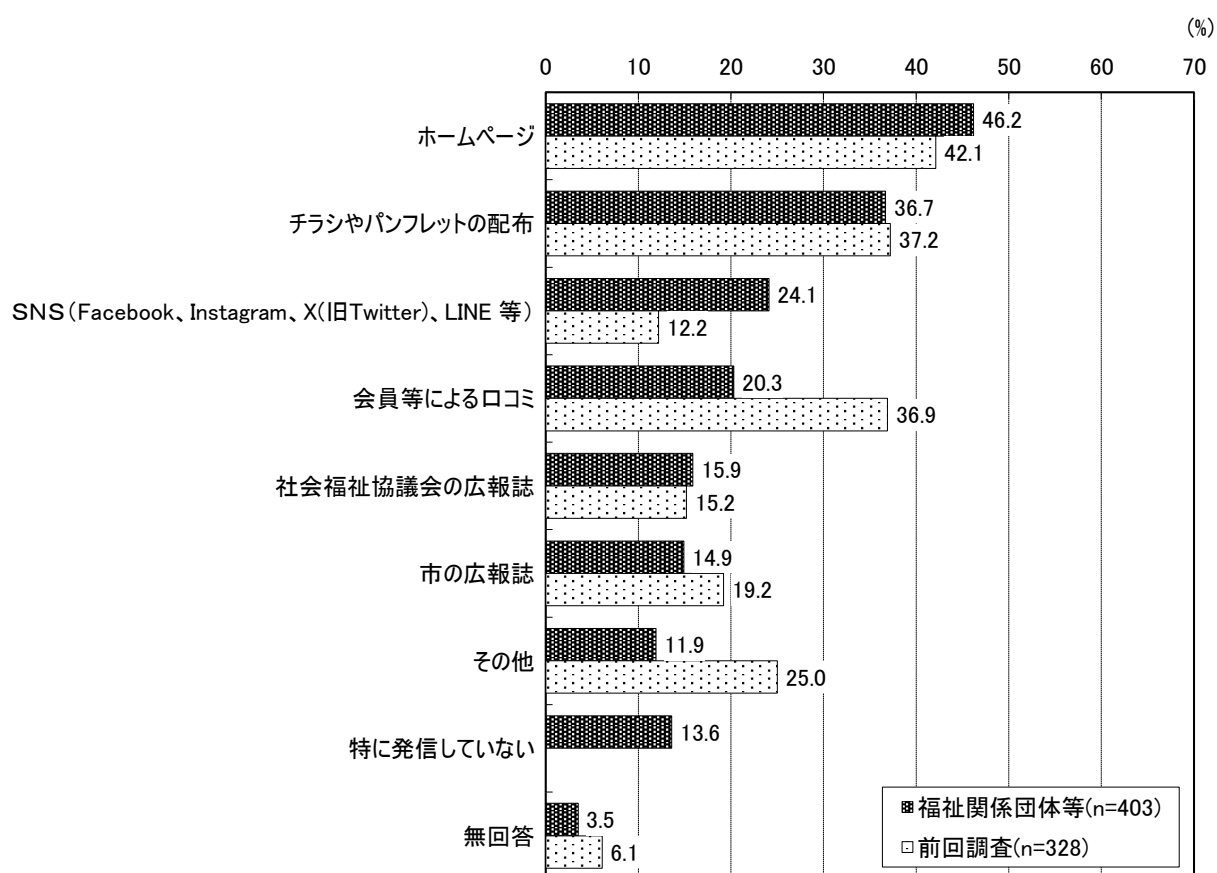
○地域まるごと連携を図るために、医療機関、企業、高校・大学とつながることが大事だと思います。

○直接に相談し、速やかに支援の活動を開始するための専門性の高い部署との連携を望む。

○同業者との交流・意見交換

○認知症や様々な障害を抱えた方を地域でどのように見守るか。権利擁護の分野が地域福祉の中で重要性を増すに応じて、今まで以上に弁護士や司法書士など法に関わる専門家との連携が必要になってくると考えられます。

問8 団体の活動情報をどのように発信していますか。(〇はいくつでも)



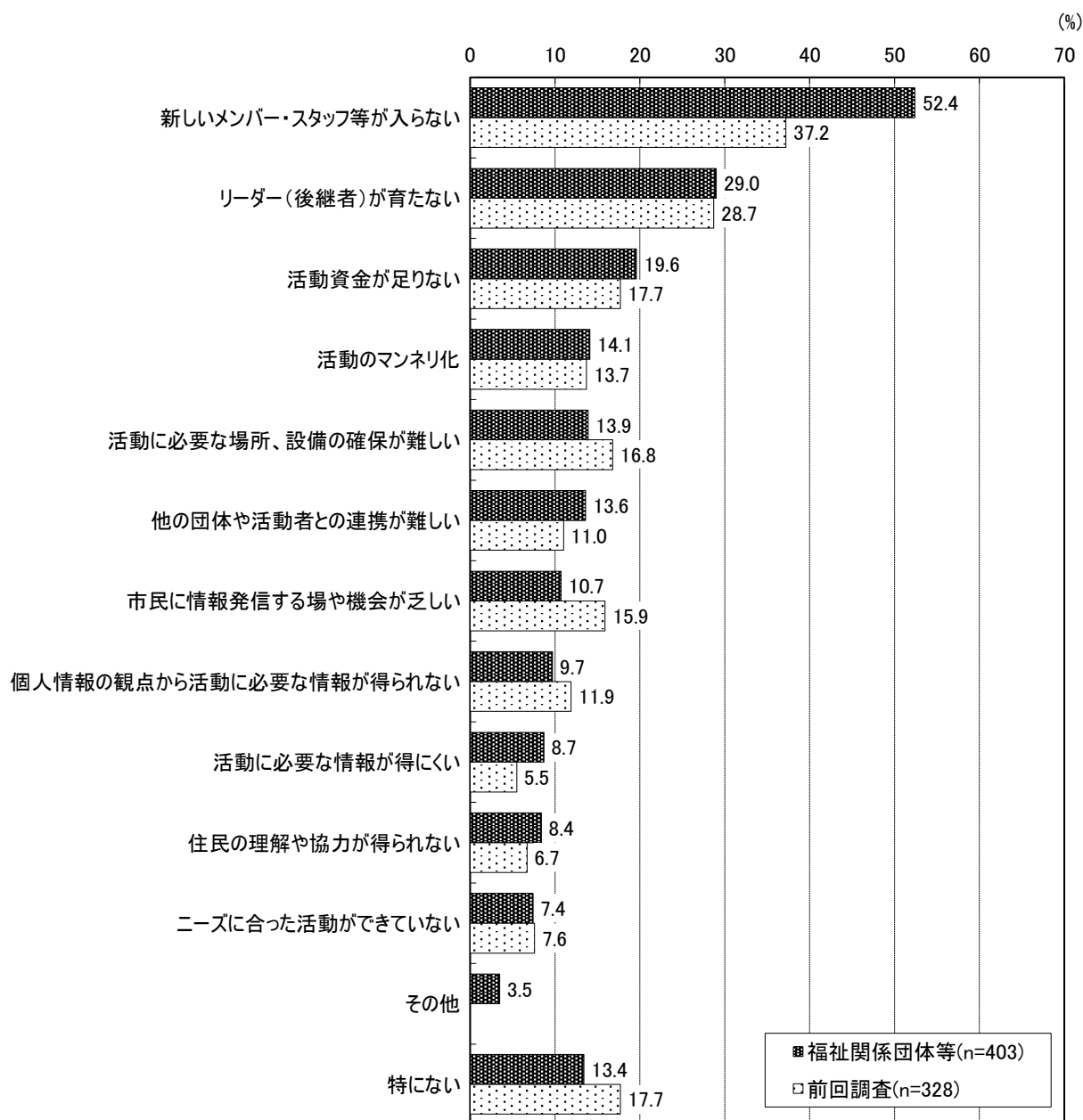
※選択肢「特に発信していない」は今回調査から設定

○「ホームページ」が46.2%と最も多く、次いで「チラシやパンフレットの配布」が36.7%、「SNS (Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、LINE等)」が24.1%、「会員等による口コミ」が20.3%などとなっています。

※「その他」の主な内容：広報・機関誌の発行、地域活動への参加 など

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

問9 団体活動を行う上で、困っていること・課題は何ですか。(〇はいくつでも)



※選択肢「その他」は今回調査から設定

○「新しいメンバー・スタッフ等が入らない」が52.4%と最も多く、前回調査の37.2%より大きく割合が高まっています。

○これに次いで「リーダー(後継者)が育たない」が29.0%、「活動資金が足りない」が19.6%、「活動のマンネリ化」が14.1%、「活動に必要な場所、設備の確保が難しい」が13.9%、「他の団体や活動者との連携が難しい」が13.6%の順となっています。

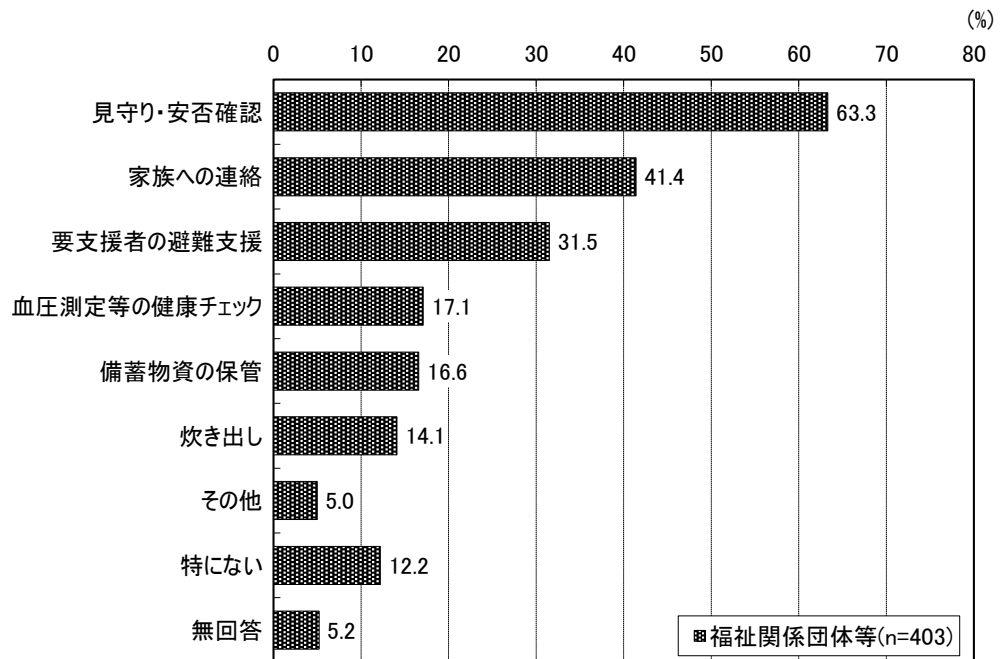
※「その他」の主な内容：時間が十分確保できない、活動に制限がある など

◆困っていることや課題となっていること、それに対して貴団体として対応されていること等を差し支えのない範囲でお書きください

- 会議や行事のたびに会場使用料が発生、予算に大きく負担、他地区と比べても負担が大きい。
自治会や民生委員について積極的な連携がとれない。
- 活動に興味を持ち、活動に参加してくださることは少なくないが、活動資金が不足、後継者として育てるための報酬や、教育のため資金の継続ができない状況がある。
- メンバーを増やしたいと思っており、活動機会に呼び掛けを行う、SNSで発信するなどしている
- 一人一人の負担を減らし活動しやすい様にするため組織化しているところ
- 認知症の方が今まで通りの生活が継続できたり、家族の思いを理解し、地域全体で見守っている環境づくりについて何ができるか模索中です。

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

問10 避難行動要支援者（高齢者や障害者（児）など自力で避難することが困難な方）への救助活動や支援について貴団体として協力できることは何ですか。（○はいくつでも）



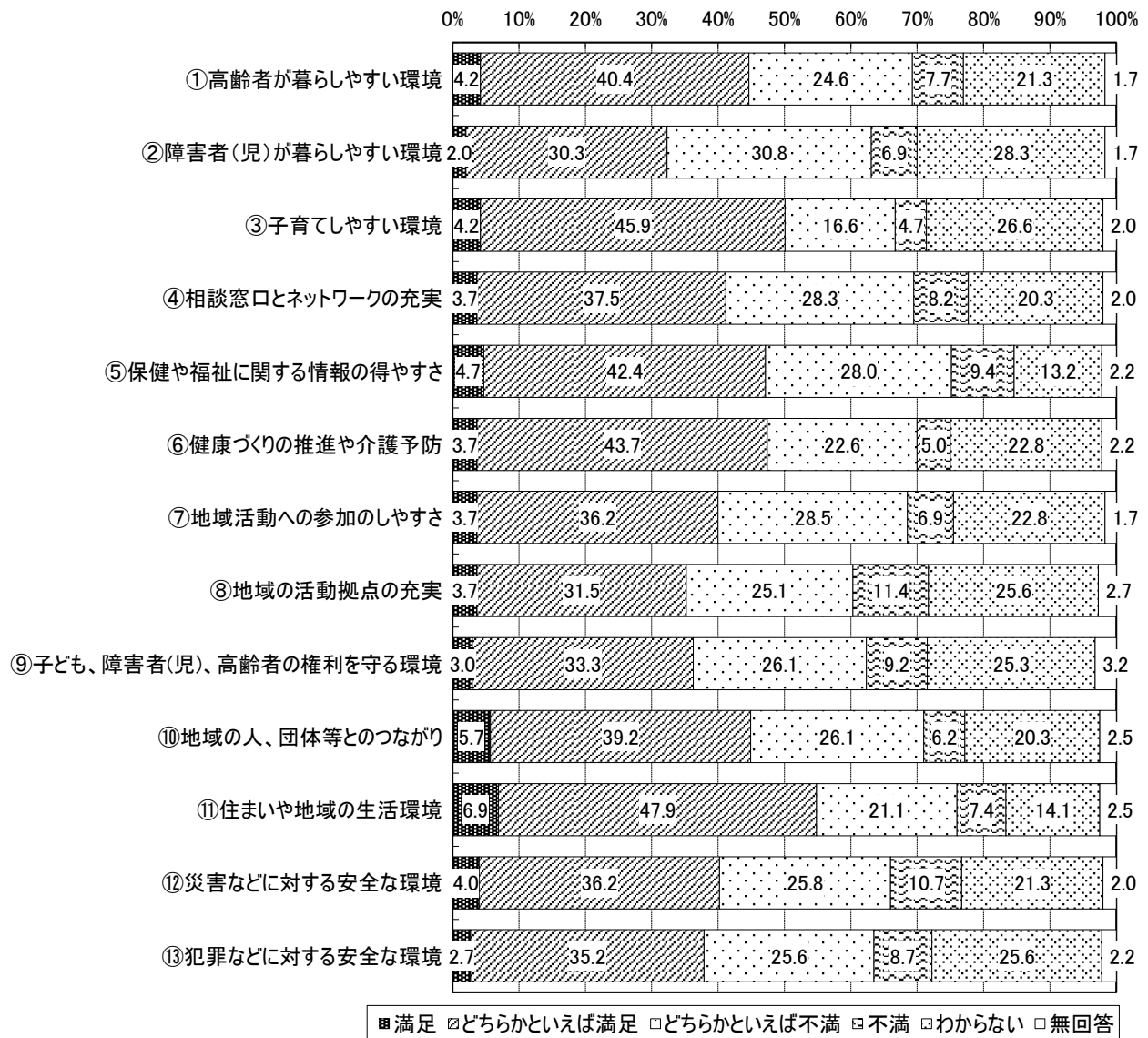
○「見守り・安否確認」が63.3%と最も多く、次いで「家族への連絡」が41.4%、「要支援者の避難支援」が31.5%などとなっています。

※「その他」の主な内容：福祉避難所の開設、避難場所としての開放、情報提供など

地域の状況と地域福祉を進めるための取組について

問11 現在お住いの地域での暮らしに関する環境についてどのように感じていますか。

(①～⑬のそれぞれの項目ごとに○は1つ)

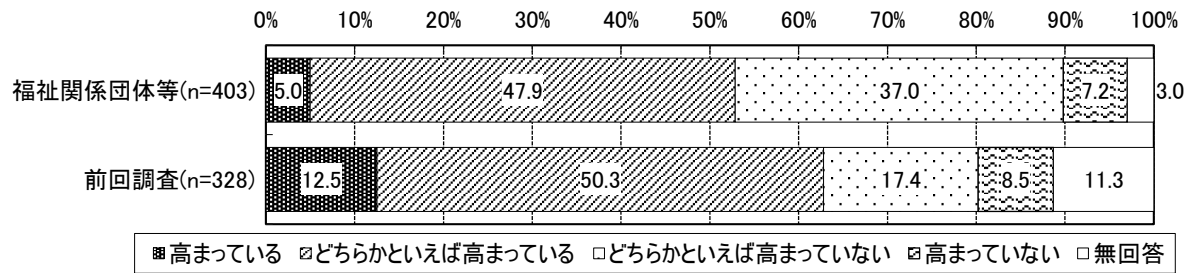


○居住地での暮らしに関する環境について13項目にわたり、満足か不満かを尋ねたところ、「⑪住まいや地域の生活環境」は「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人が合わせて54.8%、「③子育てしやすい環境」も50.1%と半数以上の人が満足感を示しています。

○これに次いで満足感が高いものは順に「⑥健康づくりの推進や介護予防」が47.4%、「⑤保健や福祉に関する情報の得やすさ」が47.1%、「⑩地域の人、団体等とのつながり」が44.9%、「①高齢者が暮らしやすい環境」が44.6%、「④相談窓口とネットワークの充実」が41.2%、「⑫災害などに対する安全な環境」が40.2%、「⑦地域活動への参加のしやすさ」が39.9%などとなっています。

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

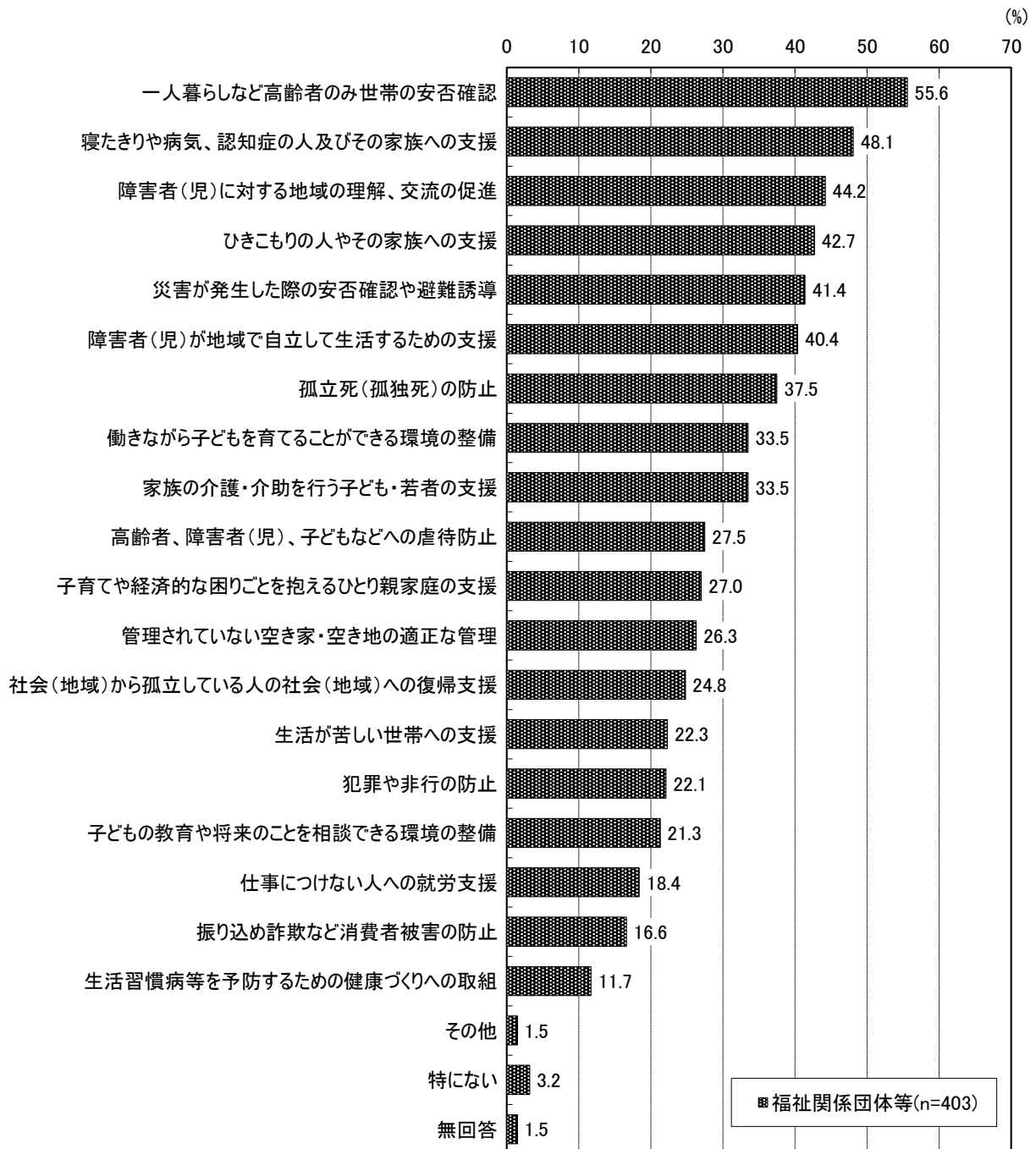
問12 活動されている中で、地域における地域福祉に対する意識は高まっていると感じますか。
(○は1つ)



○「どちらかといえば高まっている」が47.9%、「どちらかといえば高まっていない」が37.0%、「高まっていない」が7.2%、「高まっている」が5.0%と、前回調査の結果と比べて、地域における地域福祉に対する意識は高まっていると感じている人は少なくなっています。

問13 寝屋川市内で日頃気になっていたり、課題と感じていることはありますか。

(○はいくつでも)



○「一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認」が55.6%と最も多く、次いで「寝たきりや病気、認知症の人及びその家族への支援」が48.1%、「障害者(児)に対する地域の理解、交流の促進」が44.2%、「ひきこもりの人やその家族への支援」が42.7%、「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」が41.4%、「障害者(児)が地域で自立して生活するための支援」が40.4%、「孤立死(孤独死)の防止」が37.5%、「働きながら子どもを育てることができる環境の整備」と「家族の介護・介助を行う子ども・若者の支援」がそれぞれ33.5%の順となっています。

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

※「その他」の主な内容：身寄りのない夫婦や生活保護に掛からない高齢者の施設入所に関わる保証人の問題（後見等の手続きに時間が掛かる）、自立した人が少ない、防災に関して自助の関心のうすさ等、災害時の避難誘導に関してひきこもり者に対しての情報共有 など

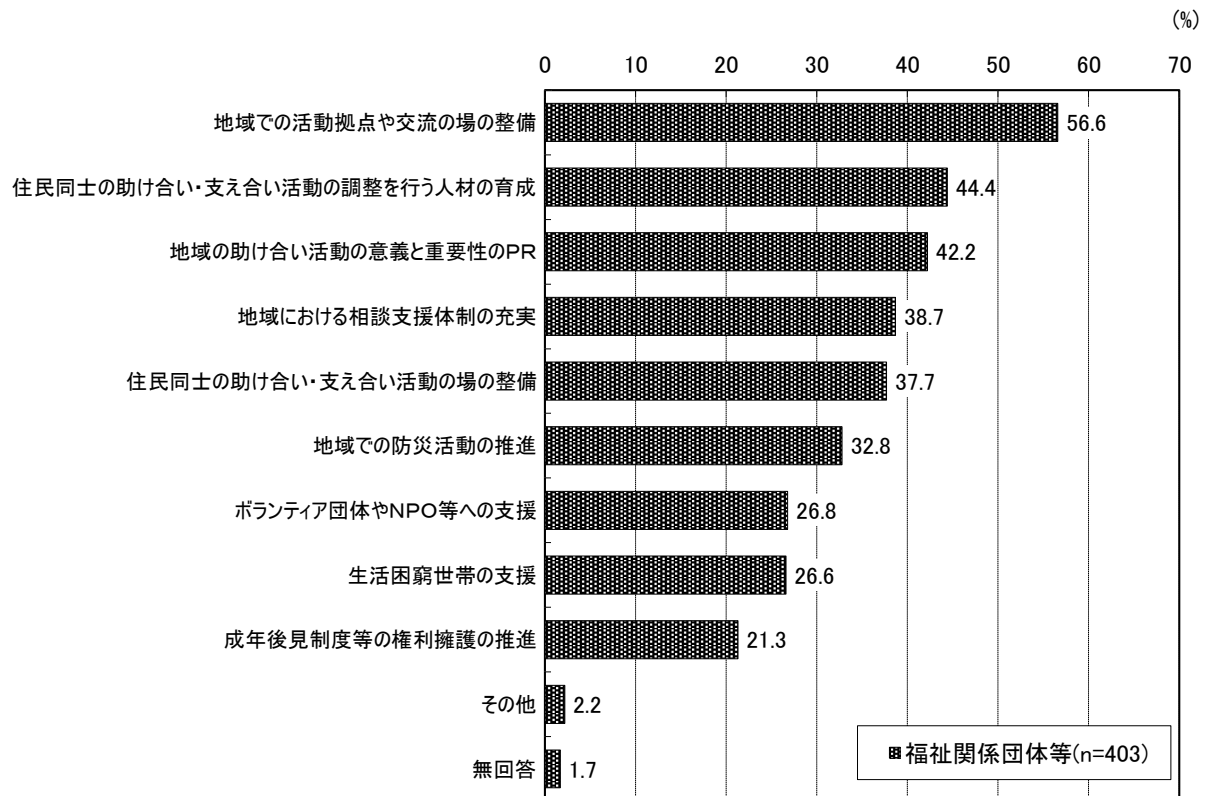
◆その問題について、貴団体が対応できるもの・対応できないものにはどんなことがあげられますか。差しつかえのない範囲でお書きください。

○障害について正しく理解してもらうための情報提供。様々なしんどい状況にある子どもさんが、周りを頼れたり、周りも無関心にならないように、我が事として考えるためのワークショップの実施。

○引きこもりや社会的孤立の相談が法人全体を通して増えている。何らかの疾患名、障害の名がつけば、契約を結んでの支援という形でコンスタントな関わりにつなぐことができるが、受診・往診の受け入れに至らない人、支援拒否の人などは、結局本格介入に至らずに行政（保健所）へ戻すことになる。そういった「制度の狭間の人」への対応について難しさを感じる。

○ひきこもりやヤングケアラーがいる家庭は多くある。こちらが直接支援している方が当事者であれば対応できるが、ご兄弟が当事者であればなかなか対応は難しく思う。 など

問14 身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、市や団体がどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（○はいくつでも可）



○「地域での活動拠点や交流の場の整備」が56.6%と最も多く、次いで「住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成」が44.4%、「地域の助け合い活動の意義と重要性のPR」が42.2%、「地域における相談支援体制の充実」が38.7%、「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」が37.7%、「地域での防災活動の推進」が32.8%の順となっています。

※「その他」の主な内容：アウトリーチ型支援を通して個々の問題の把握、自治会に代わる新たな組織（全世帯参加）の構築、時代にあった自治会等の運営、魅力のある活動への工夫を一緒に考えたい、行政と民間の協働、何らかのポイント等ボランティア、窓口対応の柔軟さ など

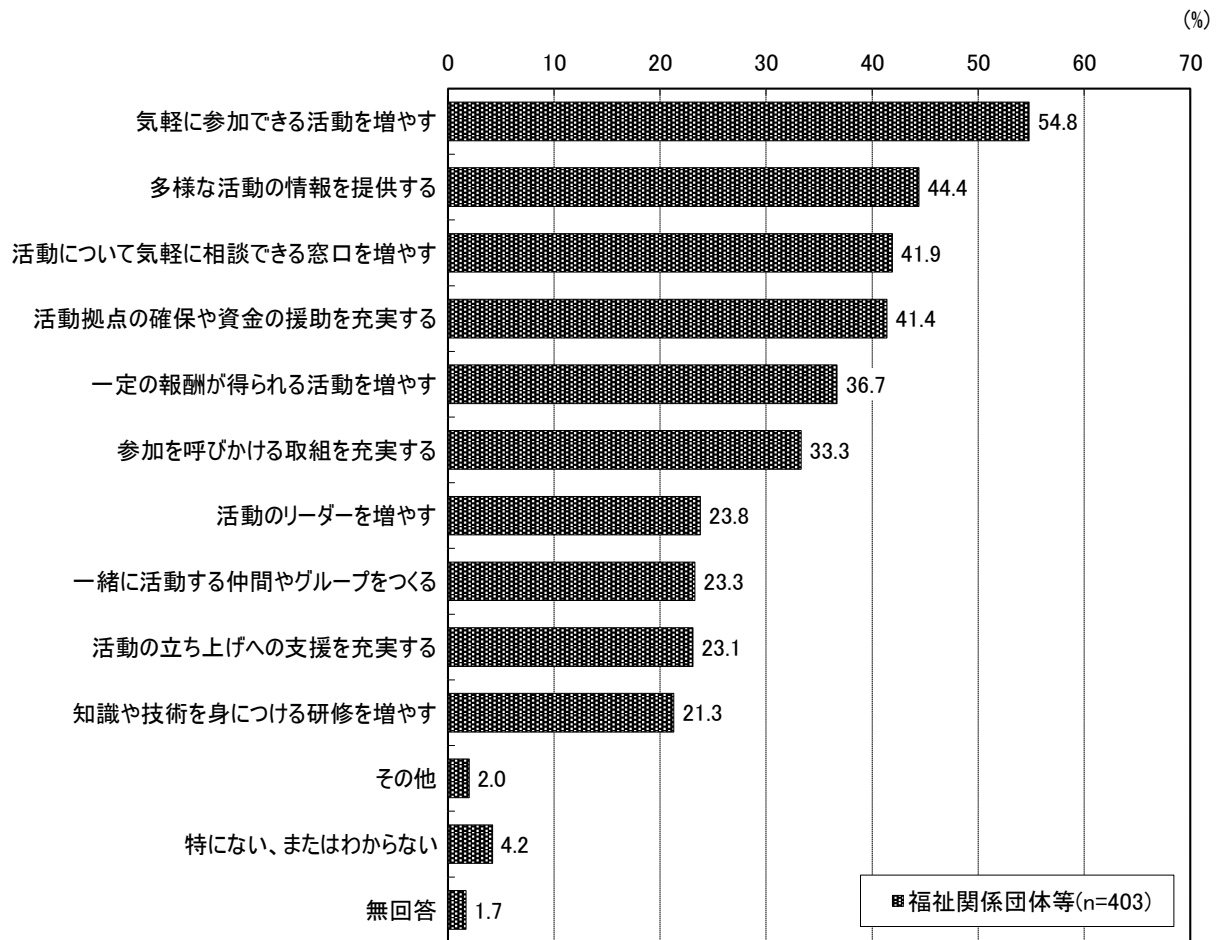
Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

(活動分野とのクロス集計結果)

	福祉関係 団体等 (n=403)	高齢者 の支援 (n=223)	障害者（児） の支援 (n=174)	子どもの育成や 子育て家庭の支援 (n=130)	健康づくり (n=65)
地域での活動拠点や交流 の場の整備	56.6	56.5	53.4	57.7	61.5
地域の助け合い活動の意 義と重要性のPR	42.2	46.2	34.5	50.8	53.8
住民同士の助け合い・支 え合い活動の場の整備	37.7	38.1	31.0	39.2	40.0
住民同士の助け合い・支 え合い活動の調整を行う 人材の育成	44.4	47.1	44.3	46.9	56.9
地域における相談支援体 制の充実	38.7	43.5	42.0	40.8	44.6
ボランティア団体やNP O等への支援	26.8	26.9	27.6	26.2	27.7
地域での防災活動の推進	32.8	38.1	30.5	33.8	41.5
成年後見制度等の権利擁 護の推進	21.3	25.1	21.8	22.3	26.2
生活困窮世帯の支援	26.6	30.9	24.1	36.2	43.1
その他	2.2	2.2	2.3	1.5	3.1
無回答	1.7	1.8	1.7	1.5	1.5

※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問15 市民が福祉に関する活動にもっと参加するには、市や団体が行うどのような取組が“特に効果的”だと思いますか。(〇はいくつでも)



○「気軽に参加できる活動を増やす」が54.8%と最も多く、次いで「多様な活動の情報を提供する」が44.4%、「活動について気軽に相談できる窓口を増やす」が41.9%、「活動拠点の確保や資金の援助を充実する」が41.4%、「一定の報酬が得られる活動を増やす」が36.7%、「参加を呼びかける取組を充実する」が33.3%などとなっています。

※「その他」の主な内容：対応窓口を広げ対応職員にきちんとした接遇を身に着けることが大切、子どもたちへの教育の場面での取組、市職員が率先してほしい、自分の問題として捉えられるような取組、古い概念を絶つ、わかりやすい情報提供 など

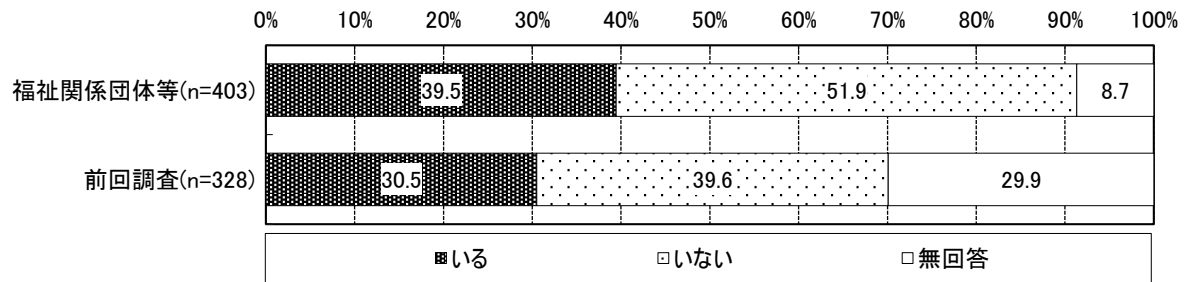
Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

(活動分野とのクロス集計結果)

	福祉関係 団体等 (n=403)	高齢者 の支援 (n=223)	障害者（児） の支援 (n=174)	子どもの育成や 子育て家庭の支援 (n=130)	健康づくり (n=65)
多様な活動の情報を提供する	44. 4	44. 8	43. 7	39. 2	43. 1
活動について気軽に相談 できる窓口を増やす	41. 9	43. 0	43. 7	39. 2	46. 2
知識や技術を身につける 研修を増やす	21. 3	21. 5	22. 4	19. 2	24. 6
参加を呼びかける取組を 充実する	33. 3	38. 1	26. 4	44. 6	41. 5
気軽に参加できる活動を 増やす	54. 8	56. 1	56. 9	57. 7	58. 5
一定の報酬が得られる活 動を増やす	36. 7	39. 5	32. 8	43. 8	40. 0
一緒に活動する仲間やグ ループをつくる	23. 3	24. 7	24. 7	26. 9	41. 5
活動のリーダーを増やす	23. 8	28. 3	25. 9	29. 2	43. 1
活動の立ち上げへの支援 を充実する	23. 1	21. 5	20. 7	26. 2	32. 3
活動拠点の確保や資金の 援助を充実する	41. 4	41. 7	40. 8	43. 8	44. 6
その他	2. 0	2. 7	2. 3	3. 1	1. 5
特になし、またはわから ない	4. 2	4. 5	2. 3	3. 1	3. 1
無回答	1. 7	2. 2	1. 1	2. 3	3. 1

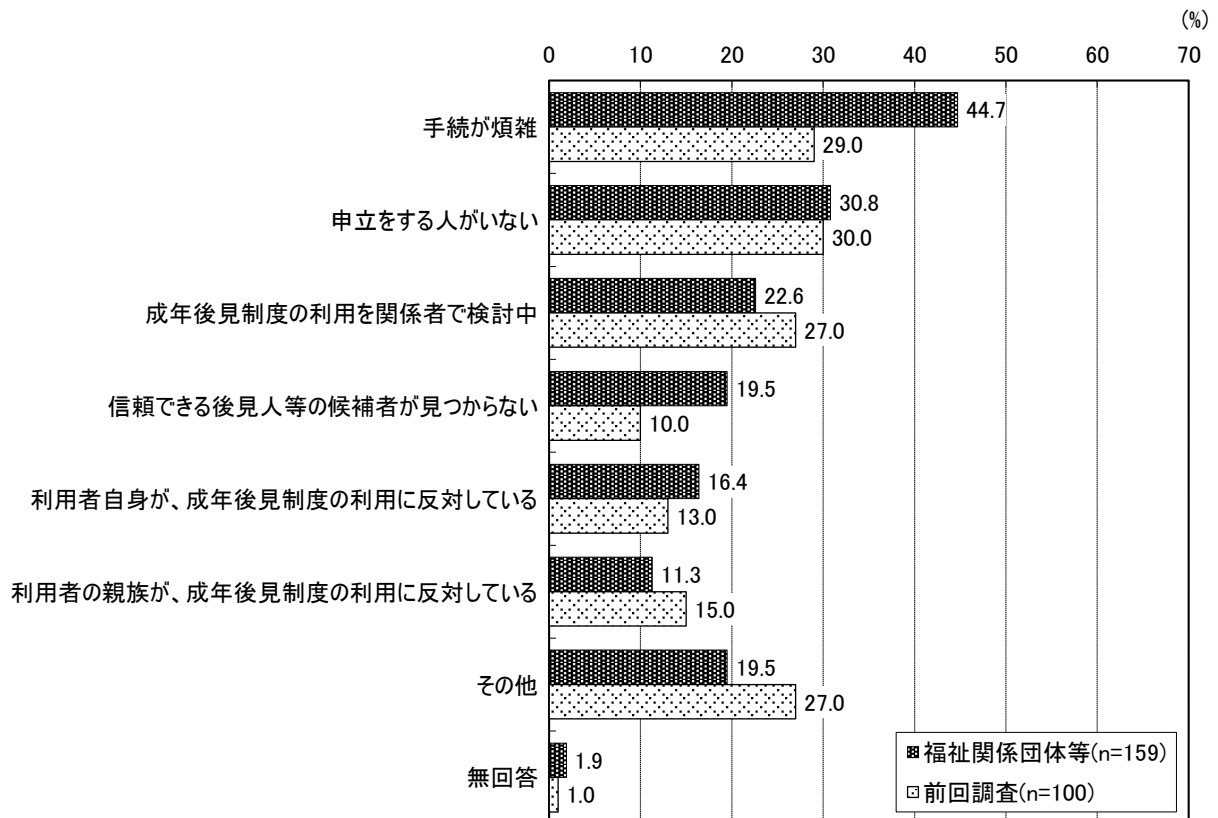
※濃い網かけは全体構成比より10ポイント以上、薄い網かけは5ポイント以上高いもの

問16 利用者等で成年後見制度の利用が必要だと考えられる人がいますか。また、そのような人がいる場合で、制度の利用に至っていない人の理由は何ですか。



○「いる」と答えた人が39.5%、「いない」と答えた人が51.9%となっており、前回調査の結果と比べて、成年後見制度の利用が必要だと考えられる人がいると答える人が増えています。

(制度の利用に至っていない人の理由)



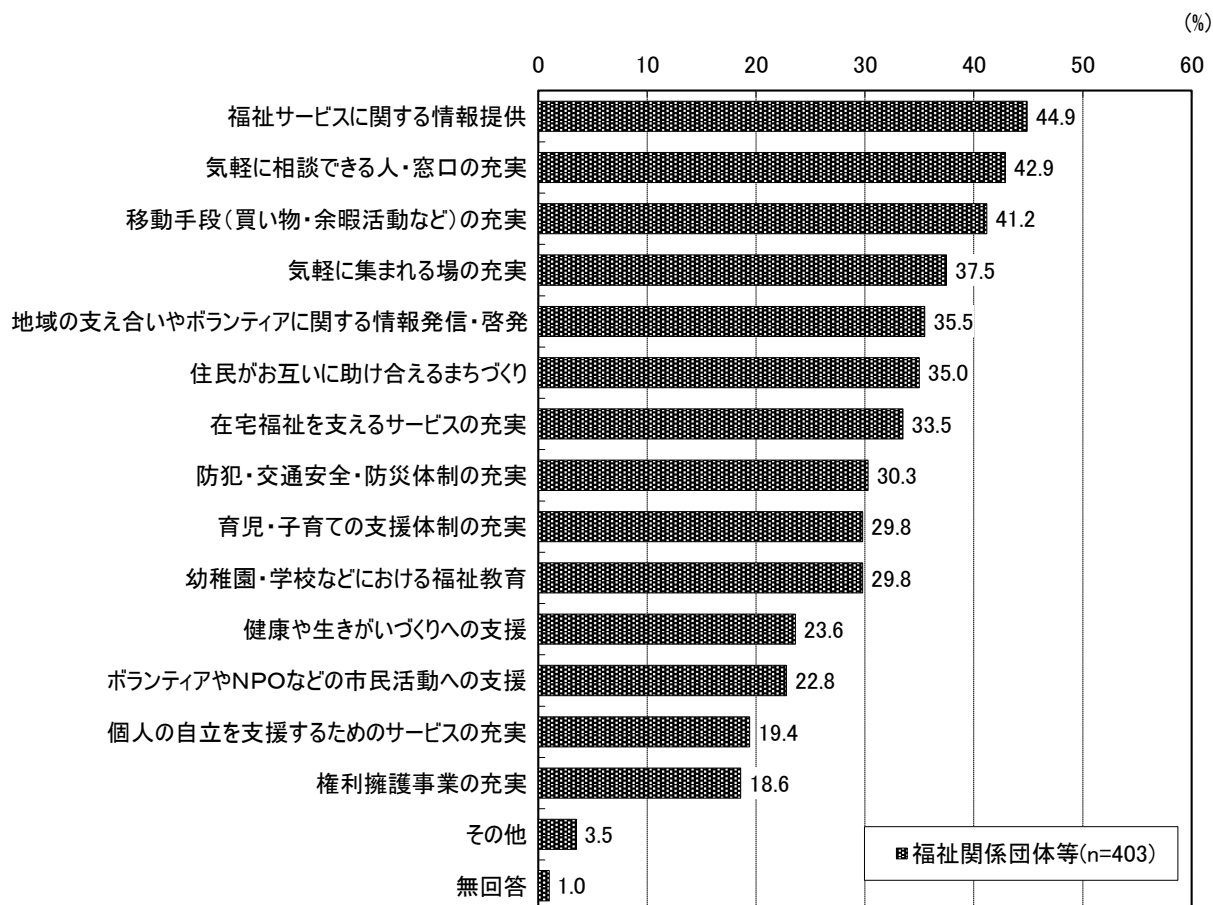
○「手続が煩雑」が44.7%と最も多く、前回調査の結果より増えています。これに次いで「申立をする人がいない」が30.8%、「成年後見制度の利用を関係者で検討中」が22.6%、「信頼できる後見人等の候補者が見つからない」が19.5%などとなっています。

※「その他」の主な内容：費用がかかる、時間がかかる、制度について理解されていない など

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

問17 今後、寝屋川市としてどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。

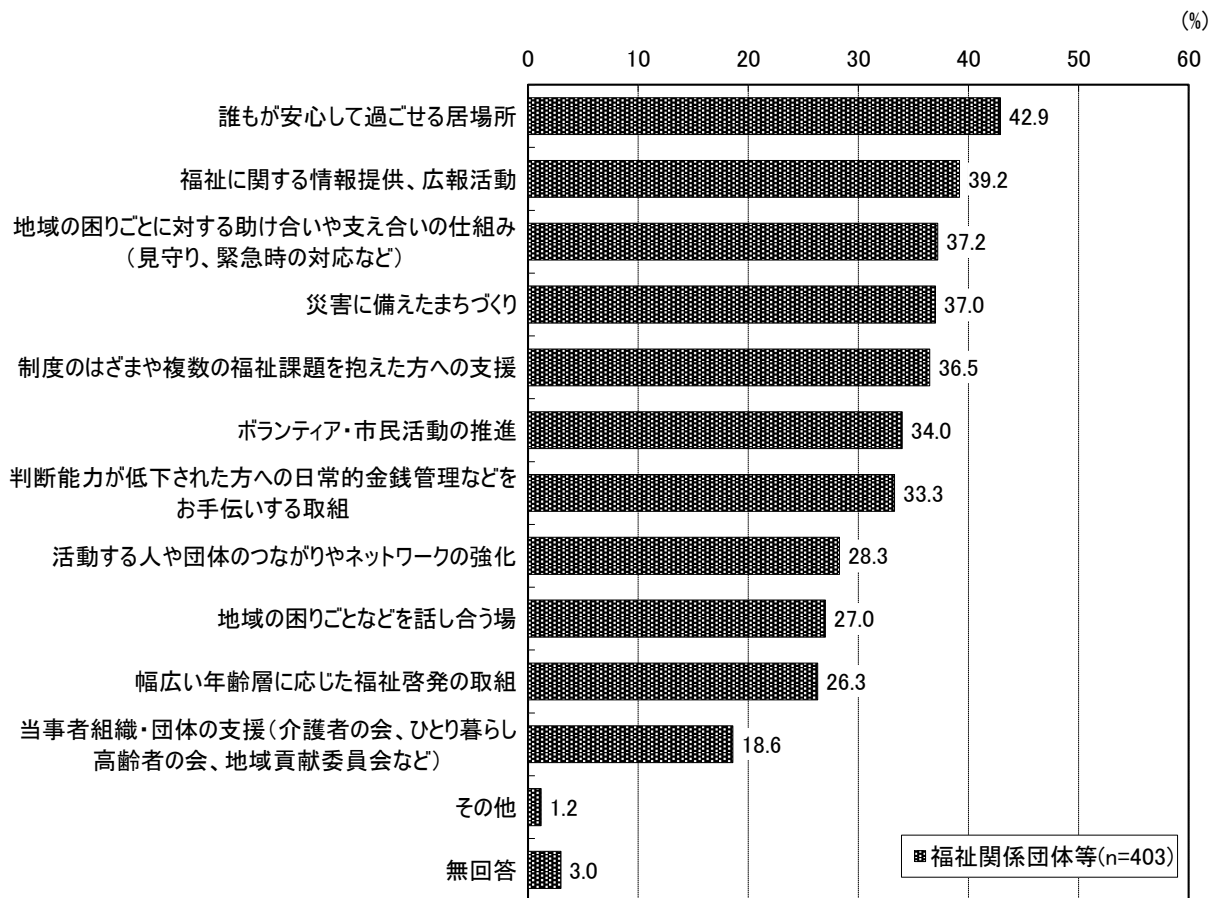
(○はいくつでも)



○「福祉サービスに関する情報提供」が44.9%と最も多く、「気軽に相談できる人・窓口の充実」が42.9%、「移動手段(買い物・余暇活動など)の充実」が41.2%、「気軽に集まれる場の充実」が37.5%、「地域の支え合いやボランティアに関する情報発信・啓発」が35.5%、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」が35.0%、「在宅福祉を支えるサービスの充実」が33.5%、「防犯・交通安全・防災体制の充実」が30.3%などの順となっています。

※「その他」の主な内容：高齢者が働けるまちづくり、高齢者の健康づくりのサポート、専門的な相談の窓口設置、独居・引きこもり高齢者への支援、福祉従事者の基本給の向上、保護者・幼稚園・学校の先生への福祉教育 など

問18 社会福祉協議会の活動で、今後充実してほしいものはどれですか。(〇はいくつでも)



○「誰もが安心して過ごせる居場所」が42.9%と最も多く、次いで「福祉に関する情報提供、広報活動」が39.2%、「地域の困りごとに対する助け合いや支え合いの仕組み（見守り、緊急時の対応など）」が37.2%、「災害に備えたまちづくり」が37.0%、「制度のはざまや複数の福祉課題を抱えた方への支援」が36.5%、「ボランティア・市民活動の推進」が34.0%。「判断能力が低下された方への日常的金銭管理などをお手伝いする取組」が33.3%の順となっています。

※「その他」の内容：土日祝日などの休日ワーク、相談窓口の開設、職員を増やし地域にもっと入っていくべき、活動内容がよくわからない

Ⅲ 福祉関係団体等アンケートの結果

問19 寝屋川市における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けて、貴団体として現在取り組んでいること、今後新たに取り組んでみたいことがありましたら、自由にお書きください。

○介護を必要としている人が、サービスを利用したいが手順がわからなく困っている人が多い。
本当に困っている人に対しての対応が十分ではないので、相談しやすい場所をつくり案内してあげたい。

○地域住民が孤立することのないよう、校区福祉委員会を中心として地域住民同士の見守り活動を実施するとともに、そこから発見した地域住民の課題を解決するため、様々な関係機関と連携しつつ支援を行っています。今後はこの地域活動が持続可能となるよう、地域住民のボランティア活動参加に関する方策の検討及び実施、また、これまで以上に地域住民と福祉施設などの専門機関などとの連携を強め、支援体制の充実を図っていく必要があります。

○地域福祉の問題点、課題を集約し、関係機関との情報共有とともに、早期解決のため校区民生委員・児童委員との話し合う場を重ね、より良い解決策が講じられるよう、情報の収集に努めております。子どもたちへ民生委員・児童委員として喜んでもらえる行事、あるいは他のグループと協力して行事の開催など。

○認知症介護に長年携わってきたことを少しでも地域へ還元し、認知症になっても安心して今までの生活が継続できるようなまちを増やし、認知症介護をしている家族への理解を深めて地域全体で見守っていけるように取り組んでいきたいと考えています。 など

◆最後に、地域における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けたご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

- 60代、70代の方々の力を活用した地域活動でもっと高齢の方を支え、お互いに活力をもらえるような活動機会が増えればと思います。
- 人材育成が急務かと感じております。地域の活動員さんも高齢化している現状に、若い活動員さんが気軽に参加できる地域になりますように。これまでのやり方を大切にしながらも、若い人たちに新しい風を吹き込んでいただけるようになれば、空気は変わるのではないかと感じるこの頃です。
- 校区福祉委員、民生委員、自治会役員等が高齢化しており、次世代が育っていないように感じる。若い世代でも自地域に興味を持ってもらえるように、何かを考えていきたい。
- 寝屋川市では活発な地域ボランティアの活動が続いていることを知らない若い世代の市民に知ってもらうことで、次の担い手を増やしていく必要が常にあります。
- 暮らしやすい地域とは、必要な情報にアクセスできて、何か困りごとがあれば相談できる場（窓口）や人が複数あることだと思います。行政をはじめ、支援機関同士で情報交換をしたり、連携しながら協働して地域生活を支える活動を行っていきたい。 など

①18歳以上の市民の方

地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査

～ご協力のお願い～

皆様には、日頃より市政の推進に対して、温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、寝屋川市では、令和3年3月に「第4次寝屋川市地域福祉計画」を策定し、お住まいの地域における助け合いや支え合いの仕組みづくり、福祉活動などの支援・育成などに努めてきましたが、令和7年度をもって計画期間が終了いたします。

これに伴い、次期計画の策定にあたり市内にお住まいの皆様を対象に、地域を取り巻く環境や地域福祉に対するお考えなどをお伺いしたく、アンケート調査をお願いすることといたしました。ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご理解・ご協力をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、皆様からのご回答内容は統計的に処理し、計画策定及び今後の地域福祉活動推進に向けた基礎資料として使用いたします。個々の調査票を公表したり、調査目的以外に使用することはありません。

令和6年9月

寝屋川市

<ご記入に当たってのお願い>

- 1 調査票の対象者は、寝屋川市在住の18歳以上の市民3,500人を無作為に抽出させていただいております。
- 2 調査票の記入に当たっては、お送りした封筒に記載されている宛て名のご本人がお答えください。ご本人が病気、障害などのためご家族の方などが代わりに記入される場合は、ご本人のご意見に基づいて記入していただきますようお願いいたします。
- 3 各質問には、**令和6年9月1日現在**の状況でお答えください。
- 4 質問への回答は、あてはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接ご記入いただくものがあります。質問によって選んでいただく数を「1つ」「いくつでも」などと指定しています。
- 5 記入が終わりましたら、記入漏れや記入ミス等がないか確認していただいた上で、**無記名のまま**同封の返信用封筒に入れて、**9月30日(月)までに**投函してください。
- 6 次のアドレスまたは二次元バーコードからインターネットを通じてご回答いただくことも可能です。(調査票の返送は不要です)
https://enquete.cc/q/neyagawa_rw



この調査についてのご質問などは、下記へお問い合わせください。

寝屋川市 福祉部 福祉総務課

電話：072-838-0171（直通） ファックス：072-838-9800

E-mail: fukushi@city.neyagawa.osaka.jp

①18歳以上の市民の方

あなたとご家族について

問1 あなたとご家族に関して、①から⑤のそれぞれについてあてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

①あなたの性別	1 男性	2 女性	3 その他	4 答えたくない
②あなたの年齢	1 18・19歳	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～34歳
	5 35～39歳	6 40～44歳	7 45～49歳	8 50～54歳
	9 55～59歳	10 60～64歳	11 65～69歳	12 70～74歳
	13 75～79歳	14 80～84歳	15 85～89歳	16 90歳以上
③現在同居されている世帯の構成	1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ		
	3 親と子ども（二世世代世帯）	4 親と子どもと孫（三世世代世帯）		
	5 その他（	）		
④同居家族の中におられる方 （○はいくつでも、あなたご自身も含みます）	1 小学校入学前の子ども	2 小・中学生の子ども		
	3 高校生年代の子ども	4 ひとり親家庭の親子		
	5 18歳未満の子どもが3人以上いる多子世帯			
	6 不登校の人	7 閉じこもりやひきこもりの人		
	8 障害のある人（子ども）	9 介護が必要な高齢者		
	10 経済的に困っている人	11 その他（		
	12 あてはまる人は誰もいない	）		
⑤お住まいの地域 （小学校区）	1 池田	2 石津	3 宇谷	4 神田
	5 北	6 木田	7 楠根	8 国松緑丘
	9 啓明	10 木屋	11 桜	12 点野
	13 成美	14 田井	15 第五	16 中央
	17 西	18 望が丘	19 東	20 堀溝
	21 三井	22 南	23 和光	24 わからない

地域の助け合い・支え合いについて

問2 通勤や通学は除いて、あなたが日常の買物、活動などで行動する範囲は、次のどれに近いですか。(○は1つ)

1 自治会・町内会の範囲	2 小学校区の範囲
3 中学校区の範囲	4 コミュニティセンターエリア(2つの中学校区)の範囲
5 寝屋川市の半分ぐらいの範囲	6 寝屋川市の全域
7 寝屋川市を超えた範囲	8 その他（ ）

①18歳以上の市民の方

問3 近所の人との程度の交流がありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1 困ったときには相談したり助け合う人がある |
| 2 家を行き来するような親しい人がある |
| 3 道などで会えば親しく話をする人がある |
| 4 あいさつをする程度 |
| 5 ほとんど(全く)つきあいはない |
| 6 どんな人が住んでいるのかわからない |
| 7 その他() |

問4 あなたのご家庭は、お住まいの自治会に加入していますか。(〇は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1 加入している |
| 2 自治会はあるが、加入していない |
| 3 住んでいるところに自治会があるかどうかかわからない |
| 4 加入しているかわからない |

問5 あなたご自身やご家族は地域で何らかの役割(役職)を務めていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 民生委員・児童委員 | 2 自治会の役員 |
| 3 赤十字奉仕団員 | 4 校区福祉委員 |
| 5 消防団員 | 6 スポーツ少年団の指導者 |
| 7 子育て支援関係団体 | 8 子ども会・育成会の役員 |
| 9 防犯・交通安全関係団体 | 10 老人クラブの役員 |
| 11 認知症サポーター | 12 保護司 |
| 13 その他() | 14 特になし |

問6 ご自宅、学校、職場以外に、あなたには安心できる、人とのつながりを実感できる場所や活動(居場所)がありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 趣味などのサークル活動 | 2 ボランティア・社会貢献活動 |
| 3 自治会・老人クラブなどの地域活動 | 4 喫茶店・カフェ・居酒屋等の飲食店 |
| 5 身近なサロン・集いの場 | 6 公共施設(図書館、公民館など) |
| 7 公園 | 8 販売店(商店街、スーパーなど) |
| 9 その他() | 10 特になし |

①18歳以上の市民の方

問7 現在お住いの地域での暮らしに関する環境についてどのように感じていますか。(①～⑬のそれぞれの項目ごとに〇は1つ)

	満足	えは満足 どちらかとい	えは不満 どちらかとい	不満	わからない
①高齢者が暮らしやすい環境	1	2	3	4	5
②障害者(児)が暮らしやすい環境	1	2	3	4	5
③子育てしやすい環境	1	2	3	4	5
④相談窓口とネットワークの充実	1	2	3	4	5
⑤保健や福祉に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	5
⑥健康づくりの推進や介護予防	1	2	3	4	5
⑦地域活動への参加のしやすさ	1	2	3	4	5
⑧地域の活動拠点の充実	1	2	3	4	5
⑨子ども、障害者(児)、高齢者の権利を守る環境	1	2	3	4	5
⑩地域の人、団体等とのつながり	1	2	3	4	5
⑪住まいや地域の生活環境	1	2	3	4	5
⑫災害などに対する安全な環境	1	2	3	4	5
⑬犯罪などに対する安全な環境	1	2	3	4	5

問8 これからもお住いの地域に住み続けたいですか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------|
| 1 住んでいる地域に住み続けたい |
| 2 寝屋川市内の他の地域に引っ越したい |
| 3 寝屋川市外に引っ越したい |
| 4 その他() |
| 5 わからない |

問9 今後、ご近所とおつきあいのなかで、あなたが「手助けをしてほしい」と思うことがありますか。また逆に、あなたご自身ができそうなこと、やってみたいと思うことがありますか。(①②のそれぞれの項目について〇はいくつでも)

	①手助けをしてほしいこと	②できそうなこと、やってみたいこと
1 話し相手	1	1
2 悩み事、心配事の相談	2	2
3 外出の付き添い	3	3

①18歳以上の市民の方

	①手助けをしてほしいこと	②できそうなこと、やってみたいこと
4 ちょっとした買い物や家事	4	4
5 日常の買い物や家事	5	5
6 子どもの見守り	6	6
7 高齢者の見守り・声かけ	7	7
8 支援の必要な人の介護や介助	8	8
9 カ仕事や屋外の掃除	9	9
10 ごみ出し	10	10
11 緊急時の看病	11	11
12 災害時の避難	12	12
13 その他（ ）	13	13
14 特にない	14	14

問10 あなたの防災に対する日頃からの取組や、災害など緊急時の対応について、お聞かせください。(①～⑥のそれぞれの項目ごとに○は1つ)

	はい	いいえ
①災害時の避難場所について知っていますか	1	2
②災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2
③隣近所で、自力で避難が困難と思われる人（ひとり暮らし高齢者や障害のある人など）を知っていますか	1	2
④自力で避難が困難と思われる人の避難支援者になってもよいですか	1	2
⑤日頃から地域の防災訓練に参加していますか	1	2
⑥地域に自主防災組織があることを知っていますか	1	2

問11 大地震などの災害が起こった時に、あなたはご家族以外で、支援が必要な人のためにどのような助け合いや協力ができますか。(○はいくつでも)

1 安否確認	2 災害状況や避難情報の伝達
3 安全な場所への避難の手助け	4 家族や親族への連絡
5 一時的な保護	6 生活必需品の確保
7 介護や手当てが必要な人への対応	8 精神的なケア
9 協力できない、または難しい	10 その他（ ）
11 わからない	

①18歳以上の市民の方

問12 お住まいの地域で日頃気になっていたり、課題と感じていることはありますか。(○はいくつでも)

1 一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認
2 寝たきりや病気、認知症の人及びその家族への支援
3 障害者（児）が地域で自立して生活するための支援
4 障害者（児）に対する地域の理解、交流の促進
5 生活習慣病等を予防するための健康づくりへの取組
6 働きながら子どもを育てることができる環境の整備
7 子どもの教育や将来のことを相談できる環境の整備
8 高齢者、障害者（児）、子どもなどへの虐待防止
9 孤立死（孤独死）の防止
10 ひきこもりの人やその家族への支援
11 家族の介護・介助を行う子ども・若者の支援
12 子育てや経済的な困りごとを抱えるひとり親家庭の支援
13 犯罪や非行の防止
14 災害が発生した際の安否確認や避難誘導
15 管理されていない空き家・空き地の適正な管理
16 振り込め詐欺など消費者被害の防止
17 仕事につけない人への就労支援
18 生活が苦しい世帯への支援
19 社会（地域）から孤立している人の社会（地域）への復帰支援
20 その他（ ）
21 特にない

問13 孤独や孤立について、あなたにあてはまるものはありますか。(①～③のそれぞれの項目ごとに○は1つ)

	全くない	ほとんどない	たまにある	しばしばある	常にある
①自分には人とのつきあいがいないと感じることがある	1	2	3	4	5
②自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4	5
③自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4	5

①18歳以上の市民の方

問14 身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 地域での活動拠点や交流の場の整備 |
| 2 | 地域の助け合い活動の意義と重要性のPR |
| 3 | 住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備 |
| 4 | 住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成 |
| 5 | 地域における相談支援体制の充実 |
| 6 | ボランティア団体やNPO等への支援 |
| 7 | 地域での防災活動の推進 |
| 8 | 成年後見制度等の権利擁護の推進 |
| 9 | 生活困窮世帯の支援 |
| 10 | その他() |

生活課題や福祉制度・サービスについて

問15 市の福祉に関する情報を得る手段はどれですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----|-----------------|----|--------------------|
| 1 | 市の広報誌 | 2 | 社会福祉協議会その他福祉団体の広報誌 |
| 3 | 公共施設の掲示やパンフレット | 4 | 自治会の回覧板 |
| 5 | 新聞、テレビなど | 6 | ホームページ、インターネットなど |
| 7 | 市の公式アプリ(もっと寝屋川) | 8 | SNS |
| 9 | 家族、友人、知人など | 10 | 寝屋川市・大阪府等の公的な相談窓口 |
| 11 | その他() | | |

問16 これまで福祉、介護、子育てなどで困ったときに相談したことがある人(ところ)がありますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----|-----------------------------|----|-------------------|
| 1 | 家族や親族 | 2 | 近所の人 |
| 3 | 友人や知人・職場の同僚 | 4 | 民生委員や校区福祉委員 |
| 5 | 寝屋川市の公的な相談窓口 | 6 | 大阪府の公的な相談窓口 |
| 7 | 地域包括支援センター(高齢者の総合相談窓口) | | |
| 8 | 地域子育て支援拠点(子育て支援センター・つどいの広場) | | |
| 9 | 子育て世代包括支援センター | 10 | 障害者・障害児の相談支援事業所 |
| 11 | 福祉の施設やサービス提供事業所 | 12 | 医療機関(病院・診療所など)や薬局 |
| 13 | 学校・幼稚園・保育所(園)・認定こども園 | 14 | まちかど福祉相談所 |
| 15 | 社会福祉協議会 | 16 | その他() |
| 17 | 相談しなかったが、だれ(どこ)にも相談していない | | |
| 18 | 相談するような困ったことはなかった | | |

①18歳以上の市民の方

問17 あなたやご家族が抱える悩みについて、市に相談するときに困ったことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | どこに相談すればいいかわからなかった |
| 2 | 要件を満たさず必要な支援を受けることができなかった |
| 3 | 相談する部署が複数あった |
| 4 | その他() |
| 5 | 特にない |

問18 「成年後見制度」を知っていますか。(〇は1つ)

- | | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|------|
| 1 | よく知っている | 2 | 聞いたことがある | 3 | 知らない |
|---|---------|---|----------|---|------|

問19 あなたご自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|-------|
| 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | わからない |
|---|----|---|-----|---|-------|

→ 問19-1 問19で「1 はい」と答えた方におたずねします。「成年後見制度」を利用するにあたり、不安があれば教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 費用がどのくらいかかるかわからない |
| 2 | 手続きが大変そう |
| 3 | 後見人になって欲しい人が見当たらない |
| 4 | 他人(家族含む)に財産などを任せること |
| 5 | 家族・親族との信頼関係 |
| 6 | その他() |
| 7 | 特にない |

→ 問19-2 問19で「2 いいえ」と答えた方におたずねします。「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 後見人でなくても家族がいるから |
| 2 | 費用がどのくらいかかるか心配だから |
| 3 | 家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから |
| 4 | 手続きが大変そうだから |
| 5 | 後見人になって欲しい人が見当たらないから |
| 6 | 他人(家族含む)に財産などを任せることに不安があるから |
| 7 | 家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがあるから |
| 8 | どういうときに利用してよいかわからないから |
| 9 | その他() |

①18歳以上の市民の方

問20 あなたは、「市民後見人」について知っていますか。(〇は1つ)

1 よく知っている 2 聞いたことがある 3 知らない(問21へ)

→ 問20で「1 よく知っている」「2 聞いたことがある」と答えた方におたずねします。

問20-1 あなたご自身が認知症などで判断が十分にできなくなったときに、「市民後見人」を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

1 はい 2 いいえ 3 わからない

問20-2 「市民後見人」として活動したいと思いますか。(〇は1つ)

1 活動したい 2 活動したくない 3 わからない

問21 再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

1 両方とも聞いたことがある
2 「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある
3 「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある
4 両方とも聞いたことがない

問22 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが困難になったとして、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

1 就労その他の自立に関する相談支援を行う事業
2 離職により住居を失った人、または失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業
3 就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業
4 住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を行う事業
5 家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業
6 経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業
7 その他()
8 わからない

①18歳以上の市民の方

福祉との関わりや福祉活動について

問23 福祉に関する次のような活動に参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。(①～④のそれぞれの項目について〇はいくつでも)

	運営スタッフとして参加している	参加者として参加している	今後、運営スタッフとして参加してみたい	今後、参加者として参加してみたい	参加したいとは思わない
①自治会、地域協働協議会、校区福祉委員会(サロン)などの身近な地域での福祉活動	1	2	3	4	5
②ボランティア、NPOなどの団体での福祉活動	1	2	3	4	5
③同じ福祉ニーズや課題をもつ人どうしの当事者活動	1	2	3	4	5
④その他()	1	2	3	4	5

問24 市民が福祉に関する活動にもっと参加するには、どのような取組が“特に効果的”だと思いますか。(〇はいくつでも)

1 多様な活動の情報を提供する 2 活動について気軽に相談できる窓口を増やす
3 知識や技術を身につける研修を増やす 4 参加を呼びかける取組を充実する
5 気軽に参加できる活動を増やす 6 一定の報酬が得られる活動を増やす
7 一緒に活動する仲間やグループをつくる 8 活動のリーダーを増やす
9 活動の立ち上げへの支援を充実する 10 活動拠点の確保や資金の援助を充実する
11 その他() 12 特にない、またはわからない

問25 「第4次寝屋川市地域福祉計画」を知っていますか。また、計画に基づく活動や事業に関わったことがありますか。(〇は1つ)

1 そのような計画があることを知らない
2 計画があることは知っている
3 計画の内容を知っているが、計画に基づく活動や事業に関わったことはない
4 計画に基づく活動や事業に関わっている、または関わったことがある
5 その他()

①18歳以上の市民の方

問26 社会福祉協議会が行っている事業や活動について知っているものは何ですか。
(〇はいくつでも)

- 1 校区福祉委員会活動（ふれあいサロン、子育てサロン、見守り活動など）
- 2 まちかど福祉相談所（コミュニティソーシャルワーカー）
- 3 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業
- 4 ボランティアセンター（ボランティアの依頼・相談、災害ボランティアなど）
- 5 福祉教育（小・中学校での車イス体験、高齢者疑似体験など）
- 6 当事者組織・団体の支援（介護者の会、ひとり暮らし高齢者の会、地域貢献委員会など）
- 7 献血
- 8 高齢者や障害者の送迎サービス（移送サービス、外出援助サービス）
- 9 車イスの貸出し
- 10 元気アップ介護予防ポイント事業
- 11 募金・社協会費（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募集）
- 12 広報（社協だより「虹」、ホームページ、SNS）
- 13 生活困窮者自立支援事業（困窮者やひきこもり、就労等の相談支援）
- 14 生活福祉資金の貸付（生活費や就学費など）
- 15 日常生活自立支援事業（認知症や障害者の金銭管理等の支援）
- 16 善意銀行（金品の寄附の受付、払出し）
- 17 地域支え合い推進事業
- 18 その他（ ）

問27 社会福祉協議会の活動で、今後充実してほしいものはどれですか。
(〇はいくつでも)

- 1 福祉に関する情報提供、広報活動
- 2 ボランティア・市民活動の推進
- 3 災害に備えたまちづくり
- 4 幅広い年齢層に応じた福祉啓発の取組
- 5 誰もが安心して過ごせる居場所
- 6 地域の困りごとなどを話し合う場
- 7 地域の困りごとに対する助け合いや支え合いの仕組み（見守り、緊急時の対応など）
- 8 判断能力が低下された方への日常的な金銭管理などをお手伝いする取組
- 9 制度のはざまや複数の福祉課題を抱えた方への支援
- 10 当事者組織・団体の支援（介護者の会、ひとり暮らし高齢者の会、地域貢献委員会など）
- 11 活動する人や団体のつながりやネットワークの強化
- 12 その他（ ）

①18歳以上の市民の方

問28 民生委員・児童委員が行う活動として知っている内容を選んでください。
(〇はいくつでも)

- 1 日常生活の悩みや心配ごとの相談
- 2 福祉に関する情報提供
- 3 高齢者など支援が必要な人への訪問・見守り
- 4 児童に関する相談
- 5 その他（ ）
- 6 知っているものはない

問29 今後、寝屋川市としてどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

- 1 地域の支え合いやボランティアに関する情報発信・啓発
- 2 幼稚園・学校などにおける福祉教育
- 3 福祉サービスに関する情報提供
- 4 気軽に集まれる場の充実
- 5 住民がお互いに助け合えるまちづくり
- 6 気軽に相談できる人・窓口の充実
- 7 健康や生きがいづくりへの支援
- 8 育児・子育ての支援体制の充実
- 9 在宅福祉を支えるサービスの充実
- 10 個人の自立を支援するためのサービスの充実
- 11 ボランティアやNPOなどの市民活動への支援
- 12 移動手段（買い物・余暇活動など）の充実
- 13 権利擁護事業の充実
- 14 防犯・交通安全・防災体制の充実
- 15 その他（ ）

◆最後に、地域における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けたご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査

～ご協力のお願い～

皆様には、日頃より市政の推進に対して、温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、寝屋川市では、令和3年3月に「第4次寝屋川市地域福祉計画」を策定し、お住まいの地域における助け合いや支え合いの仕組みづくり、福祉活動などの支援・育成などに努めてきましたが、令和7年度をもって計画期間が終了いたします。

これに伴い、次期計画の策定にあたり市内において福祉活動を行っている皆様を対象に、地域を取り巻く環境や地域福祉に対するお考えなどをお伺いしたく、アンケート調査をお願いすることといたしました。ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご理解・ご協力をたまりませんよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、皆様からのご回答内容は統計的に処理し、計画策定及び今後の地域福祉活動推進に向けた基礎資料として使用いたします。個々の調査票を公表したり、調査目的以外に使用することはありません。

令和6年9月

寝屋川市

<ご記入に当たってのお願い>

- この調査票は、寝屋川市内で地域福祉に関わる活動・事業に取り組んでいる約600の団体をお願いしております。
- 各質問には、令和6年9月1日現在の状況でお答えください。
- 質問への回答は、あてはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接ご記入いただくものがあります。質問によって選んでいただく数を「1つ」「いくつでも」などと指定しています。
- 記入が終わりましたら、記入漏れや記入ミス等がないか確認していただいた上で、同封の返信用封筒に入れて、9月30日(月)までに投函してください。
- 次のアドレスまたは二次元バーコードからインターネットを通じてご回答いただくことも可能です。(調査票の返送は不要です)
https://enquete.cc/q/neyagawa_wg



この調査についてのご質問などは、下記へお問い合わせください。

寝屋川市 福祉部 福祉総務課

電話：072-838-0171（直通） ファックス：072-838-9800

E-mail: fukushi@city.neyagawa.osaka.jp

貴団体について

問1 貴団体に関して、あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

①団体の形態	1 法人格なし（任意団体）			
	2 特定非営利活動法人（NPO）			
	3 社会福祉法人			
	4 その他（ ）			
②団体の規模（構成員の数）	1 10人未満	2 10～20人未満	3 20～50人未満	
	4 50～100人未満	5 100人以上		

問2 どのような分野の活動をされていますか。（○はいくつでも）

1 高齢者の支援	2 障害者（児）の支援
3 子どもの育成や子育て家庭の支援	4 健康づくり
5 地域の清掃・美化	6 まちの活性化
7 防犯・交通安全対策	8 防災対策や災害時の支援
9 環境の保護	10 生涯学習・スポーツの指導・援助等
11 人権の擁護	12 その他（ ）

問3 どのくらいの期間、活動されていますか。（○は1つ）

1 3年未満	2 3～5年未満	3 5～10年未満
4 10～15年未満	5 15年以上	

問4 寝屋川市内において現在取り組んでいる活動がありますか。（○はいくつでも）

1 話し相手・相談相手	2 外出等の介助
3 子どもの遊び相手	4 趣味・レクリエーションの指導
5 住民同士の交流活動	6 福祉に関する情報提供
7 高齢者関係の施設訪問	8 障害者（児）関係の施設訪問
9 生活困窮者への援助活動	10 ひとり親世帯への援助活動
11 児童・青少年に関する活動	12 町会・自治会活動
13 地域の清掃・美化活動	14 健康づくりに関する活動
15 高齢者の仲間づくり	16 文化・趣味のサークル活動
17 その他（ ）	

②福祉関係団体等

問5 現在、連携・協力関係にある団体、機関等がありますか。(〇はいくつでも)

1 自治会	2 地域協働協議会
3 校区福祉委員会	4 民生委員・児童委員
5 老人クラブ	6 コミュニティソーシャルワーカー
7 地域支え合い推進員	8 ボランティア団体
9 NPO法人	10 福祉施設・サービス事業所
11 医療機関	12 商店街・スーパー等
13 企業	14 保育所(園)・幼稚園・認定こども園
15 小・中学校	16 高校・大学
17 地域包括支援センター	18 地域子育て支援拠点
19 社会福祉協議会	20 公民館・コミュニティセンター
21 金融機関	22 弁護士・司法書士など法に関わる専門家
23 市役所	24 その他()
25 特になし	

問6 連携・協力関係にある団体、機関等との連携・協力の主な内容等についてお答えください。(〇はいくつでも)

1 人材の育成・派遣・交流	2 関連情報の共有・意見交換
3 協議会・部会等の会議への参加	4 サービス提供に当たっての調整
5 支援困難者への対応	6 福祉教育
7 施設開放や行事等の実施	8 ボランティアの受け入れ
9 地域住民との交流・行事への参加	10 共同事業の実施
11 防災対策・災害時の協力応援	12 その他()
◆具体的な内容を差し支えない範囲でお書きください	

②福祉関係団体等

問7 今後新たに連携・協力関係を取りたい団体・機関等がありますか。ある場合は活動内容等についてお答えください。(〇はいくつでも)

1 自治会	2 地域協働協議会
3 校区福祉委員会	4 民生委員・児童委員
5 老人クラブ	6 コミュニティソーシャルワーカー
7 地域支え合い推進員	8 ボランティア団体
9 NPO法人	10 福祉施設・サービス事業所
11 医療機関	12 商店街・スーパー等
13 企業	14 保育所(園)・幼稚園・認定こども園
15 小・中学校	16 高校・大学
17 地域包括支援センター	18 地域子育て支援拠点
19 社会福祉協議会	20 公民館・コミュニティセンター
21 金融機関	22 弁護士・司法書士など法に関わる専門家
23 市役所	24 その他()
25 特になし	
◆具体的な内容を差し支えない範囲でお書きください	

問8 団体の活動情報をどのように発信していますか。(〇はいくつでも)

1 市の広報誌
2 社会福祉協議会の広報誌
3 チラシやパンフレットの配布
4 ホームページ
5 SNS (Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、LINE 等)
6 会員等による口コミ
7 その他()
8 特に発信していない

問9 団体活動を行う上で、困っていること・課題は何ですか。(〇はいくつでも)

1	活動のマンネリ化
2	新しいメンバー・スタッフ等が入らない
3	リーダー（後継者）が育たない
4	市民に情報発信する場や機会が乏しい
5	ニーズに合った活動ができていない
6	活動に必要な情報が得にくい
7	住民の理解や協力が得られない
8	他の団体や活動者との連携が難しい
9	活動に必要な場所、設備の確保が難しい
10	活動資金が足りない
11	個人情報の観点から活動に必要な情報が得られない
12	その他（ ）
13	特にない
◆困っていることや課題となっていること、それに対して貴団体として対応されていること等を差し支えない範囲でお書きください	

問10 避難行動要支援者（高齢者や障害者（児）など自力で避難することが困難な方）への救助活動や支援について貴団体として協力できることは何ですか。(〇はいくつでも)

1	見守り・安否確認	2	血圧測定等の健康チェック
3	家族への連絡	4	要支援者の避難支援
5	炊き出し	6	備蓄物資の保管
7	その他（ ）	8	特にない

地域の状況と地域福祉を進めるための取組について

問11 現在お住いの地域での暮らしに関する環境についてどのように感じていますか。(①～⑬のそれぞれの項目ごとに〇は1つ)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
①高齢者が暮らしやすい環境	1	2	3	4	5
②障害者（児）が暮らしやすい環境	1	2	3	4	5
③子育てしやすい環境	1	2	3	4	5
④相談窓口とネットワークの充実	1	2	3	4	5
⑤保健や福祉に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	5
⑥健康づくりの推進や介護予防	1	2	3	4	5
⑦地域活動への参加のしやすさ	1	2	3	4	5
⑧地域の活動拠点の充実	1	2	3	4	5
⑨子ども、障害者（児）、高齢者の権利を守る環境	1	2	3	4	5
⑩地域の人、団体等とのつながり	1	2	3	4	5
⑪住まいや地域の生活環境	1	2	3	4	5
⑫災害などに対する安全な環境	1	2	3	4	5
⑬犯罪などに対する安全な環境	1	2	3	4	5

問12 活動されている中で、地域における地域福祉に対する意識は高まっていると感じますか。(〇は1つ)

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 高まっている |
| 2 | どちらかといえば高まっている |
| 3 | どちらかといえば高まっていない |
| 4 | 高まっていない |

②福祉関係団体等

問13 寝屋川市内で日頃気になっていたり、課題と感じていることはありますか。
(○はいくつでも)

- 1 一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認
- 2 寝たきりや病気、認知症の人及びその家族への支援
- 3 障害者（児）が地域で自立して生活するための支援
- 4 障害者（児）に対する地域の理解、交流の促進
- 5 生活習慣病等を予防するための健康づくりへの取組
- 6 働きながら子どもを育てることができる環境の整備
- 7 子どもの教育や将来のことを相談できる環境の整備
- 8 高齢者、障害者（児）、子どもなどへの虐待防止
- 9 孤立死（孤独死）の防止
- 10 ひきこもりの人やその家族への支援
- 11 家族の介護・介助を行う子ども・若者の支援
- 12 子育てや経済的な困りごとを抱えるひとり親家庭の支援
- 13 犯罪や非行の防止
- 14 災害が発生した際の安否確認や避難誘導
- 15 管理されていない空き家・空き地の適正な管理
- 16 振り込め詐欺など消費者被害の防止
- 17 仕事につけない人への就労支援
- 18 生活が苦しい世帯への支援
- 19 社会（地域）から孤立している人の社会（地域）への復帰支援
- 20 その他（ ）
- 21 特にない

◆その問題について、貴団体が対応できるもの・対応できないものにはどんなことがあげられますか。差しつかえのない範囲でお書きください。

②福祉関係団体等

問14 身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、市や団体がどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(○はいくつでも可)

- 1 地域での活動拠点や交流の場の整備
- 2 地域の助け合い活動の意義と重要性のPR
- 3 住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備
- 4 住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成
- 5 地域における相談支援体制の充実
- 6 ボランティア団体やNPO等への支援
- 7 地域での防災活動の推進
- 8 成年後見制度等の権利擁護の推進
- 9 生活困窮世帯の支援
- 10 その他（ ）

問15 市民が福祉に関する活動にもっと参加するには、市や団体が行うどのような取組が“特に効果的”だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 多様な活動の情報を提供する | 2 活動について気軽に相談できる窓口を増やす |
| 3 知識や技術を身につける研修を増やす | 4 参加を呼びかける取組を充実する |
| 5 気軽に参加できる活動を増やす | 6 一定の報酬が得られる活動を増やす |
| 7 一緒に活動する仲間やグループをつくる | 8 活動のリーダーを増やす |
| 9 活動の立ち上げへの支援を充実する | 10 活動拠点の確保や資金の援助を充実する |
| 11 その他（ ） | 12 特にない、またはわからない |

問16 利用者等で成年後見制度の利用が必要だと考えられる人がいますか。また、そのような人がいる場合で、制度の利用に至っていない人の理由は何ですか。

- | |
|--|
| 1 いる → 制度の利用に至っていない理由は何ですか（○はいくつでも） |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 成年後見制度の利用を関係者で検討中 2 申立をする人がいない 3 信頼できる後見人等の候補者が見つからない 4 手続が煩雑 5 利用者の親族が、成年後見制度の利用に反対している 6 利用者自身が、成年後見制度の利用に反対している 7 その他（ ） </div> |
| 2 いない |

②福祉関係団体等

問17 今後、寝屋川市としてどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

1	地域の支え合いやボランティアに関する情報発信・啓発
2	幼稚園・学校などにおける福祉教育
3	福祉サービスに関する情報提供
4	気軽に集まれる場の充実
5	住民がお互いに助け合えるまちづくり
6	気軽に相談できる人・窓口の充実
7	健康や生きがいづくりへの支援
8	育児・子育ての支援体制の充実
9	在宅福祉を支えるサービスの充実
10	個人の自立を支援するためのサービスの充実
11	ボランティアやNPOなどの市民活動への支援
12	移動手段(買い物・余暇活動など)の充実
13	権利擁護事業の充実
14	防犯・交通安全・防災体制の充実
15	その他 ()

問18 社会福祉協議会の活動で、今後充実してほしいものはどれですか。
(〇はいくつでも)

1	福祉に関する情報提供、広報活動
2	ボランティア・市民活動の推進
3	災害に備えたまちづくり
4	幅広い年齢層に応じた福祉啓発の取組
5	誰もが安心して過ごせる居場所
6	地域の困りごとなどを話し合う場
7	地域の困りごとに対する助け合いや支え合いの仕組み(見守り、緊急時の対応など)
8	判断能力が低下された方への日常的な金銭管理などをお手伝いする取り組み
9	制度のはざまや複数の福祉課題を抱えた方への支援
10	当事者組織・団体の支援(介護者の会、ひとり暮らし高齢者の会、地域貢献委員会など)
11	活動する人や団体のつながりやネットワークの強化
12	その他 ()

②福祉関係団体等

問19 寝屋川市における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けて、貴団体として現在取り組んでいること、今後新たに取り組んでみたいことがありましたら、自由にお書きください。

◆最後に、地域における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けたご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

◆差し支えなければご記入ください

団体名		
記入者名	(職種)	(氏名)

調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

